

令和4年度

横手市公営企業会計決算審査意見書

横手市監査委員



監 第 6 1 号

令和5年8月10日

横手市長 高 橋 大 様

横手市監査委員 柴 田 恒 宏

横手市監査委員 飼 田 一 之

横手市監査委員 青 山 豊

(公印省略)

決算審査意見の提出について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された、令和4年度横手市病院事業会計、同横手市水道事業会計、同横手市下水道事業会計の決算及びその関係書類を審査したので、その結果について次のとおり意見を提出する。



## 目 次

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1

### ○ 横手市病院事業会計

1	予算執行状況	2
2	経営成績	8
3	財政状態	19
4	むすび	32
	《資料》	36

### ○ 横手市水道事業会計

1	予算執行状況	41
2	経営成績	46
3	財政状態	51
4	むすび	59
	《資料》	61

### ○ 横手市下水道事業会計

1	予算執行状況	64
2	経営成績	68
3	財政状態	78
4	むすび	97
	《資料》	101

## 凡 例

- 1 文中及び各表中の金額及び比率は、原則として表示単位未満を四捨五入した。したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合がある。
- 2 負数又は減数には「△」の符号を付して表示した。
- 3 文中の前年度に対する増減比率で、当年度に全て増加したものは「皆増」と、全て減少したものは「皆減」と表示している。
- 4 文中及び各表中の「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のもの、「－」は該当数値がないか、あっても算出不能なもの又は無意味なものを表示している。
- 5 文中の「100%」は、率を算出する式において分母と分子の値が等しい場合を表示している。

# 令和4年度 横手市公営企業会計決算審査意見

## 第1 審査の対象

令和4年度横手市病院事業会計  
令和4年度横手市水道事業会計  
令和4年度横手市下水道事業会計

## 第2 審査の期間

令和5年6月23日から令和5年7月31日まで

## 第3 審査の方法

審査は、市長から提出された令和4年度病院事業、水道事業及び下水道事業（以下「各事業」という。）の決算書類及び附属書類が、横手市監査基準、地方公営企業法及び関係諸法令並びに公営企業の財務に関する規定等に準拠して作成され、その事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているか否かについて、会計帳票、証拠書類との照合を行なったほか、必要と認められる審査手続きにより実施した。また、関係書類・帳簿等について必要に応じて関係職員からの説明を求め、かつ、事業の経営内容を把握するため所要の計数分析を行い、地方公営企業経営の基本原則である経済性の発揮、公共の福祉の増進に合致しているかを審査した。

## 第4 審査の結果

審査に付された各事業の決算書類及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して調製され、令和5年3月31日現在の財政状態並びに当年度の経営成績を表示しており、予算執行は、所期の目的に従い、おおむね適正に執行されたものと認めた。

各会計の決算の経営分析の結果及びそれに基づく意見は、各会計ごとに後述するとおりである。

# 横手市病院事業会計

## 1. 予算執行状況

### (1) 収支決算額について

収益的収支	収益的収入	7,883,898,405 円
	収益的支出	8,179,285,911 円
	差引額	△ 295,387,506 円

収益的収入から収益的支出を差し引いた額は△295,387,506円（うち横手病院△176,274,608円、大森病院△119,112,898円）であり、この額から消費税関係分を控除した額△317,602,085円（うち横手病院△190,348,187円、大森病院△127,253,898円）が当年度純損失である。

資本的収支	資本的収入	652,871,000 円
	資本的支出	988,415,096 円
	差引額	△ 335,544,096 円

資本的収入が資本的支出に不足する額335,544,096円（うち横手病院190,804,509円、大森病院144,739,587円）は、過年度分損益勘定留保資金で全額補てんされている。

### (2) 収益的収入及び支出について

#### < 収入 >

収益的収入は、予算現額8,644,963,000円に対し、決算額は7,883,898,405円で収入率は91.2%となっている。

その内訳は、次のとおりである。

◎表 1

単位：円、%

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増 減 (B-A)	収入率 (B÷A×100)
第1款 市立横手病院 事業収益	5,825,063,000	5,357,073,685	△ 467,989,315	92.0
医業収益	5,184,024,000	4,665,606,175	△ 518,417,825	90.0
医業外収益	641,038,000	691,467,510	50,429,510	107.9
特別利益	1,000	0	△ 1,000	0.0
第2款 市立大森病院 事業収益	2,819,900,000	2,526,824,720	△ 293,075,280	89.6
医業収益	2,506,040,000	2,219,671,792	△ 286,368,208	88.6
医業外収益	313,860,000	307,152,928	△ 6,707,072	97.9
特別利益	0	0	0	—
計	8,644,963,000	7,883,898,405	△ 761,064,595	91.2



ア 横手病院

事業収益の決算額5,357,073,685円は、予算現額に対し92.0%の収入率となっている。決算額の主なものは、医業収益4,665,606,175円である。

イ 大森病院

事業収益の決算額2,526,824,720円は、予算現額に対し89.6%の収入率となっている。決算額の主なものは、医業収益2,219,671,792円である。

< 支 出 >

収益的支出は、予算現額8,644,963,000円に対し、決算額は8,179,285,911円で執行率は94.6%となっている。

その内訳は、次のとおりである。

◎表 2

単位：円、%

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	不用額 (A-B)	執行率 (B÷A×100)
第1款 市立横手病院 事業費用	5,825,063,000	5,533,348,293	291,714,707	95.0
医業費用	5,790,146,000	5,502,129,408	288,016,592	95.0
医業外費用	31,917,000	31,117,598	799,402	97.5
特別損失	1,000,000	101,287	898,713	10.1
予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0
第2款 市立大森病院 事業費用	2,819,900,000	2,645,937,618	173,962,382	93.8
医業費用	2,788,701,000	2,618,489,339	170,211,661	93.9
医業外費用	28,199,000	27,197,341	1,001,659	96.4
特別損失	1,000,000	938	999,062	0.1
国保直診施設 事業費	1,000,000	250,000	750,000	25.0
予備費	1,000,000	0	1,000,000	0.0
計	8,644,963,000	8,179,285,911	465,677,089	94.6

ア 横手病院

事業費用の決算額5,533,348,293円は、予算現額に対し95.0%の執行率となっている。決算額の主なものは、医業費用5,502,129,408円である。

なお、特別損失は、過年度損益修正損である。

イ 大森病院

事業費用の決算額2,645,937,618円は、予算現額に対し93.8%の執行率となっている。決算額の主なものは、医業費用2,618,489,339円である。

なお、特別損失は、過年度損益修正損である。

(3) 資本的収入及び支出について

< 収入 >

資本的収入は、予算現額649,069,000円に対し、決算額は652,871,000円で収入率は100.6%となっている。

その内訳は、次のとおりである。

◎表3

単位：円、%

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増 減 (B-A)	収入率 (B÷A×100)
第1款 市立横手病院 資本的収入	318,047,000	327,850,000	9,803,000	103.1
他会計出資金	148,109,000	148,109,000	0	100.0
企業債	111,500,000	109,800,000	△ 1,700,000	98.5
看護師等奨学金 貸付金返還金	1,000	2,100,000	2,099,000	210,000.0
国県補助金	58,437,000	67,841,000	9,404,000	116.1
第2款 市立大森病院 資本的収入	331,022,000	325,021,000	△ 6,001,000	98.2
他会計出資金	197,191,000	197,191,000	0	100.0
企業債	118,300,000	112,300,000	△ 6,000,000	94.9
看護師等奨学金 貸付金返還金	1,000	0	△ 1,000	0.0
国県補助金	15,530,000	15,530,000	0	100.0
計	649,069,000	652,871,000	3,802,000	100.6

(注1) 市立大森病院の企業債の予算現額には、地方公営企業法第26条の規定による前年度からの繰越額9,000,000円が含まれている。

ア 横手病院

資本的収入の決算額327,850,000円は、予算現額に対し103.1%の収入率となっている。内訳は、他会計出資金（一般会計）148,109,000円、企業債109,800,000円、看護師等奨学金貸付金返還金2,100,000円、国県補助金67,841,000円である。

イ 大森病院

資本的収入の決算額325,021,000円は、予算現額に対し98.2%の収入率となっている。内訳は、他会計出資金（一般会計）197,191,000円、企業債112,300,000円、国県補助金15,530,000円である。

## < 支 出 >

資本的支出は、予算現額1,001,190,000円に対し、決算額は988,415,096円で執行率は98.7%となっている。

その内訳は、次のとおりである。

◎表 4

単位：円、%

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	地方公営企業法 第26条の規定に よる翌年度繰越 額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B÷A× 100)
第1款 市立横手病院 資本的支出	525,436,000	518,654,509	0	6,781,491	98.7
建設改良費	193,887,000	187,406,347	0	6,480,653	96.7
企業債償還金	327,949,000	327,948,162	0	838	99.9
看護師等奨学金 貸付金	3,600,000	3,300,000	0	300,000	91.7
第2款 市立大森病院 資本的支出	475,754,000	469,760,587	0	5,993,413	98.7
建設改良費	137,794,000	131,802,352	0	5,991,648	95.7
企業債償還金	337,360,000	337,358,235	0	1,765	99.9
看護師等奨学金 貸付金	600,000	600,000	0	0	100.0
計	1,001,190,000	988,415,096	0	12,774,904	98.7

(注1) 市立大森病院の建設改良費の予算現額には、前年度からの地方公営企業法第26条の規定による繰越額9,020,000円が含まれている。

### ア 横手病院

資本的支出の決算額518,654,509円は、予算現額に対し98.7%の執行率となっている。

建設改良費の決算額187,406,347円の主なものは、次のとおりである。

- ◎ 用地取得
  - 土地購入 7,278,283円
- ◎ 工事
  - 監視カメラシステム増設工事 2,640,000円
  - A棟中央監視装置用端末伝送装置更新工事 11,000,000円
  - B棟中央監視装置用端末伝送装置更新工事 14,300,000円
- ◎ 備品購入
  - 汎用超音波画像診断装置 15,620,000円

人工腎臓装置	17,490,000円
移動型デジタルX線撮影装置	15,730,000円
超音波診断装置	10,450,000円

また、企業債償還金の決算額327,948,162円は、平成4年度以降借入れの政府企業債314,578,665円、公庫債2,645,748円、機構債10,723,749円である。

#### イ 大森病院

資本的支出の決算額469,760,587円は、予算現額に対し98.7%の執行率となっている。

建設改良費の決算額131,802,352円の主なものは、次のとおりである。

##### ◎ 工事

理学療法室系統(WU-4)水熱源ユニット更新工事	9,988,000円
無停電電源装置(UPS)更新工事	37,290,000円
省エネルギー化支援事業(照明整備工事)	4,081,000円

##### ◎ 備品購入

超音波画像診断装置(心臓用)	9,020,000円
超音波画像診断装置(腹部用)	8,360,000円
健診システム	25,080,000円
画像診断支援A I システム	8,085,000円

また、企業債償還金の決算額337,358,235円は、平成7年度以降借入れの政府企業債331,687,659円、公庫債602,002円、縁故資金借入金3,155,400円、機構債1,913,174円である。

(4) 予算に定められた限度額などについて

当年度予算に定められた限度額などは、いずれも議決された予算に従って適正に執行されている。その内訳は、次のとおりである。

◎表5

単位：円

区 分	議決予算額	執 行 額	付 記	
第6条 企業債 (借入限度額)	220,800,000	213,100,000		
	うち横手病院	111,500,000	109,800,000	計
		70,400,000	70,300,000	医療機器整備事業
		41,100,000	39,500,000	医療施設整備事業
	うち大森病院	109,300,000	103,300,000	計
		60,200,000	54,200,000	医療機器整備事業
		49,100,000	49,100,000	医療施設整備事業
第7条 一時借入金 (借入限度額)	500,000,000	0		
	うち横手病院	400,000,000	0	
	うち大森病院	100,000,000	0	
第8条 (流用禁止経費)	(1) 職員給与費			
	横手病院	3,321,701,000	3,183,467,971	
	大森病院	1,697,366,000	1,611,664,967	
	(2) 交際費			
	横手病院	5,000,000	2,193,390	
	大森病院	2,500,000	1,529,923	
第9条 たな卸資産 (購入限度額)	1,660,080,000	1,531,687,876		
	うち横手病院	1,224,380,000	1,146,104,346	薬品 641,751,086
				診療材料 473,413,405
				給食材料 2,217,975
				医療消耗備品 2,138,400
				燃料(重油) 26,583,480
	うち大森病院	435,700,000	385,583,530	薬品 173,583,706
				診療材料 175,521,933
				給食材料 6,208,808
				医療消耗備品 3,703,115
燃料(重油) 26,565,968				

(注1) 第6条市立大森病院の企業債の議決予算額及び執行額には、地方公営企業法第26条の規定による前年度からの繰越額に係る財源充当額9,000,000円は含まれていない。

## 2. 経営成績

### (1) 全体

本年度の経営成績は、総収益が7,847,003,133円、総費用が8,164,605,218円で、317,602,085円の当年度純損失となっている。

なお、前年度に比較して、総収益は316,237,218円、総費用は428,162,990円それぞれ増加し、当年度純損失も111,925,772円増加している。

◎表6 < 事業損益の前年度比較(全体) > 単位:円、%

区 分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比 較	
				増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)
医業 収益	入院収益	4,526,757,798	4,372,405,068	154,352,730	3.5
	外来収益	1,916,119,837	1,836,316,762	79,803,075	4.3
	その他医業収益	406,762,442	432,733,972	△ 25,971,530	△ 6.0
	計	6,849,640,077	6,641,455,802	208,184,275	3.1
医業 費用	給与費	4,795,132,938	4,586,261,639	208,871,299	4.6
	材料費	1,454,876,402	1,335,657,363	119,219,039	8.9
	経費	1,215,674,400	1,154,862,509	60,811,891	5.3
	減価償却費	617,734,791	534,361,294	83,373,497	15.6
	資産減耗費	5,302,872	34,707,764	△ 29,404,892	△ 84.7
	研究研修費	17,074,051	12,527,650	4,546,401	36.3
	重量税	142,600	232,600	△ 90,000	△ 38.7
計	8,105,938,054	7,658,610,819	447,327,235	5.8	
医業損益		△ 1,256,297,977	△ 1,017,155,017	△ 239,142,960	—
医業 外収益	受取利息配当金	398,630	358,151	40,479	11.3
	国県補助金	415,439,788	303,920,630	111,519,158	36.7
	他会計補助金	33,801,450	7,360,650	26,440,800	359.2
	他会計負担金	467,072,000	461,332,000	5,740,000	1.2
	他会計繰入金	94,000	92,000	2,000	2.2
	長期前受金戻入	27,748,040	23,883,525	3,864,515	16.2
	その他医業外収益	52,809,148	77,152,427	△ 24,343,279	△ 31.6
計	997,363,056	874,099,383	123,263,673	14.1	
医業 外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	54,972,466	60,550,743	△ 5,578,277	△ 9.2
	雑損失	3,342,473	1,000,000	2,342,473	234.2
	計	58,314,939	61,550,743	△ 3,235,804	△ 5.3
国保直診施設事業費		250,000	244,149	5,851	2.4
医業外損益		938,798,117	812,304,491	126,493,626	—
経常損益		△ 317,499,860	△ 204,850,526	△ 112,649,334	—
特別利益		0	15,210,730	△ 15,210,730	皆減
特別損失		102,225	16,036,517	△ 15,934,292	△ 99.4
特別損益		△ 102,225	△ 825,787	723,562	—
当年度純利益(△当年度純損失)		△ 317,602,085	△ 205,676,313	△ 111,925,772	54.4
前年度繰越利益剰余金 (△前年度繰越欠損金)		△ 416,695,158	△ 211,018,845	△ 205,676,313	97.5
当年度未処分利益剰余金 (△当年度未処理欠損金)		△ 734,297,243	△ 416,695,158	△ 317,602,085	76.2

## (2) 横手病院

本年度の経営成績は、総収益が5,333,713,493円、総費用が5,524,061,680円で、190,348,187円の当年度純損失となっている。

なお、前年度に比較して、総収益は222,795,672円、総費用は256,334,400円それぞれ増加し、当年度純損失も33,538,728円増加している。

◎表7 < 事業損益の前年度比較（横手病院） >

単位：円、%

区 分	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比 較		
			増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)	
医業収益	入院収益	2,955,635,215	2,870,525,421	85,109,794	3.0
	外来収益	1,440,705,627	1,398,692,927	42,012,700	3.0
	その他医業収益	246,698,695	260,087,250	△ 13,388,555	△ 5.1
	計	4,643,039,537	4,529,305,598	113,733,939	2.5
医業費用	給与費	3,183,467,971	3,079,111,100	104,356,871	3.4
	材料費	1,116,235,995	1,036,748,034	79,487,961	7.7
	経費	751,958,190	723,630,396	28,327,794	3.9
	減価償却費	430,113,523	355,137,741	74,975,782	21.1
	資産減耗費	2,021,140	25,755,926	△ 23,734,786	△ 92.2
	研究研修費	8,976,976	7,980,031	996,945	12.5
	重量税	69,000	127,800	△ 58,800	△ 46.0
	計	5,492,842,795	5,228,491,028	264,351,767	5.1
医業損益	△ 849,803,258	△ 699,185,430	△ 150,617,828	—	
医業外収益	受取利息配当金	231,334	325,794	△ 94,460	△ 29.0
	国県補助金	347,935,000	244,864,780	103,070,220	42.1
	他会計補助金	21,483,900	5,606,700	15,877,200	283.2
	他会計負担金	285,135,000	277,694,000	7,441,000	2.7
	他会計繰入金	0	0	0	—
	長期前受金戻入	13,827,325	10,513,300	3,314,025	31.5
	その他医業外収益	22,061,397	33,996,919	△ 11,935,522	△ 35.1
	計	690,673,956	573,001,493	117,672,463	20.5
医業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	27,775,125	29,370,060	△ 1,594,935	△ 5.4
	雑損失	3,342,473	1,000,000	2,342,473	234.2
	計	31,117,598	30,370,060	747,538	2.5
国保直診施設事業費	0	0	0	—	
医業外損益	659,556,358	542,631,433	116,924,925	—	
経常損益	△ 190,246,900	△ 156,553,997	△ 33,692,903	—	
特別利益	0	8,610,730	△ 8,610,730	皆減	
特別損失	101,287	8,866,192	△ 8,764,905	△ 98.9	
特別損益	△ 101,287	△ 255,462	154,175	—	
当年度純利益(△当年度純損失)	△ 190,348,187	△ 156,809,459	△ 33,538,728	21.4	
前年度繰越利益剰余金 (△前年度繰越欠損金)	153,215,770	310,025,229	△ 156,809,459	△ 50.6	
当年度未処分利益剰余金 (△当年度未処理欠損金)	△ 37,132,417	153,215,770	△ 190,348,187	△ 124.2	

ア 医業収益について

医業収益の決算額4,643,039,537円は、前年度に比較して113,733,939円（2.5%）の増となっているが、これは主に入院収益が増加したことによるものである。

イ 医業費用について

医業費用の決算額5,492,842,795円は、前年度に比較して264,351,767円（5.1%）の増となっているが、これは主に給与費及び材料費が増加したことによるものである。

ウ 医業外収益について

医業外収益の決算額690,673,956円は、前年度に比較して117,672,463円（20.5%）の増となっているが、これは主に国県補助金が増加したことによるものである。

エ 医業外費用について

医業外費用の決算額31,117,598円は、前年度に比較して747,538円（2.5%）の増となっているが、これは主に雑損失が増加したことによるものである。

オ 特別損失について

特別損失の決算額101,287円は、前年度に比較して8,764,905円（98.9%）の減となっているが、これはその他特別損失（新型コロナウイルス感染症患者の入院治療従事者慰労金交付）が減少したことによるものである。



### (3) 大森病院

本年度の経営成績は、総収益が2,513,289,640円、総費用が2,640,543,538円で、127,253,898円の当年度純損失となっている。

なお、前年度に比較して、総収益は93,441,546円、総費用は171,828,590円増加し、当年度純損失も78,387,044円増加している。

◎表8 < 事業損益の前年度比較（大森病院） > 単位：円、%

区 分	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比 較		
			増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)	
医業収益	入院収益	1,571,122,583	1,501,879,647	69,242,936	4.6
	外来収益	475,414,210	437,623,835	37,790,375	8.6
	その他医業収益	160,063,747	172,646,722	△ 12,582,975	△ 7.3
	計	2,206,600,540	2,112,150,204	94,450,336	4.5
医業費用	給与費	1,611,664,967	1,507,150,539	104,514,428	6.9
	材料費	338,640,407	298,909,329	39,731,078	13.3
	経費	463,716,210	431,232,113	32,484,097	7.5
	減価償却費	187,621,268	179,223,553	8,397,715	4.7
	資産減耗費	3,281,732	8,951,838	△ 5,670,106	△ 63.3
	研究研修費	8,097,075	4,547,619	3,549,456	78.1
	重量税	73,600	104,800	△ 31,200	△ 29.8
	計	2,613,095,259	2,430,119,791	182,975,468	7.5
医業損益		△ 406,494,719	△ 317,969,587	△ 88,525,132	—
医業外収益	受取利息配当金	167,296	32,357	134,939	417.0
	国県補助金	67,504,788	59,055,850	8,448,938	14.3
	他会計補助金	12,317,550	1,753,950	10,563,600	602.3
	他会計負担金	181,937,000	183,638,000	△ 1,701,000	△ 0.9
	他会計繰入金	94,000	92,000	2,000	2.2
	長期前受金戻入	13,920,715	13,370,225	550,490	4.1
	その他医業外収益	30,747,751	43,155,508	△ 12,407,757	△ 28.8
	計	306,689,100	301,097,890	5,591,210	1.9
医業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	27,197,341	31,180,683	△ 3,983,342	△ 12.8
	雑損失	0	0	0	—
	計	27,197,341	31,180,683	△ 3,983,342	△ 12.8
国保直診施設事業費		250,000	244,149	5,851	2.4
医業外損益		279,241,759	269,673,058	9,568,701	—
経常損益		△ 127,252,960	△ 48,296,529	△ 78,956,431	—
特別利益		0	6,600,000	△ 6,600,000	皆減
特別損失		938	7,170,325	△ 7,169,387	△ 99.9
特別損益		△ 938	△ 570,325	569,387	—
当年度純利益(△当年度純損失)		△ 127,253,898	△ 48,866,854	△ 78,387,044	160.4
前年度繰越利益剰余金 (△前年度繰越欠損金)		△ 569,910,928	△ 521,044,074	△ 48,866,854	9.4
当年度未処分利益剰余金 (△当年度未処理欠損金)		△ 697,164,826	△ 569,910,928	△ 127,253,898	22.3

ア 医業収益について

医業収益の決算額2,206,600,540円は、前年度に比較して94,450,336円（4.5%）の増となっているが、これは主に入院収益及び外来収益が増加したことによるものである。

イ 医業費用について

医業費用の決算額2,613,095,259円は、前年度に比較して182,975,468円（7.5%）の増となっているが、これは主に給与費及び材料費が増加したことによるものである。

ウ 医業外収益について

医業外収益の決算額306,689,100円は、前年度に比較して5,591,210円（1.9%）の増となっているが、これは主に他会計補助金及び国県補助金が増加したことによるものである。

エ 医業外費用について

医業外費用の決算額27,197,341円は、前年度に比較して3,983,342円（12.8%）の減となっているが、これは支払利息が減少したことによるものである。

オ 国保直診施設事業費について

国保直診施設事業費の決算額250,000円は、前年度に比較して5,851円（2.4%）の増となっているが、これは健康管理事業費が増加したことによるものである。

カ 特別損失について

特別損失の決算額938円は、前年度に比較して7,169,387円（99.9%）の減となっているが、これはその他特別損失（新型コロナウイルス感染症患者の入院治療従事者慰労金交付）が減少したことによるものである。

< 入院・外来の診療科別前年度比較（横手病院） >

◎表 9

単位：円、人

区 分		4年度			3年度			比 較			
		収入	延患者数	1人1日当り収入	収入	延患者数	1人1日当り収入	収入	延患者数	1人1日当り収入	
内科計	入院	1,419,330,380	29,440	48,211	1,289,136,615	30,082	42,854	130,193,765	△ 642	5,357	
	外来	838,800,489	64,959	12,913	760,384,441	67,178	11,319	78,416,048	△ 2,219	1,594	
内科内訳	呼吸器科	入院	0	0	—	0	0	—	0	0	—
		外来	29,596,168	2,003	14,776	24,646,665	2,132	11,560	4,949,503	△ 129	3,216
	消化器科	入院	837,243,071	16,741	50,012	781,071,505	16,961	46,051	56,171,566	△ 220	3,961
		外来	291,078,499	21,847	13,323	264,610,789	22,498	11,762	26,467,710	△ 651	1,561
	循環器科	入院	258,242,091	5,961	43,322	282,371,724	6,920	40,805	△ 24,129,633	△ 959	2,517
		外来	99,256,413	11,254	8,820	102,577,230	11,135	9,212	△ 3,320,817	119	△ 392
	糖尿病内分泌科	入院	167,756,868	3,879	43,247	176,062,415	4,702	37,444	△ 8,305,547	△ 823	5,803
		外来	134,027,563	9,249	14,491	148,024,525	9,418	15,717	△ 13,996,962	△ 169	△ 1,226
	頭痛・脳神経科	入院	23,404,125	472	49,585	50,464,825	1,109	45,505	△ 27,060,700	△ 637	4,080
		外来	26,832,157	4,290	6,255	44,890,172	6,258	7,173	△ 18,058,015	△ 1,968	△ 918
	神経科	入院	0	0	—	0	0	—	0	0	—
		外来	5,904,700	1,220	4,840	8,081,072	1,395	5,793	△ 2,176,372	△ 175	△ 953
	血液腎臓内科	入院	0	0	—	0	0	—	0	0	—
		外来	11,697,617	773	15,133	13,386,108	857	15,620	△ 1,688,491	△ 84	△ 487
	心療科	入院	0	0	—	0	0	—	0	0	—
		外来	3,208,427	716	4,481	3,738,232	805	4,644	△ 529,805	△ 89	△ 163
	内科その他	入院	132,684,225	2,387	55,586	△ 833,854	390	△ 2,138	133,518,079	1,997	57,724
		外来	237,198,945	13,607	17,432	150,429,648	12,680	11,864	86,769,297	927	5,568
小児科	入院	40,357,231	789	51,150	30,123,468	629	47,891	10,233,763	160	3,259	
	外来	58,865,250	7,527	7,821	73,061,757	7,994	9,140	△ 14,196,507	△ 467	△ 1,319	
外科	入院	568,547,239	7,526	75,544	638,296,763	8,818	72,386	△ 69,749,524	△ 1,292	3,158	
	外来	129,106,344	13,296	9,710	130,211,054	13,600	9,574	△ 1,104,710	△ 304	136	
整形外科	入院	619,293,985	9,667	64,063	607,514,750	10,221	59,438	11,779,235	△ 554	4,625	
	外来	114,370,688	21,041	5,436	121,221,819	22,260	5,446	△ 6,851,131	△ 1,219	△ 10	
産婦人科	入院	227,722,680	3,219	70,743	230,177,880	3,141	73,282	△ 2,455,200	78	△ 2,539	
	外来	42,451,625	6,991	6,072	44,194,443	7,390	5,980	△ 1,742,818	△ 399	92	
泌尿器科	入院	62,990,680	1,201	52,449	57,030,357	1,170	48,744	5,960,323	31	3,705	
	外来	242,624,186	14,166	17,127	253,713,289	13,428	18,894	△ 11,089,103	738	△ 1,767	
眼科	入院	17,393,020	161	108,031	18,248,238	158	115,495	△ 855,218	3	△ 7,464	
	外来	15,054,425	2,526	5,960	15,914,044	2,971	5,356	△ 859,619	△ 445	604	
診療科合計	入院	2,955,635,215	52,003	56,836	2,870,528,071	54,219	52,943	85,107,144	△ 2,216	3,893	
	外来	1,441,273,007	130,506	11,044	1,398,700,847	134,821	10,375	42,572,160	△ 4,315	669	

< 入院・外来の診療科別前年度比較（大森病院） >

◎表 1 0

単位：円、人

区 分		4年度			3年度			比 較		
		収入	延患者数	1人1日当り収入	収入	延患者数	1人1日当り収入	収入	延患者数	1人1日当り収入
内科	入院	1,119,499,658	38,079	29,399	1,068,221,793	36,597	29,189	51,277,865	1,482	210
	外来	289,531,137	34,001	8,515	255,595,853	34,261	7,460	33,935,284	△ 260	1,055
小児科	入院	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	外来	1,940,549	342	5,674	1,487,089	411	3,618	453,460	△ 69	2,056
外科	入院	83,679,277	2,305	36,303	111,965,716	3,128	35,795	△ 28,286,439	△ 823	508
	外来	20,322,231	2,545	7,985	18,949,076	2,684	7,060	1,373,155	△ 139	925
整形外科	入院	367,943,648	7,614	48,325	321,692,138	7,040	45,695	46,251,510	574	2,630
	外来	111,037,612	20,505	5,415	110,107,984	20,588	5,348	929,628	△ 83	67
神経内科	入院	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	外来	2,900,745	647	4,483	3,224,028	648	4,975	△ 323,283	△ 1	△ 492
皮膚科	入院	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	外来	4,684,975	1,825	2,567	4,647,019	1,735	2,678	37,956	90	△ 111
眼科	入院	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	外来	10,624,417	2,297	4,625	9,931,983	2,186	4,543	692,434	111	82
血液腎臓内科	入院	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	外来	3,918,654	413	9,488	4,536,188	444	10,217	△ 617,534	△ 31	△ 729
呼吸器内科	入院	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	外来	22,664,543	1,492	15,191	21,108,742	1,517	13,915	1,555,801	△ 25	1,276
心臓血管外科	入院	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	外来	742,986	101	7,356	839,800	126	6,665	△ 96,814	△ 25	691
泌尿器科	入院	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	外来	3,632,339	668	5,438	4,280,515	643	6,657	△ 648,176	25	△ 1,219
耳鼻いんこう科	入院	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	外来	3,414,022	730	4,677	2,915,558	633	4,606	498,464	97	71
診療科合計	入院	1,571,122,583	47,998	32,733	1,501,879,647	46,765	32,115	69,242,936	1,233	618
	外来	475,414,210	65,566	7,251	437,623,835	65,876	6,643	37,790,375	△ 310	608

< 経営分析表（横手病院） >

◎表 1 1

単位：円、%

区 分	算 式	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度 類似事業 全国平均
経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	100.2	97.3	97.0	96.6	104.2
医業収支比率	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$	96.2	88.8	88.7	86.6	81.4
病床利用率 (一般)	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	74.7	64.5	66.0	63.3	63.9
患者 1人1日当 たり収入	入 院 $\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	49,101	52,647	52,943	56,836	50,595
	外 来 $\frac{\text{外来収益}}{\text{年延外来患者数}}$	10,167	10,358	10,374	11,039	13,428
職員給与費比率	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$	56.3	62.7	62.1	62.0	64.0
材料費比率	$\frac{\text{材料費}}{\text{医業収益}} \times 100$	22.3	22.3	22.3	23.4	19.9

(注1) 算式数値は、「地方公営企業決算状況調査(総務省)」を基本とした。

(注2) 令和3年度類似事業全国平均の数値は、病院事業(法適用事業)病床規模別(200床以上300床未満)の令和3年度決算に基づく平均数値である。

(注3) 経常収支比率  
病院が安定した経営を行うための財政基盤を確保するためには、適正な負担区分を前提として、この比率が100%以上であることが望ましい。

(注4) 医業収支比率  
医業費用が医業収益によってどの程度賄われているかを示す指標。経常収支比率と同様、この比率が100%以上であることが望ましい。

(注5) 病床利用率  
病院の施設が有効に活用されているかどうか判断する指標。病床利用率が恒常的に低い場合には、病床規模が適切か否か検討する必要がある。

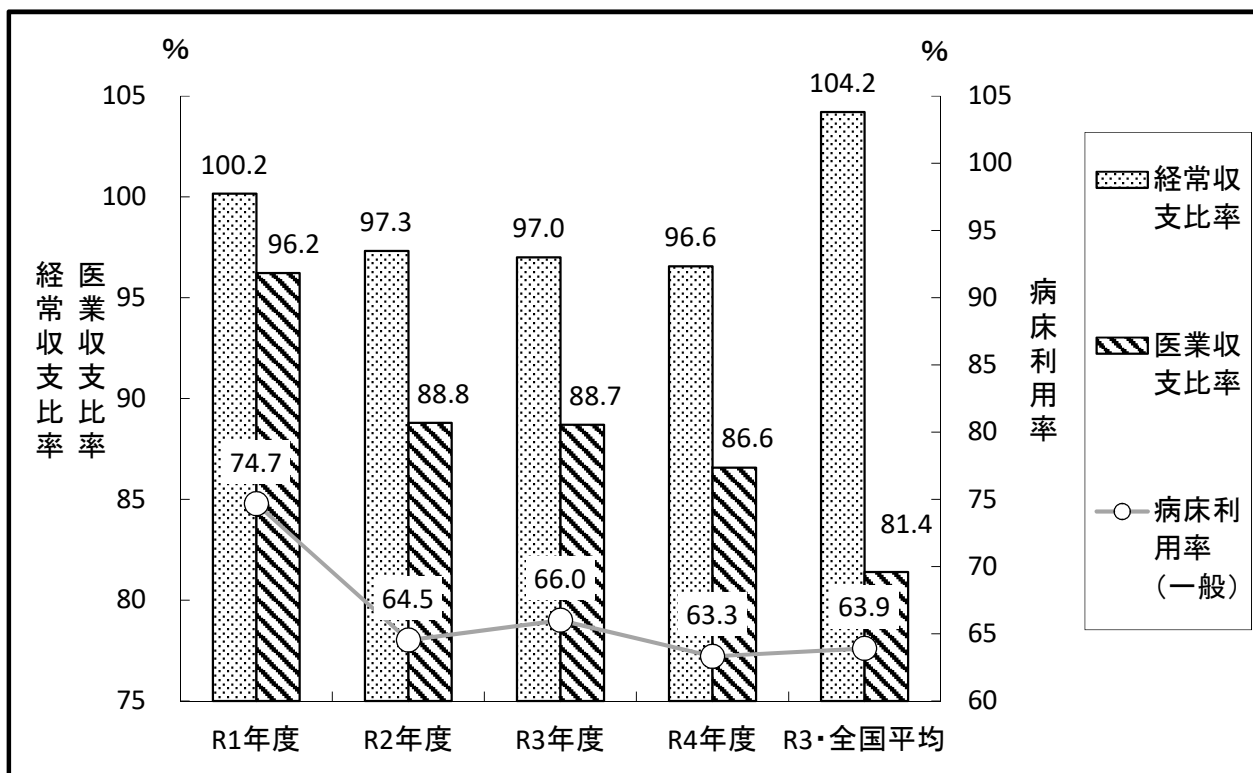
(注6) 患者1人1日当たり入院収入(患者1人1日当たり外来収入)  
病院の収入分析をするうえで最も基本的な指標。料金収入を増加させるためには、患者数という量的な要素と患者1人当たりの収入という質的な要素が重要になる。

(注7) 職員給与費比率  
病院において職員給与費は最も大きなウェイトを占める医業費用。職員給与費をいかに適切なものとするかが病院経営の重要なポイントとなる。

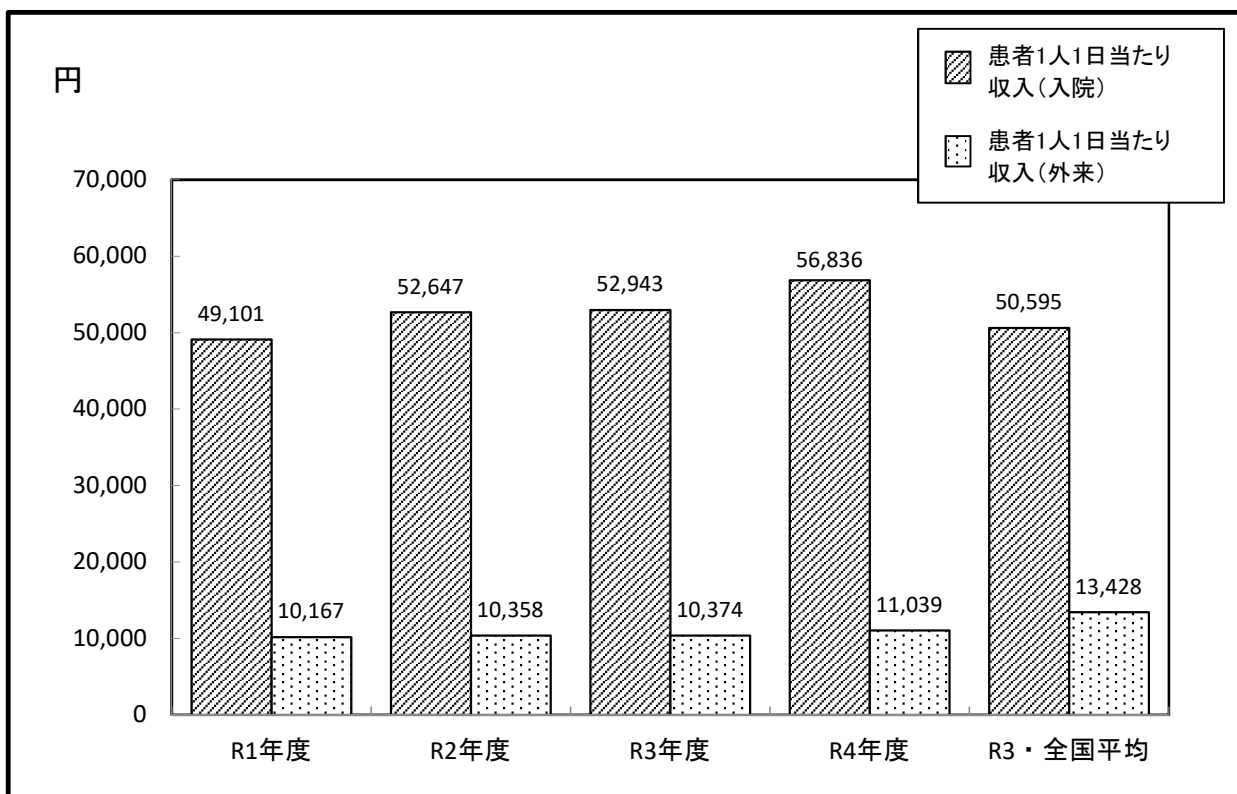
(注8) 材料費比率  
医業費用で職員給与費に次いで大きなウェイトを占めるのが材料費。この比率が高い場合には、材料の購入価格(方法)を見直し、材料費の節減を図る必要がある。

< 横手病院 >

◎図1



◎図2



< 経営分析表（大森病院） >

◎表 1 2

単位：円、%

区 分		算 式	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度 類似事業 全国平均
経常収支比率		$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	96.9	100.6	98.0	95.2	105.7
医業収支比率		$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$	89.5	86.4	89.3	86.4	80.6
病 床 利 用 率	一 般	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	95.2	87.9	91.1	90.1	63.9
	療 養		89.3	76.3	74.0	82.9	76.3
患者1人1 日当たり 収 入	入 院	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	29,207	31,537	32,115	32,733	39,451
	外 来	$\frac{\text{外来収益}}{\text{年延外来患者数}}$	6,727	6,644	6,833	7,440	11,353
職員給与費比率		$\frac{\text{職員給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$	61.8	67.3	63.6	64.4	66.7
材 料 費 比 率		$\frac{\text{材料費}}{\text{医業収益}} \times 100$	15.9	14.6	13.8	15.0	17.8

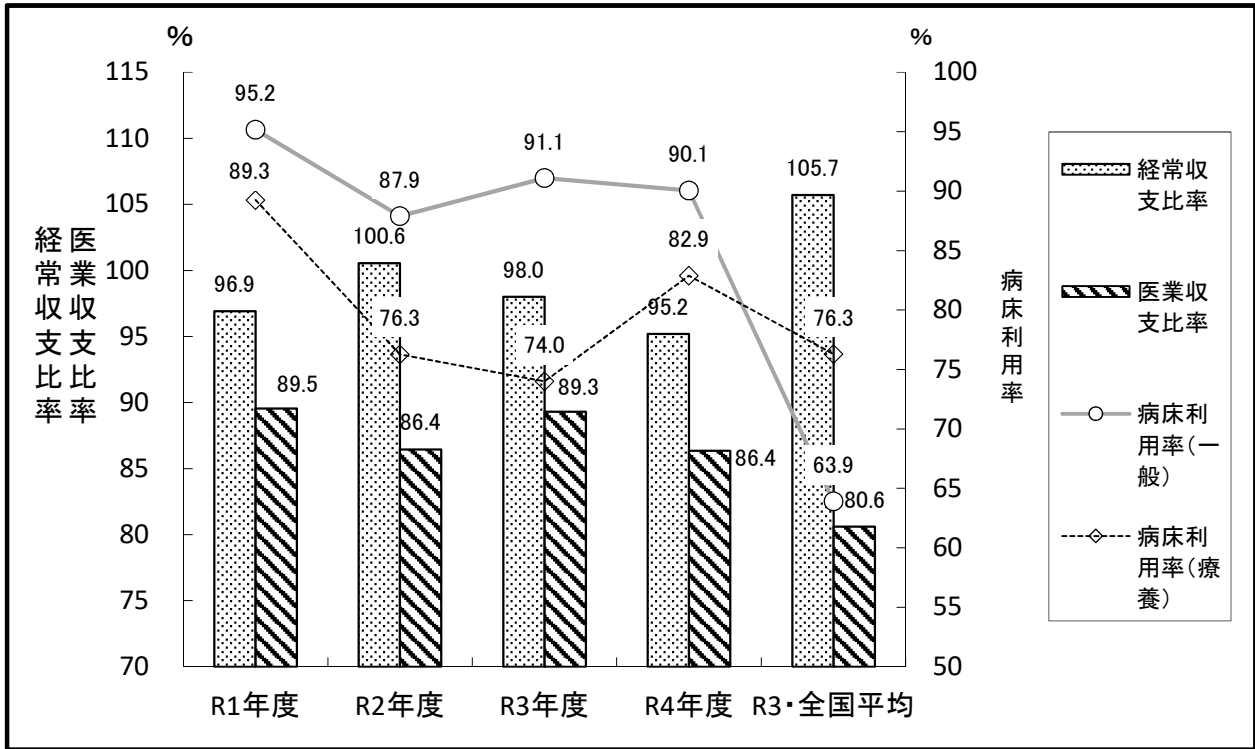
(注1) 算式数値は、「地方公営企業決算状況調査(総務省)」を基本とした。

(注2) 令和3年度類似事業全国平均の数値は、病院事業(法適用事業)病床規模別(100床以上200床未満)の令和3年度決算に基づく平均数値である。

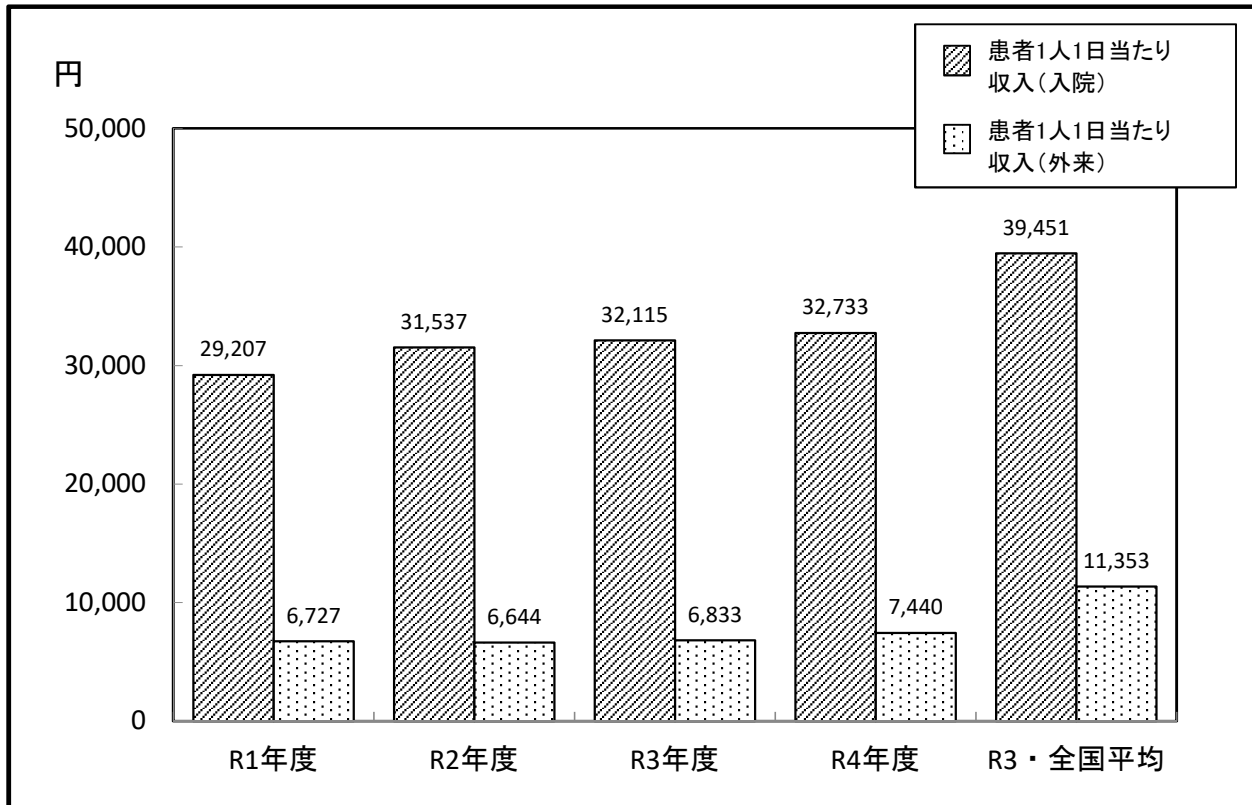
(注3) 各比率の説明は、表11の説明と同じであり省略する。

< 大森病院 >

◎図3



◎図4





### 3. 財政状態

#### (1) 資産及び負債・資本について

病院事業全体の資産及び負債・資本の状況は次のとおりである。

< 全体 >

◎表13

単位：円、%

区分	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較		構成比率 令和4年度		
			増減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)			
資産	固定資産	有形固定資産	6,629,974,012	6,931,425,077	△ 301,451,065	△ 4.3	56.4
		無形固定資産	0	0	0	—	0.0
		投資	11,400,000	10,800,000	600,000	5.6	0.1
		小計	6,641,374,012	6,942,225,077	△ 300,851,065	△ 4.3	56.5
	流動資産	現金預金	3,768,423,508	4,009,373,918	△ 240,950,410	△ 6.0	32.0
		未収金	1,267,534,425	1,062,270,693	205,263,732	19.3	10.8
		貯蔵品	83,467,166	79,986,632	3,480,534	4.4	0.7
		小計	5,119,425,099	5,151,631,243	△ 32,206,144	△ 0.6	43.5
	資産合計	11,760,799,111	12,093,856,320	△ 333,057,209	△ 2.8	100.0	
	負債	固定負債	企業債	3,748,581,472	4,193,836,619	△ 445,255,147	△ 10.6
引当金			997,305,000	997,305,000	0	—	8.5
小計			4,745,886,472	5,191,141,619	△ 445,255,147	△ 8.6	40.4
流動負債		企業債	667,355,985	665,307,235	2,048,750	0.3	5.7
		未払金	400,574,669	364,148,016	36,426,653	10.0	3.4
		引当金	250,394,000	256,243,000	△ 5,849,000	△ 2.3	2.1
		その他流動負債	40,638,286	44,387,626	△ 3,749,340	△ 8.4	0.3
小計		1,358,962,940	1,330,085,877	28,877,063	2.2	11.5	
繰延収益		長期前受金	940,320,287	856,949,287	83,371,000	9.7	
		長期前受金 収益化累計額	△ 719,612,651	△ 691,864,611	△ 27,748,040	4.0	
		小計	220,707,636	165,084,676	55,622,960	33.7	1.9
負債合計		6,325,557,048	6,686,312,172	△ 360,755,124	△ 5.4	53.8	
資本		資本金	繰入資本金	3,663,916,183	3,318,616,183	345,300,000	10.4
	引継資本金		2,482,685,123	2,482,685,123	0	—	21.1
	小計		6,146,601,306	5,801,301,306	345,300,000	6.0	52.3
	剰余金	利益剰余金 (△欠損金)	△ 711,359,243	△ 393,757,158	△ 317,602,085	80.7	△ 6.1
		小計	△ 711,359,243	△ 393,757,158	△ 317,602,085	80.7	△ 6.1
資本合計	5,435,242,063	5,407,544,148	27,697,915	0.5	46.2		
負債・資本合計	11,760,799,111	12,093,856,320	△ 333,057,209	△ 2.8	100.0		

横手病院単独の資産及び負債・資本の状況は次のとおりである。

< 横手病院 >

◎表14

単位：円、%

区 分	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比 較		構成比率 令和4年度		
			増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)			
資 産	固定資産	有形固定資産	4,547,767,268	4,791,226,334	△ 243,459,066	△ 5.1	59.0
		無形固定資産	0	0	0	—	0.0
		投 資	8,400,000	8,400,000	0	—	0.1
		小 計	4,556,167,268	4,799,626,334	△ 243,459,066	△ 5.1	59.1
	流動資産	現金預金	2,186,993,074	2,345,924,989	△ 158,931,915	△ 6.8	28.4
		未 収 金	900,862,070	745,525,748	155,336,322	20.8	11.7
		貯 蔵 品	58,296,757	59,010,670	△ 713,913	△ 1.2	0.8
		小 計	3,146,151,901	3,150,461,407	△ 4,309,506	△ 0.1	40.9
	資 産 合 計	7,702,319,169	7,950,087,741	△ 247,768,572	△ 3.1	100.0	
	負 債	固定負債	企業債	2,448,053,429	2,666,068,591	△ 218,015,162	△ 8.2
引 当 金			656,227,000	656,227,000	0	—	8.5
小 計			3,104,280,429	3,322,295,591	△ 218,015,162	△ 6.6	40.3
流動負債		企業債	327,816,000	327,949,000	△ 133,000	△ 0.0	4.3
		未 払 金	213,714,502	247,132,467	△ 33,417,965	△ 13.5	2.8
		引 当 金	163,936,000	168,785,000	△ 4,849,000	△ 2.9	2.1
		その他流動負債	22,347,487	25,475,420	△ 3,127,933	△ 12.3	0.3
		小 計	727,813,989	769,341,887	△ 41,527,898	△ 5.4	9.5
繰延収益		長期前受金	163,295,012	95,454,012	67,841,000	71.1	
		長期前受金 収益化累計額	△ 29,578,003	△ 15,750,678	△ 13,827,325	87.8	
小 計		133,717,009	79,703,334	54,013,675	67.8	1.7	
負 債 合 計		3,965,811,427	4,171,340,812	△ 205,529,385	△ 4.9	51.5	
資 本		資本金	繰入資本金	1,782,730,006	1,634,621,006	148,109,000	9.1
	引継資本金		1,972,510,153	1,972,510,153	0	—	25.6
	小 計		3,755,240,159	3,607,131,159	148,109,000	4.1	48.7
	剰余金 (△欠損金)	利益剰余金	△ 18,732,417	171,615,770	△ 190,348,187	△ 110.9	△ 0.2
		小 計	△ 18,732,417	171,615,770	△ 190,348,187	△ 110.9	△ 0.2
	資 本 合 計	3,736,507,742	3,778,746,929	△ 42,239,187	△ 1.1	48.5	
負債・資本合計	7,702,319,169	7,950,087,741	△ 247,768,572	△ 3.1	100.0		

#### ア 資産

資産の年度末現在高7,702,319,169円は、前年度に比較して247,768,572円(3.1%)の減となっている。

固定資産は4,556,167,268円で、前年度に比較して243,459,066円(5.1%)の減であるが、これは有形固定資産の減少によるものである。

また、流動資産は3,146,151,901円で、前年度に比較して4,309,506円(0.1%)の減であるが、これは現金預金及び貯蔵品が減少したことによるものである。

#### イ 負債

負債の年度末現在高3,965,811,427円は、前年度に比較して205,529,385円(4.9%)の減となっている。これは主に固定負債の企業債及び未払金が減少したことによるものである。

#### ウ 資本

資本の年度末現在高3,736,507,742円は、前年度に比較して42,239,187円(1.1%)の減となっている。これは利益剰余金が減少したことによるものである。

大森病院単独の資産及び負債・資本の状況は次のとおりである。

< 大森病院 >

◎表15

単位：円、%

区 分	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比 較		構成比率 令和4年度			
			増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)				
資 産	固定資産	有形固定資産	2,082,206,744	2,140,198,743	△ 57,991,999	△ 2.7	51.3	
		無形固定資産	0	0	0	—	0.0	
		投 資	3,000,000	2,400,000	600,000	25.0	0.1	
		小 計	2,085,206,744	2,142,598,743	△ 57,391,999	△ 2.7	51.4	
	流動資産	現 金 預 金	1,581,430,434	1,663,448,929	△ 82,018,495	△ 4.9	39.0	
		未 収 金	366,672,355	316,744,945	49,927,410	15.8	9.0	
		貯 蔵 品	25,170,409	20,975,962	4,194,447	20.0	0.6	
		小 計	1,973,273,198	2,001,169,836	△ 27,896,638	△ 1.4	48.6	
	資 産 合 計	4,058,479,942	4,143,768,579	△ 85,288,637	△ 2.1	100.0		
	負 債	固定負債	企 業 債	1,300,528,043	1,527,768,028	△ 227,239,985	△ 14.9	32.0
			引 当 金	341,078,000	341,078,000	0	—	8.4
			小 計	1,641,606,043	1,868,846,028	△ 227,239,985	△ 12.2	40.4
		流動負債	企 業 債	339,539,985	337,358,235	2,181,750	0.6	8.4
未 払 金			186,860,167	117,015,549	69,844,618	59.7	4.6	
引 当 金			86,458,000	87,458,000	△ 1,000,000	△ 1.1	2.1	
その他流動負債			18,290,799	18,912,206	△ 621,407	△ 3.3	0.5	
小 計			631,148,951	560,743,990	70,404,961	12.6	15.6	
繰延収益		長期前受金	777,025,275	761,495,275	15,530,000	2.0		
		長期前受金 収益化累計額	△ 690,034,648	△ 676,113,933	△ 13,920,715	2.1		
		小 計	86,990,627	85,381,342	1,609,285	1.9	2.1	
負 債 合 計		2,359,745,621	2,514,971,360	△ 155,225,739	△ 6.2	58.1		
資 本		資本金	繰入資本金	1,881,186,177	1,683,995,177	197,191,000	11.7	46.3
	引継資本金		510,174,970	510,174,970	0	—	12.6	
	小 計		2,391,361,147	2,194,170,147	197,191,000	9.0	58.9	
	剰余金	利益剰余金 (△欠損金)	△ 692,626,826	△ 565,372,928	△ 127,253,898	22.5	△ 17.0	
		小 計	△ 692,626,826	△ 565,372,928	△ 127,253,898	22.5	△ 17.0	
	資 本 合 計	1,698,734,321	1,628,797,219	69,937,102	4.3	41.9		
負 債 ・ 資 本 合 計	4,058,479,942	4,143,768,579	△ 85,288,637	△ 2.1	100.0			

## ア 資産

資産の年度末現在高4,058,479,942円は、前年度に比較して85,288,637円(2.1%)の減となっている。

固定資産は2,085,206,744円で、前年度に比較して57,391,999円(2.7%)の減であるが、これは主に有形固定資産の減少によるものである。

また、流動資産は1,973,273,198円で、前年度に比較して27,896,638円(1.4%)の減であるが、これは現金預金が減少したことによるものである。

## イ 負債

負債の年度末現在高2,359,745,621円は、前年度に比較して155,225,739円(6.2%)の減となっているが、これは主に固定負債の企業債及び長期前受金収益化累計額が減少したことによるものである。

## ウ 資本

資本の年度末現在高1,698,734,321円は、前年度に比較して69,937,102円(4.3%)の増となっている。これは繰入資本金が増加したことによるものである。

## (2) 主要財務比率について

各比率は次のとおりである。

### < 横手病院 >

◎表 1 6

単位：%

区 分	算 式	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	384.1	391.0	409.5	432.3
当 座 比 率	$\frac{\text{現金預金+(未収金-貸倒引当金)}}{\text{流動負債}} \times 100$	368.1	385.6	401.8	424.3
現金預金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	282.0	290.0	304.9	300.5

### < 大森病院 >

◎表 1 7

単位：%

区 分	算 式	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	425.2	400.3	356.9	312.6
当 座 比 率	$\frac{\text{現金預金+(未収金-貸倒引当金)}}{\text{流動負債}} \times 100$	420.8	395.9	353.1	308.7
現金預金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	325.4	324.8	296.7	250.6

(注1) 流動比率は、1年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較するものである。流動性を確保するためには、流動資産が流動負債の2倍以上あることが望まれるので、理想比率は200%以上である。

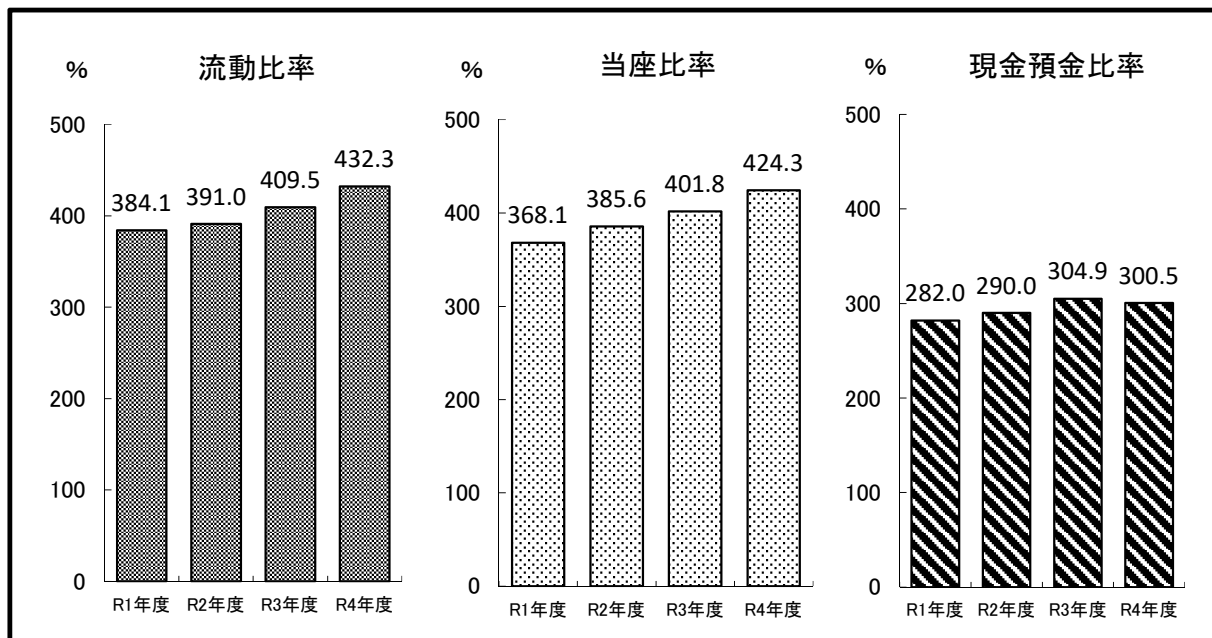
(注2) 当座比率(酸性試験比率)は、流動資産のうち現金預金及び容易に現金化する未収金などの当座資産と流動負債とを対比させたもので100%以上が理想比率とされている。

(注3) 現金預金比率は、流動負債に対する現金預金の割合を示す比率で、20%以上が理想値とされている。

< 横手病院 >

横手病院は、流動比率と当座比率が前年度より上昇した。

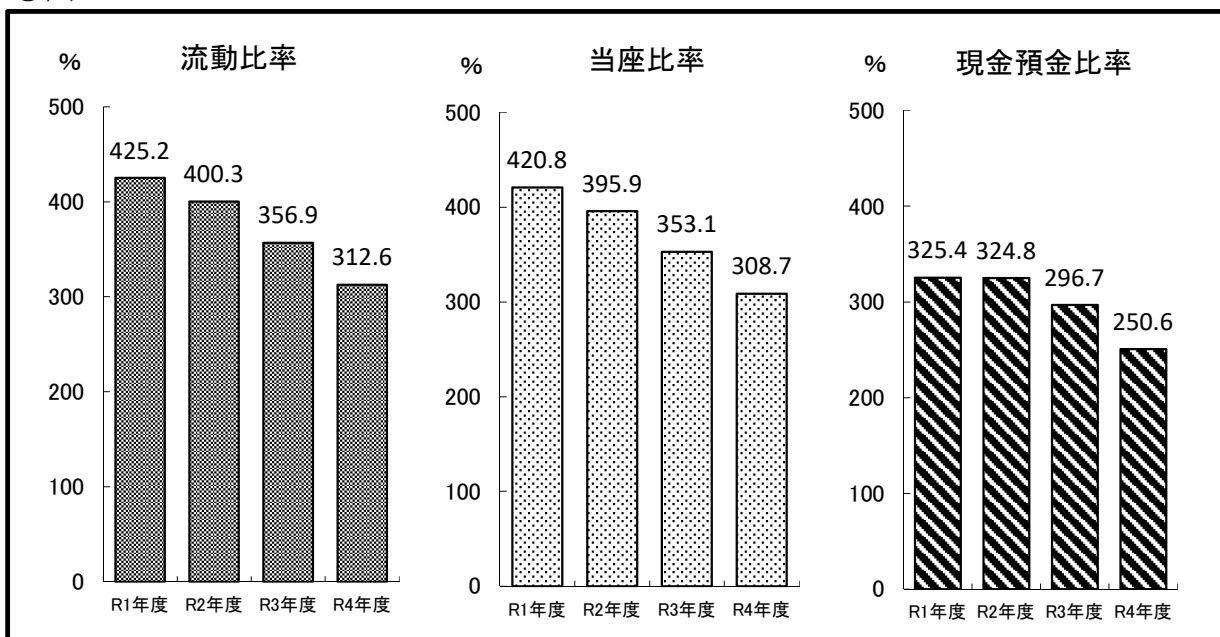
◎図 5



< 大森病院 >

大森病院は、3比率とも前年度より低下した。

◎図 6



### (3) 未収金について

未収金の内訳は、次のとおりである。

#### < 横手病院 >

◎表 18

単位：円

区 分	前年度 未収繰越額	収 入 額	不納 欠損額	差引 未収繰越額	本年度 未収繰越額	未収繰越額 合計
社会保険 未 収 金	625,439,394	625,439,394	0	0	777,850,667	777,850,667
個 人 未 収 金	42,617,451	32,721,102	0	9,896,349	31,789,866	41,686,215
そ の 他 未 収 金	77,468,903	77,444,053	0	24,850	81,300,338	81,325,188
計	745,525,748	735,604,549	0	9,921,199	890,940,871	900,862,070

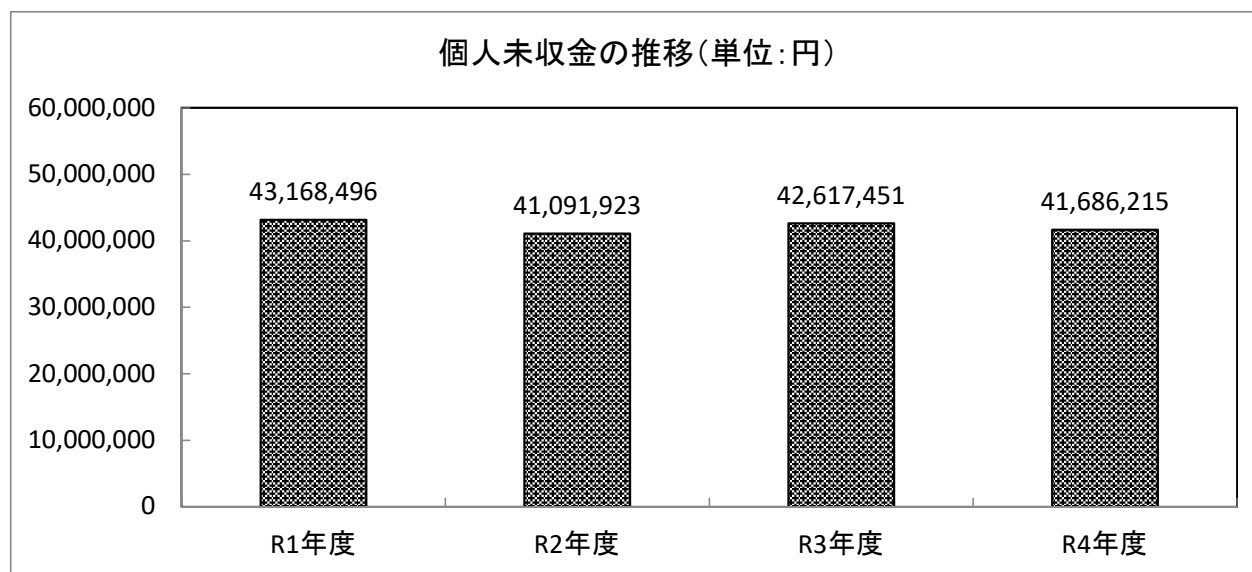
その他未収金の主な未収額は、国県補助金 38,292,000 円や長期前受金 21,230,000 円である。

◎表 19 < 個人未収金の推移 >

単位：円、%

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	比 較	
					増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)
個人未収金	43,168,496	41,091,923	42,617,451	41,686,215	△ 931,236	△ 2.2

◎図 7





< 大森病院 >

◎表 2 0

単位：円

区 分	前年度 未収繰越額	収 入 額	不納 欠損額	差引 未収繰越額	本年度 未収繰越額	未収繰越額 合計
社会保険 未 収 金	260,690,136	260,690,136	0	0	324,407,029	324,407,029
個 人 未 収 金	14,934,667	6,543,240	0	8,391,427	7,452,415	15,843,842
そ の 他 未 収 金	41,120,142	41,120,142	0	0	26,421,484	26,421,484
計	316,744,945	308,353,518	0	8,391,427	358,280,928	366,672,355

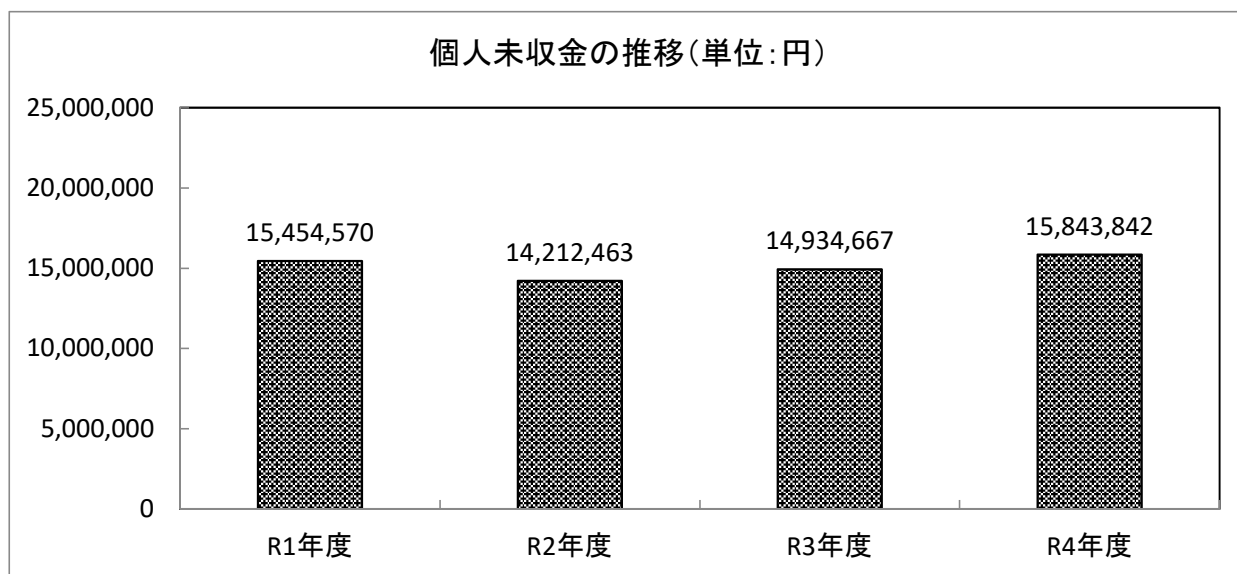
その他未収金の主な未収額は、国県補助金6,183,648円や派遣医師手当4,225,500円である。

◎表 2 1 <個人未収金の推移>

単位：円、%

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	比 較	
					増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)
個人未収金	15,454,570	14,212,463	14,934,667	15,843,842	909,175	6.1

◎図 8



(4) 企業債について

企業債年度末残高の状況は、次のとおりである。

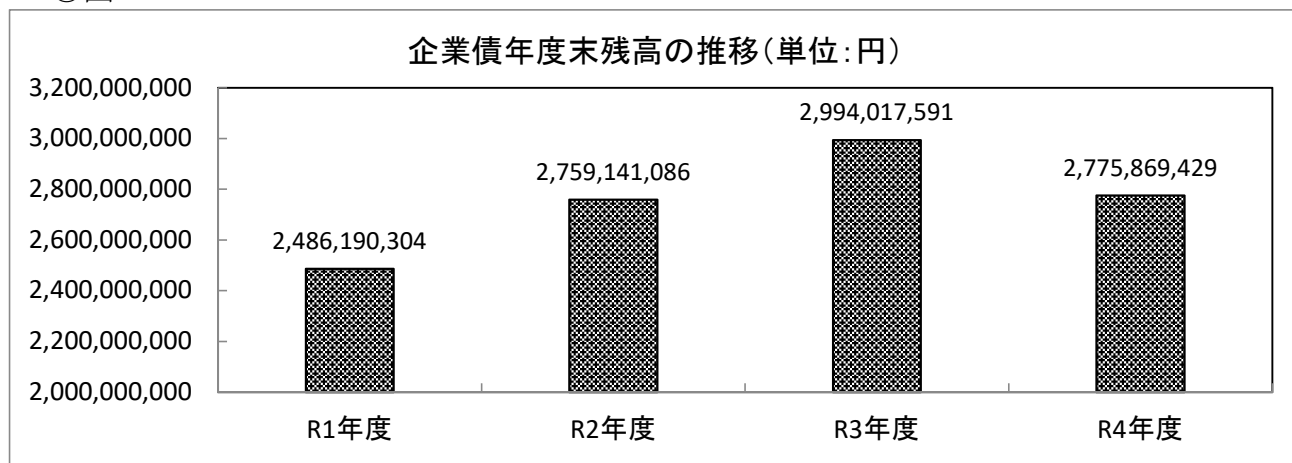
< 横手病院 >

◎表 2 2 < 企業債年度末残高の推移 >

単位：円、%

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	比 較	
					増 減 (C=A-B)	率 (C÷B× 100)
企業債	2,486,190,304	2,759,141,086	2,994,017,591	2,775,869,429	△ 218,148,162	△ 7.3

◎図 9



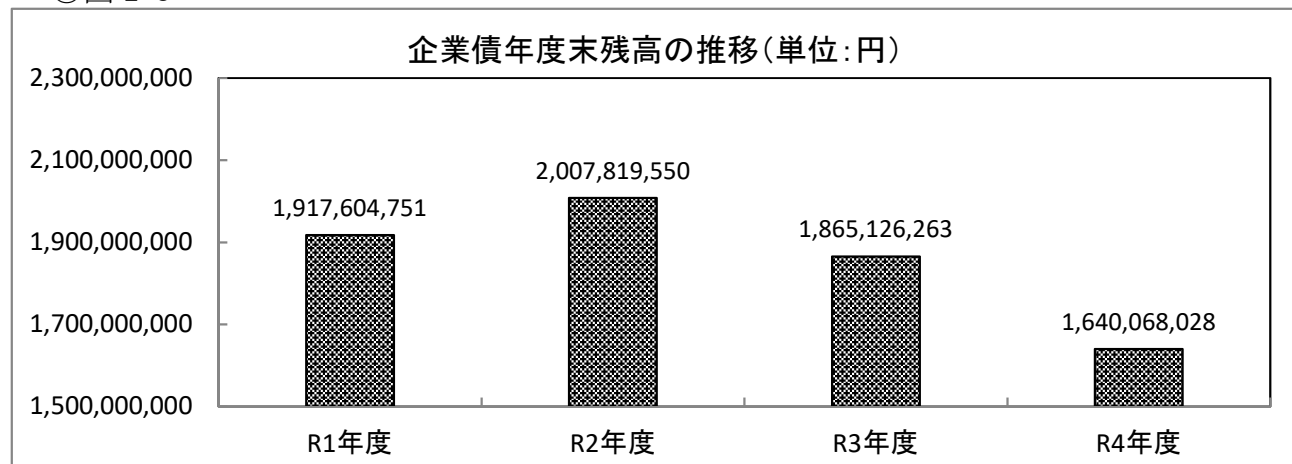
< 大森病院 >

◎表 2 3 < 企業債年度末残高の推移 >

単位：円、%

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	比 較	
					増 減 (C=A-B)	率 (C÷B× 100)
企業債	1,917,604,751	2,007,819,550	1,865,126,263	1,640,068,028	△ 225,058,235	△ 12.1

◎図 1 0



(5) キャッシュ・フローの状況について

本年度のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりである。

◎表24< キャッシュ・フロー計算書(全体) >

単位:円

項目	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較増減 (A-B)
<b>1 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
当年度純損益	△ 317,602,085	△ 205,676,313	△ 111,925,772
減価償却費	617,734,791	534,361,294	83,373,497
固定資産除却費	2,924,973	33,194,726	△ 30,269,753
看護師等償還金貸付免除額	1,200,000	1,000,000	200,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 5,608,000	△ 4,602,000	△ 1,006,000
法定福利費引当金の増減額(△は減少)	△ 241,000	4,541,000	△ 4,782,000
長期前受金戻入額	△ 27,748,040	△ 23,883,525	△ 3,864,515
受取利息及び配当金	△ 398,630	△ 358,151	△ 40,479
支払利息	54,972,466	60,550,743	△ 5,578,277
未収金の増減額	△ 205,263,732	88,073,423	△ 293,337,155
未払金の増減額	36,426,653	14,374,544	22,052,109
貯蔵品の増減額	△ 3,480,534	△ 12,510,096	9,029,562
その他流動負債の増減額	△ 3,749,340	△ 27,948,570	24,199,230
小計	149,167,522	461,117,075	△ 311,949,553
利息及び配当金の受取額	398,630	358,151	40,479
利息の支払額	△ 54,972,466	△ 60,550,743	5,578,277
計	94,593,686	400,924,483	△ 306,330,797
<b>2 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△ 319,208,699	△ 863,184,277	543,975,578
看護師等奨学金貸付による支出	△ 3,900,000	△ 4,200,000	300,000
国庫補助金等による収入	83,371,000	24,040,000	59,331,000
看護師等奨学金貸付金返還による収入	2,100,000	0	2,100,000
計	△ 237,637,699	△ 843,344,277	605,706,578
<b>3 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	222,100,000	745,000,000	△ 522,900,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還等による支出	△ 665,306,397	△ 652,864,937	△ 12,441,460
他会計からの出資による収入	345,300,000	325,355,240	19,944,760
計	△ 97,906,397	417,490,303	△ 515,396,700
<b>4 資金増加額</b>	△ 240,950,410	△ 24,929,491	△ 216,020,919
<b>5 資金期首残高</b>	4,009,373,918	4,034,303,409	△ 24,929,491
<b>6 資金期末残高</b>	3,768,423,508	4,009,373,918	△ 240,950,410

◎表25 &lt; キャッシュ・フロー計算書（横手病院） &gt;

単位:円

項 目	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較増減 (A-B)
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純損益	△ 190,348,187	△ 156,809,459	△ 33,538,728
減価償却費	430,113,523	355,137,741	74,975,782
固定資産除却費	751,890	25,118,924	△ 24,367,034
看護師等償還金貸付免除額	1,200,000	1,000,000	200,000
退職給付引当金の増減額（△は減少）	0	0	0
賞与引当金の増減額（△は減少）	△ 4,794,000	△ 3,009,000	△ 1,785,000
法定福利費引当金の増減額（△は減少）	△ 55,000	4,964,000	△ 5,019,000
長期前受金戻入額	△ 13,827,325	△ 10,513,300	△ 3,314,025
受取利息及び配当金	△ 231,334	△ 325,794	94,460
支払利息	27,775,125	29,370,060	△ 1,594,935
未収金の増減額	△ 155,336,322	49,664,254	△ 205,000,576
未払金の増減額	△ 33,417,965	25,012,193	△ 8,405,772
貯蔵品の増減額	713,913	△ 13,568,537	14,282,450
その他流動負債の増減額	△ 3,127,933	△ 30,234,973	27,107,040
小 計	59,416,385	275,806,109	△ 216,389,724
利息及び配当金の受取額	231,334	325,794	△ 94,460
利息の支払額	△ 27,775,125	△ 29,370,060	1,594,935
計	31,872,594	246,761,843	△ 214,889,249
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 187,406,347	△ 727,188,627	539,782,280
看護師等奨学金貸付による支出	△ 3,300,000	△ 3,600,000	300,000
国庫補助金等による収入	67,841,000	20,773,000	47,068,000
看護師等奨学金貸付金返還による収入	2,100,000	0	2,100,000
計	△ 120,765,347	△ 710,015,627	589,250,280
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	109,800,000	621,900,000	△ 512,100,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還等による支出	△ 327,948,162	△ 387,071,650	59,123,488
他会計からの出資による収入	148,109,000	162,736,000	△ 14,627,000
計	△ 70,039,162	397,564,350	△ 467,603,512
4 資金増加額	△ 158,931,915	△ 65,689,434	△ 93,242,481
5 資金期首残高	2,345,924,989	2,411,614,423	△ 65,689,434
6 資金期末残高	2,186,993,074	2,345,924,989	△ 158,931,915

当年度における資金は、業務活動で得た資金31,872,594円と財務活動で得た資金257,909,000円を固定資産の取得等の投資活動に120,765,347円、企業債の償還等の財務活動に327,948,162円充てた結果、当年度末には2,186,993,074円となった。

◎表26 &lt; キャッシュ・フロー計算書（大森病院） &gt;

単位:円

項 目	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較増減 (A-B)
<b>1 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
当年度純損益	△ 127,253,898	△ 48,866,854	△ 78,387,044
減価償却費	187,621,268	179,223,553	8,397,715
固定資産除却費	2,173,083	8,075,802	△ 5,902,719
看護師等償還金貸付免除額	0	0	0
賞与引当金の増減額（△は減少）	△ 814,000	△ 1,593,000	779,000
法定福利費引当金の増減額（△は減少）	△ 186,000	△ 423,000	237,000
長期前受金戻入額	△ 13,920,715	△ 13,370,225	△ 550,490
受取利息及び配当金	△ 167,296	△ 32,357	△ 134,939
支払利息	27,197,341	31,180,683	△ 3,983,342
未収金の増減額	△ 49,927,410	38,409,169	△ 88,336,579
未払金の増減額	69,844,618	△ 10,637,649	80,482,267
貯蔵品の増減額	△ 4,194,447	1,058,441	△ 5,252,888
その他流動負債の増減額	△ 621,407	2,286,403	△ 2,907,810
小 計	89,751,137	185,310,966	△ 95,559,829
利息及び配当金の受取額	167,296	32,357	134,939
利息の支払額	△ 27,197,341	△ 31,180,683	3,983,342
計	62,721,092	154,162,640	△ 91,441,548
<b>2 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△ 131,802,352	△ 135,995,650	4,193,298
看護師等奨学金貸付による支出	△ 600,000	△ 600,000	0
有価証券の売却による収入	0	0	0
国庫補助金等による収入	15,530,000	3,267,000	12,263,000
看護師等奨学金貸付金返還による収入	0	0	0
計	△ 116,872,352	△ 133,328,650	16,456,298
<b>3 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	112,300,000	123,100,000	△ 10,800,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債等の償還による支出	△ 337,358,235	△ 265,793,287	△ 71,564,948
他会計からの出資による収入	197,191,000	162,619,240	34,571,760
計	△ 27,867,235	19,925,953	△ 47,793,188
<b>4 資金増加額</b>	△ 82,018,495	40,759,943	△ 122,778,438
<b>5 資金期首残高</b>	1,663,448,929	1,622,688,986	40,759,943
<b>6 資金期末残高</b>	1,581,430,434	1,663,448,929	△ 82,018,495

当年度における資金は、業務活動で得た資金62,721,092円と財務活動で得た資金309,491,000円を固定資産の取得等の投資活動に116,872,352円、企業債の償還等の財務活動に337,358,235円充てた結果、当年度末には1,581,430,434円となった。

## 4. む す び

### (1) 業務実績

病院事業全体の年間延べ入院患者数は100,001人で、前年度に比較して983人減少している。また、年間延べ外来患者数は196,072人で、前年度に比較して4,625人減少している。

病院別は、次のとおりである。

#### ア 横手病院

年間延べ入院患者数は52,003人で、前年度に比較して2,216人減少している。また、一般病床の病床利用率は63.3%となり、前年度に比較して2.7ポイント低下している。

なお、年間延べ外来患者数は130,506人で、前年度に比較して4,315人減少している。

#### イ 大森病院

年間延べ入院患者数は47,998人で、前年度に比較して1,233人増加している。また、一般病床の病床利用率は90.1%となり、前年度に比較して1.0ポイント低下している。

なお、年間延べ外来患者数は65,566人で、前年度に比較して310人減少している。

### (2) 経営成績

病院事業全体では、総収益7,847,003千円（前年度比較316,237千円増）、総費用8,164,605千円（前年度比較428,163千円増）で、317,602千円（前年度比較111,926千円増）の当年度純損失を生じている。

病院別は、次のとおりである。

#### ア 横手病院

総収益は5,333,713千円（前年度比較222,796千円増）となっており、これは主に入院収益が増加したことによるものである。

また、総費用は5,524,062千円（前年度比較256,334千円増）となっており、これは主に給与費及び材料費が増加したことによるものである。

この結果、190,348千円（前年度比較33,539千円増）の当年度純損失を計上している。

病院の経営活動の成果を表す経常収支比率は96.6%、医業収支比率は86.6%であり、いずれも前年度より低下している。

また、収益性に影響を与える病床利用率（一般）についても、63.3%で、前年度より2.7ポイント低下している。

#### イ 大森病院

総収益は2,513,290千円（前年度比較93,442千円増）となっており、これは主に入院収益が増加したことによるものである。

また、総費用は2,640,544千円（前年度比較171,829千円増）となっており、これは主に給与費及び材料費が増加したことによるものである。

この結果、127,254千円（前年度比較78,387千円増）の当年度純損失を計上している。

病院の経営活動の成果を表す経常収支比率は95.2%、医業収支比率は86.4%であり、いずれも前年度より低下している。

また、収益性に影響を与える病床利用率については、一般病床では90.1%で、前年度より1.0ポイント低下、療養病床では82.9%で、前年度より8.9ポイント上昇している。

### （3）財政状態

病院事業全体の資産は11,760,799千円（前年度比較333,057千円減）、負債は6,325,557千円（前年度比較360,755千円減）、資本は5,435,242千円（前年度比較27,698千円増）である。

病院別は、次のとおりである。

#### ア 横手病院

資産では、7,702,319千円（前年度比較247,769千円減）となっている。これは主に有形固定資産が減少したことによるものである。

また、負債は、3,965,811千円（前年度比較205,529千円減）となっている。これは主に固定負債の企業債及び未払金が減少したことによるものである。

また、資本は、3,736,508千円（前年度比較42,239千円減）となっており、これは利益剰余金が減少したことによるものである。

企業の支払能力を判断するために使用される財務指標である流動比率、当座比率、現金預金比率については、3比率がそれぞれ432.3%、424.3%、300.5%となっている。

医業未収金である医療費の個人未収金41,686千円は、前年度より931千円(2.2%)減少している。引き続き公平性と財政基盤確保の観点からも、未収金の縮減及び適切な債権管理に努められたい。

#### イ 大森病院

資産では、4,058,480千円(前年度比較85,289千円減)となっている。これは有形固定資産及び現金預金が減少したことによるものである。

また、負債は、2,359,746千円(前年度比較155,226千円減)となっている。これは主に固定負債の企業債及び長期前受金収益化累計額が減少したことによるものである。

また、資本は、1,698,734千円(前年度比較69,937千円増)となっており、これは主に繰入資本金が増加したことによるものである。

企業の支払能力を判断するために使用される財務指標である流動比率、当座比率、現金預金比率については、3比率がそれぞれ312.6%、308.7%、250.6%となっており、前年度と比較していずれも低下している。

医業未収金である医療費の個人未収金15,844千円は、前年度より909千円(6.1%)増加している。引き続き公平性と財政基盤確保の観点からも、未収金の縮減及び適切な債権管理に努められたい。



#### (4) まとめ

令和4年度横手市病院事業会計決算審査の概要は以上のとおりである。

当年度の経営状況については、横手病院は年間延べ患者数は減少となったものの患者1人1日当たりの単価の増加により総収益が増加している。しかし、職員退職手当負担金の再開に伴う人件費や病院改修工事の終了に伴う減価償却費等の総費用が増加したため1億9,035万円の純損失となり3年連続の赤字となった。大森病院は入院収益や他会計補助金の増加により総収益は増加したものの、人件費、材料費等の増加により総費用が増加したため1億2,725万円の純損失となり2年連続の赤字となった。

建設改良事業では、横手病院において人工腎臓装置や超音波画像診断装置等を導入し、中央監視装置用端末伝送装置を更新した。大森病院では、健診システムや画像診断支援AIシステムを導入し、無停電電源装置(UPS)を更新した。両病院ともに、高度な医療の提供と医師の負担軽減を図るため医療機器を導入しているが、医業収支のバランスを的確に見極めながら計画的な設備投資を行うことが重要である。

また、病院経営の基盤となる医師、看護師等の医療スタッフの安定的な確保と良好な職場環境の改善に努められたい。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の扱いが5類に引き下げられ、その影響が減少しているものの、前年度に引き続き人件費、燃料費及び光熱水費等の費用が上昇する中で、収益構造並びに医療提供体制の改善に向けた対策を講じながら、市民の生命と健康を守り、地域医療の拠点として医療サービスの充実に望むものである。

# 資 料

損益計算書の推移  
貸借対照表の推移

(令和元～令和4年度)

横手病院 損益計算書の推移

単位：円

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
医業収益	入院収益	3,019,090,643	2,790,222,078	2,870,525,421	2,955,635,215
	外来収益	1,523,855,822	1,369,878,262	1,398,692,927	1,440,705,627
	その他医業収益	256,439,419	239,564,639	260,087,250	246,698,695
	計	4,799,385,884	4,399,664,979	4,529,305,598	4,643,039,537
医業費用	給与費	2,953,211,098	3,023,687,948	3,079,111,100	3,183,467,971
	材料費	1,093,032,606	1,007,867,368	1,036,748,034	1,116,235,995
	経費	698,943,348	692,008,855	723,630,396	751,958,190
	減価償却費	322,324,633	335,971,473	355,137,741	430,113,523
	資産減耗費	4,797,286	8,703,591	25,755,926	2,021,140
	研究研修費	16,536,053	7,706,937	7,980,031	8,976,976
	重量税	124,600	65,400	127,800	69,000
	計	5,088,969,624	5,076,011,572	5,228,491,028	5,492,842,795
医業損益		△ 289,583,740	△ 676,346,593	△ 699,185,430	△ 849,803,258
医業外収益	受取利息配当金	443,344	384,022	325,794	231,334
	国県補助金	8,064,000	248,502,700	244,864,780	347,935,000
	他会計補助金	5,924,700	5,861,100	5,606,700	21,483,900
	他会計負担金	282,560,000	280,864,000	277,694,000	285,135,000
	長期前受金戻入	846,792	585,280	10,513,300	13,827,325
	その他医業外収益	36,989,808	35,871,950	33,996,919	22,061,397
	計	334,828,644	572,069,052	573,001,493	690,673,956
医業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	36,398,673	31,307,971	29,370,060	27,775,125
	雑損失	550,000	1,064,899	1,000,000	3,342,473
	計	36,948,673	32,372,870	30,370,060	31,117,598
医業外損益		297,879,971	539,696,182	542,631,433	659,556,358
経常損益		8,296,231	△ 136,650,411	△ 156,553,997	△ 190,246,900
特別利益		0	101,910,101	8,610,730	0
特別損失		279,201	101,963,266	8,866,192	101,287
特別損益		△ 279,201	△ 53,165	△ 255,462	△ 101,287
当年度純利益 (△当年度純損失)		8,017,030	△ 136,703,576	△ 156,809,459	△ 190,348,187
前年度繰越利益剰余金 (△前年度繰越欠損金)		438,711,775	446,728,805	310,025,229	153,215,770
資本金の減少 による欠損填補		0	0	0	0
当年度未処分利益剰余金 (△当年度未処理欠損金)		446,728,805	310,025,229	153,215,770	△ 37,132,417

横手病院 貸借対照表の推移

単位：円

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
資 産	固定資産	有形固定資産	3,993,848,003	4,443,266,792	4,791,226,334	4,547,767,268
		無形固定資産	1,027,580	1,027,500	0	0
		投 資	3,800,000	5,800,000	8,400,000	8,400,000
		小 計	3,998,675,583	4,450,094,292	4,799,626,334	4,556,167,268
	流動資産	現金預金	2,542,321,035	2,411,614,423	2,345,924,989	2,186,993,074
		未 収 金	776,150,083	795,190,002	745,525,748	900,862,070
		有 価 証 券	100,000,000	0	0	0
		貯 蔵 品	44,587,007	45,442,133	59,010,670	58,296,757
		小 計	3,463,058,125	3,252,246,558	3,150,461,407	3,146,151,901
	資 産 合 計		7,461,733,708	7,702,340,850	7,950,087,741	7,702,319,169
負 債	固定負債	企 業 債	2,128,488,304	2,372,165,241	2,666,068,591	2,448,053,429
		引 当 金	656,227,000	656,227,000	656,227,000	656,227,000
		小 計	2,784,715,304	3,028,392,241	3,322,295,591	3,104,280,429
	流動負債	企 業 債	357,702,000	387,024,000	327,949,000	327,816,000
		未 払 金	351,862,762	222,120,274	247,132,467	213,714,502
		引 当 金	163,088,000	166,830,000	168,785,000	163,936,000
		その他流動負債	28,922,764	55,710,393	25,475,420	22,347,487
		小 計	901,575,526	831,684,667	769,341,887	727,813,989
	繰延収益	長期前受金	5,634,012	74,681,012	95,454,012	163,295,012
		長期前受金額 収益化累計額	△ 4,652,098	△ 5,237,378	△ 15,750,678	△ 29,578,003
		小 計	981,914	69,443,634	79,703,334	133,717,009
	負 債 合 計		3,687,272,744	3,929,520,542	4,171,340,812	3,965,811,427
	資 本	資本金	繰入資本金	1,336,822,006	1,471,885,006	1,634,621,006
引継資本金			1,972,510,153	1,972,510,153	1,972,510,153	1,972,510,153
小 計			3,309,332,159	3,444,395,159	3,607,131,159	3,755,240,159
剰余金		利益剰余金(△欠損金)	465,128,805	328,425,229	171,615,770	△ 18,732,417
		小 計	465,128,805	328,425,229	171,615,770	△ 18,732,417
資 本 合 計		3,774,460,964	3,772,820,388	3,778,746,929	3,736,507,742	
負 債 ・ 資 本 合 計		7,461,733,708	7,702,340,930	7,950,087,741	7,702,319,169	

大森病院 損益計算書の推移

単位：円

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
医業収益	入院収益	1,494,452,679	1,450,590,958	1,501,879,647	1,571,122,583
	外来収益	480,261,646	433,496,518	437,623,835	475,414,210
	その他医業収益	147,303,500	143,097,066	172,646,722	160,063,747
	計	2,122,017,825	2,027,184,542	2,112,150,204	2,206,600,540
医業費用	給与費	1,511,184,976	1,522,245,210	1,507,150,539	1,611,664,967
	材料費	343,591,179	302,265,350	298,909,329	338,640,407
	経費	409,617,870	413,498,986	431,232,113	463,716,210
	減価償却費	133,211,580	129,195,431	179,223,553	187,621,268
	資産減耗費	5,477,607	17,973,560	8,951,838	3,281,732
	研究研修費	11,307,133	3,906,037	4,547,619	8,097,075
	重量税	170,400	31,200	104,800	73,600
	計	2,414,560,745	2,389,115,774	2,430,119,791	2,613,095,259
医業損益		△ 292,542,920	△ 361,931,232	△ 317,969,587	△ 406,494,719
医業外収益	受取利息配当金	175,904	135,055	32,357	167,296
	国県補助金	2,337,090	158,275,990	59,055,850	67,504,788
	他会計補助金	1,881,150	1,881,150	1,753,950	12,317,550
	他会計負担金	206,382,000	205,915,000	183,638,000	181,937,000
	他会計繰入金	347,000	91,000	92,000	94,000
	長期前受金戻入	4,269,300	4,619,248	13,370,225	13,920,715
	その他医業外収益	43,691,963	40,085,789	43,155,508	30,747,751
	計	259,084,407	411,003,232	301,097,890	306,689,100
医業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	39,425,469	35,395,325	31,180,683	27,197,341
	雑損失	500,000	0	0	0
	計	39,925,469	35,395,325	31,180,683	27,197,341
国保直診施設事業費		964,293	241,597	244,149	250,000
医業外損益		218,194,645	375,366,310	269,673,058	279,241,759
経常損益		△ 74,348,275	13,435,078	△ 48,296,529	△ 127,252,960
特別利益		0	12,150,000	6,600,000	0
特別損失		621,587	12,151,255	7,170,325	938
特別損益		△ 621,587	△ 1,255	△ 570,325	△ 938
当年度純利益 (△当年度純損失)		△ 74,969,862	13,433,823	△ 48,866,854	△ 127,253,898
前年度繰越利益剰余金 (△前年度繰越欠損金)		△ 459,508,035	△ 534,477,897	△ 521,044,074	△ 569,910,928
資本金の減少 による欠損填補		0	0	0	0
当年度未処分利益剰余金 (△当年度未処理欠損金)		△ 534,477,897	△ 521,044,074	△ 569,910,928	△ 697,164,826

大森病院 貸借対照表の推移

単位：円

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
資 産	固定資産	有形固定資産	1,944,694,607	2,191,502,448	2,140,198,743	2,082,206,744
		無形固定資産	0	0	0	0
		投 資	1,200,000	1,800,000	2,400,000	3,000,000
		小 計	1,945,894,607	2,193,302,448	2,142,598,743	2,085,206,744
	流動資産	現金預金	1,480,000,227	1,622,688,986	1,663,448,929	1,581,430,434
		未 収 金	433,957,796	355,154,114	316,744,945	366,672,355
		貯 蔵 品	20,328,769	22,034,403	20,975,962	25,170,409
		小 計	1,934,286,792	1,999,877,503	2,001,169,836	1,973,273,198
	資 産 合 計		3,880,181,399	4,193,179,951	4,143,768,579	4,058,479,942
	負 債	固定負債	企 業 債	1,675,478,550	1,742,026,263	1,527,768,028
引 当 金			341,078,000	341,078,000	341,078,000	341,078,000
小 計			2,016,556,550	2,083,104,263	1,868,846,028	1,641,606,043
流動負債		企 業 債	242,085,201	265,793,287	337,358,235	339,539,985
		未 払 金	104,160,589	127,653,198	117,015,549	186,860,167
		引 当 金	86,485,000	89,474,000	87,458,000	86,458,000
		その他流動負債	22,145,434	16,625,803	18,912,206	18,290,799
		小 計	454,876,224	499,546,288	560,743,990	631,148,951
繰延収益		長期前受金	707,909,075	758,228,275	761,495,275	777,025,275
		長期前受金額 収益化累計	△ 658,124,460	△ 662,743,708	△ 676,113,933	△ 690,034,648
		小 計	49,784,615	95,484,567	85,381,342	86,990,627
負 債 合 計		2,521,217,389	2,678,135,118	2,514,971,360	2,359,745,621	
資 本		資本金	繰入資本金	1,378,728,937	1,521,375,937	1,683,995,177
	引継資本金		510,174,970	510,174,970	510,174,970	510,174,970
	小 計		1,888,903,907	2,031,550,907	2,194,170,147	2,391,361,147
	剰余金	利益剰余金(△欠損金)	△ 529,939,897	△ 516,506,074	△ 565,372,928	△ 692,626,826
		小 計	△ 529,939,897	△ 516,506,074	△ 565,372,928	△ 692,626,826
	資 本 合 計		1,358,964,010	1,515,044,833	1,628,797,219	1,698,734,321
負 債 ・ 資 本 合 計		3,880,181,399	4,193,179,951	4,143,768,579	4,058,479,942	

# 横手市水道事業会計

## 1. 予算執行状況

### (1) 収支決算額について

収益的収支	収益的収入	1,997,256,517円
	収益的支出	1,918,846,372円
	差引額	78,410,145円

収益的収入から収益的支出を差し引いた額は78,410,145円であり、この額から消費税関係分を控除した額1,538,498円が当年度純利益である。

資本的収支	資本的収入	1,053,718,530円
	資本的支出	2,011,663,184円
	差引額	△957,944,654円

資本的収入が資本的支出に不足する額957,944,654円は、過年度分損益勘定留保資金818,907,116円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額75,872,074円及び減債積立金63,165,464円で補てんされている。

### (2) 収益的収入及び支出について

#### < 収入 >

収益的収入は、予算現額1,970,723,000円に対し、決算額は1,997,256,517円で収入率は101.3%となっている。

その内訳は、次のとおりである。

◎表1

単位:円、%

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増 減 (B-A)	収入率 (B÷A×100)
営業収益	1,743,666,000	1,768,040,832	24,374,832	101.4
営業外収益	227,056,000	229,215,685	2,159,685	101.0
特別利益	1,000	0	△1,000	0.0
計	1,970,723,000	1,997,256,517	26,533,517	101.3

#### ア 営業収益

営業収益の決算額1,768,040,832円は、予算現額に対し101.4%の収入率となっている。決算額の主なものは、給水収益の水道料金1,686,579,783円である。

イ 営業外収益

営業外収益の決算額 229,215,685円は、予算現額に対し 101.0%の収入率となっている。決算額の主なものは、長期前受金戻入 193,492,708円及び他会計補助金 31,040,000円である。

< 支 出 >

収益的支出は、予算現額 2,004,044,000円に対し、決算額は 1,918,846,372円で執行率は 95.7%となっている。

その内訳は、次のとおりである。

◎表2

単位:円、%

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B÷A×100)
営 業 費 用	1,787,060,000	1,728,968,582	0	58,091,418	96.7
営 業 外 費 用	205,984,000	189,877,790	0	16,106,210	92.2
特 別 損 失	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0
予 備 費	10,000,000	0	0	10,000,000	0.0
計	2,004,044,000	1,918,846,372	0	85,197,628	95.7

ア 営業費用

営業費用の決算額 1,728,968,582円は、予算現額に対し 96.7%の執行率となっている。決算額の主なものは、原水及び浄水費315,715,544円及び減価償却費923,245,528円である。

イ 営業外費用

営業外費用の決算額 189,877,790円は、予算現額に対し 92.2%の執行率となっている。決算額の主なものは、企業債利息155,765,078円である。

ウ 予備費

◎表3

単位:円、%

議決予算額	充用額	不用額	充用率
10,000,000	0	10,000,000	0



### (3) 資本的収入及び支出について

#### < 収 入 >

資本的収入は、予算現額 1,053,754,000円に対し、決算額は 1,053,718,530円で収入率は 99.9%となっている。

その内訳は、次のとおりである。

◎表4

単位:円、%

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増 減 (B-A)	収入率 (B÷A×100)
企 業 債	664,700,000	664,700,000	0	100.0
出 資 金	178,340,000	178,340,000	0	100.0
国庫補助金	203,897,000	203,897,000	0	100.0
補 償 金	6,817,000	6,781,530	△ 35,470	99.5
計	1,053,754,000	1,053,718,530	△ 35,470	99.9

(注1) 企業債の予算現額には、地方公営企業法第26条の規定による前年度からの繰越額147,700,000円が含まれている。

#### ア 企業債

企業債の決算額 664,700,000円は、予算現額に対し 100.0%の収入率となっている。  
決算額の内容は、地方公共団体金融機構664,700,000円である。

#### イ 出資金

出資金の決算額 178,340,000円は、予算現額に対し 100.0%の収入率となっている。  
決算額の内容は、一般会計出資金で、企業債の償還金等に充当している。

#### ウ 国庫補助金

国庫補助金の決算額 203,897,000円は、予算現額に対し 100.0%の収入率となっている。  
決算額の内訳は、以下のとおりである。

生活基盤施設耐震化等(水道施設等耐震化事業)補助金	175,669,000円
水道水源開発等施設整備費(水道水源開発施設整備費)補助金	28,228,000円

## < 支 出 >

資本的支出は、予算現額 2,181,767,000円に対し、決算額は 2,011,663,184円で執行率は 92.2%となっている。

その内訳は、次のとおりである。

◎表5

単位:円、%

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	地方公営企業法 第26条の規定に よる翌年度繰越 額(C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B÷A×100)
建設改良費	1,215,276,000	1,065,173,578	126,002,320	24,100,102	87.6
企業債償還金	946,491,000	946,489,606	0	1,394	99.9
予 備 費	20,000,000	0	0	20,000,000	0.0
計	2,181,767,000	2,011,663,184	126,002,320	44,101,496	92.2

(注1) 建設改良費の予算現額には、地方公営企業法第26条の規定による前年度からの繰越額174,319,000円が含まれている。

### ア 建設改良費

建設改良費の決算額 1,065,173,578円は、予算現額に対し 87.6%の執行率となっている。  
決算額の主なものは、次のとおりである。

#### ◎ 建設工事

雄物川桑ノ木地区配水管布設工事(1工区)	50,050,125円
雄物川桑ノ木地区配水管布設工事(2工区)	24,347,400円

#### ◎ 改良工事

平鹿中吉田地区配水管布設替工事	67,735,800円
雄物川高花下地区配水管布設替工事	74,177,400円
大森浄水場第1取水施設更新工事	149,790,300円
十文字睦合地区配水管布設替工事(2工区)	65,544,600円

## イ 企業債償還金

企業債償還金の決算額 946,489,606円は、予算現額に対し 99.9%の執行率となっている。

決算額の内容は、平成4年度以降借入れした企業債の償還金であり、政府資金 445,191,243円、地方公共団体金融機構501,298,363円である。

## ウ 予備費

◎表6

単位:円、%

議決予算額	充用額	不用額	充用率
20,000,000	0	20,000,000	0

### (4) 予算に定められた限度額などについて

当年度予算に定められた限度額などは、いずれも議決された予算に従って適正に執行されている。

その内訳は、次のとおりである。

◎表7

単位:円

区 分	議決予算額	執行額	付 記
第6条 企業債 (借入限度額)	517,000,000	517,000,000	水道施設整備事業
第8条 流用禁止経費	220,540,000	216,396,118	職員給与費
	100,000	0	交際費
第9条 他会計からの 補助金受入額	31,040,000	31,040,000	
第10条 たな卸資産 (購入限度額)	19,039,000	10,995,298	量水器購入費 6,819,670
			材料費 4,175,628

(注1) 第6条企業債の議決予算額及び執行額には、地方公営企業法第26条の規定による前年度からの繰越額に係る財源充当額 147,700,000円は含まれていない。

## ア 予定支出の各項の経費の金額の流用(第7条関係)

予定支出の各項の経費の金額を流用することのできる経費(営業費用と営業外費用との間)の流用はなかった。

## 2. 経営成績

本年度の経営成績は、総収益が1,837,648,808円、総費用が1,836,110,310円で、1,538,498円の当年度純利益となっている。

なお、前年度に比較して、総収益は57,010,769円減少、総費用は4,616,197円増加し、当年度純利益は61,626,966円減少している。

### < 事業損益の前年度比較 >

◎表8

単位:円、%

区 分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比 較	
				増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)
営業 収益	給 水 収 益	1,533,257,517	1,576,866,177	△ 43,608,660	△ 2.8
	受 託 工 事 収 益	85,000	59,000	26,000	44.1
	その他営業収益	75,490,732	75,049,963	440,769	0.6
	計	1,608,833,249	1,651,975,140	△ 43,141,891	△ 2.6
営 業 費 用	原水及び浄水費	291,582,800	259,235,494	32,347,306	12.5
	配水及び給水費	220,601,901	197,718,249	22,883,652	11.6
	受 託 工 事 費	10,210,310	10,374,717	△ 164,407	△ 1.6
	総 係 費	218,757,116	222,480,204	△ 3,723,088	△ 1.7
	減 価 償 却 費	923,245,528	948,162,407	△ 24,916,879	△ 2.6
	資 産 減 耗 費	13,024,287	11,793,400	1,230,887	10.4
	その他営業費用	139,300	175,100	△ 35,800	△ 20.4
	計	1,677,561,242	1,649,939,571	27,621,671	1.7
営 業 損 益		△ 68,727,993	2,035,569	△ 70,763,562	-
営業 外 収 益	受取利息及び配当金	176,488	410,781	△ 234,293	△ 57.0
	他 会 計 補 助 金	31,040,000	39,209,000	△ 8,169,000	△ 20.8
	長期前受金戻入	193,492,708	198,832,930	△ 5,340,222	△ 2.7
	雑 収 益	4,106,363	4,231,374	△ 125,011	△ 3.0
	計	228,815,559	242,684,085	△ 13,868,526	△ 5.7
営業 外 費 用	支払利息及び企業債取扱諸費	155,765,078	179,735,752	△ 23,970,674	△ 13.3
	雑 支 出	2,783,990	1,804,300	979,690	54.3
	計	158,549,068	181,540,052	△ 22,990,984	△ 12.7
営 業 外 損 益		70,266,491	61,144,033	9,122,458	-
経 常 損 益		1,538,498	63,179,602	△ 61,641,104	-
特 別 利 益		0	352	△ 352	皆減
特 別 損 失		0	14,490	△ 14,490	皆減
特 別 損 益		0	△ 14,138	14,138	-
当 年 度 純 利 益 (△ 当 年 度 純 損 失)		1,538,498	63,165,464	△ 61,626,966	△ 97.6
前年度繰越利益剰余金 (△ 前年度繰越欠損金)		0	0	0	-
当年度未処分利益剰余金 (△ 当年度未処理欠損金)		1,538,498	63,165,464	△ 61,626,966	△ 97.6

(1) 営業収益について

営業収益の決算額1,608,833,249円は、前年度に比較して43,141,891円(2.6%)の減となっているが、これは主に給水収益が減少したことによるものである。

項目別にみると、受託工事収益が26,000円(44.1%)及びその他営業収益が440,769円(0.6%)それぞれ増になっている。しかし、給水収益の水道料金が43,608,660円(2.8%)の減になっている。

(2) 営業費用について

営業費用の決算額1,677,561,242円は、前年度に比較して27,621,671円(1.7%)の増となっているが、これは主に原水及び浄水費と配水及び給水費が増加したことによるものである。

項目別にみると、受託工事費が164,407円(1.6%)、総係費が3,723,088円(1.7%)、減価償却費が24,916,879円(2.6%)、その他営業費用が35,800円(20.4%)、それぞれ減になっている。しかし、原水及び浄水費が32,347,306円(12.5%)、配水及び給水費が22,883,652円(11.6%)、資産減耗費が1,230,887円(10.4%)、それぞれ増になっている。

この結果、営業損益は68,727,993円の損失となっており、前年度に比較して利益が70,763,562円減少している。

(3) 営業外収益について

営業外収益の決算額228,815,559円は、前年度に比較して13,868,526円(5.7%)の減となっているが、これは主に他会計補助金が減少したことによるものである。

項目別にみると、受取利息及び配当金が234,293円(57.0%)、他会計補助金が8,169,000円(20.8%)、長期前受金戻入が5,340,222円(2.7%)、雑収益が125,011円(3.0%)それぞれ減になっている。

(4) 営業外費用について

営業外費用の決算額158,549,068円は、前年度に比較して22,990,984円(12.7%)の減となっているが、これは主に支払利息が減少したことによるものである。

項目別にみると、支払利息が23,970,674円(13.3%)減となっている。しかし、雑支出が979,690円(54.3%)増になっている。

この結果、営業外損益は70,266,491円の利益となっており、前年度に比較して利益が9,122,458円増加している。

このため、経常損益は1,538,498円の利益となっており、前年度に比較して利益が61,641,104円減少している。

< 業務量 >

年度末給水人口などの状況は、次表のとおりである。

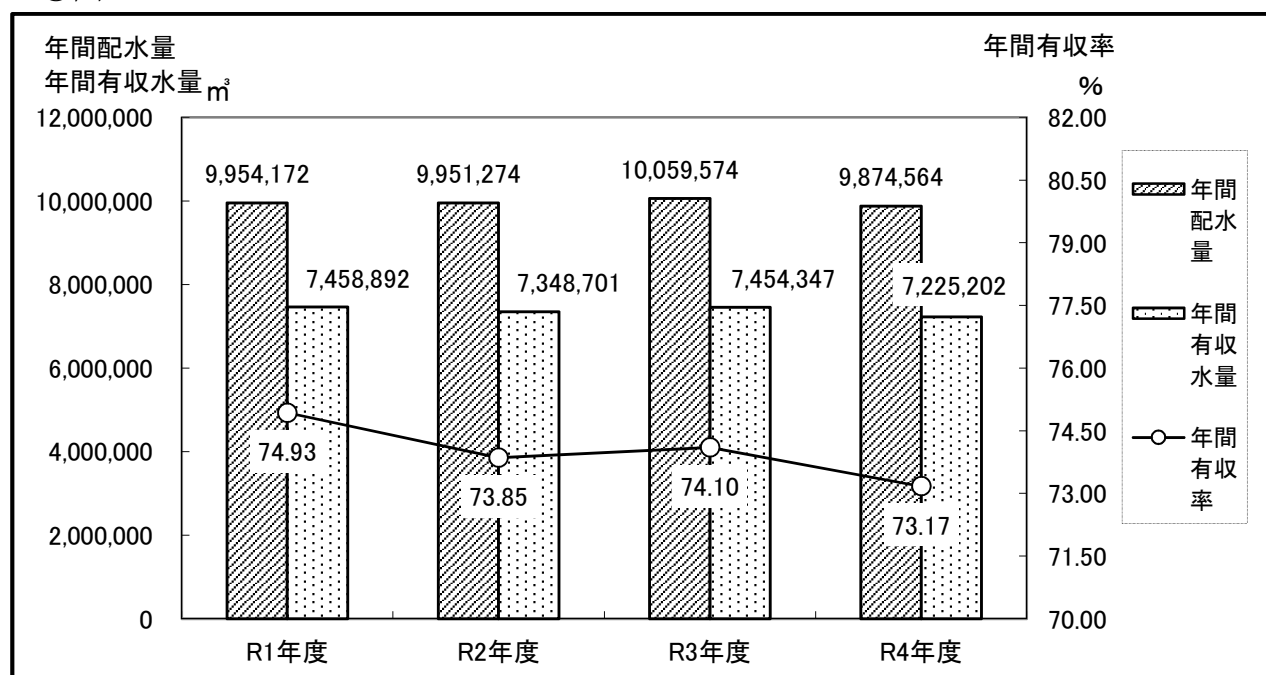
◎表9

単位:人、件、m<sup>3</sup>、%

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	比 較	
					増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)
年度末給水人口	72,904	71,825	70,836	69,563	△ 1,273	△ 1.80
年度末給水件数	30,498	30,543	30,549	30,495	△ 54	△ 0.18
年 間 配 水 量	9,954,172	9,951,274	10,059,574	9,874,564	△ 185,010	△ 1.84
一日平均配水量	27,197	27,264	27,560	27,054	△ 506	△ 1.84
年 間 有 収 水 量	7,458,892	7,348,701	7,454,347	7,225,202	△ 229,145	△ 3.07
一日平均有収水量	20,379	20,133	20,423	19,795	△ 628	△ 3.07
年 間 有 収 率	74.93	73.85	74.10	73.17	△ 0.93	△ 1.26

・年間配水量などの推移

◎図1



< 供給単価と給水原価の比較(水の供給1m<sup>3</sup>当たり) >

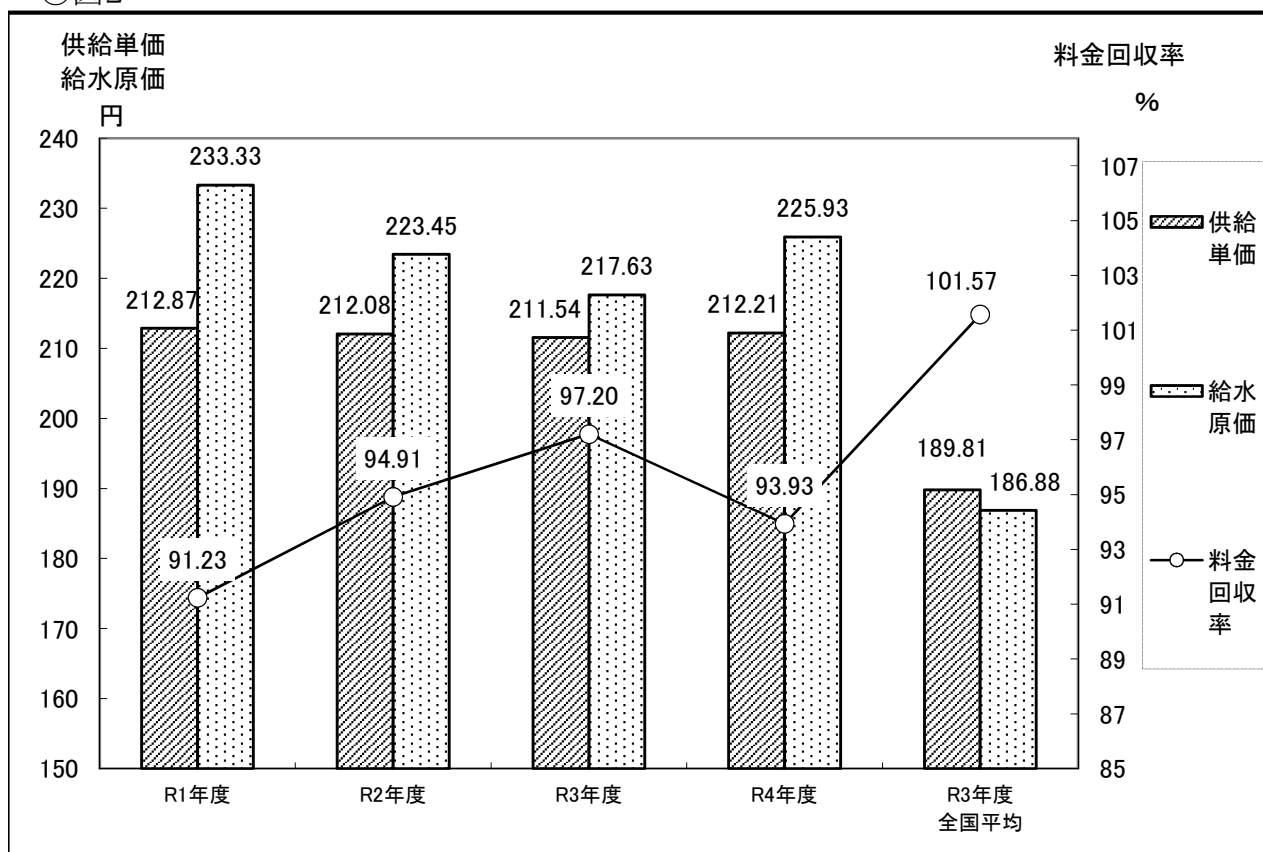
供給単価は212.21円、給水原価は225.93円で、前年度に比較して供給単価は0.67円、給水原価は8.30円それぞれ増加した。

また、料金回収率は93.93%で、前年度に比較し3.27ポイント下降している。

◎表10

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	増 減 (C=A-B)	令和3年度 類似事業 全国平均
供給単価	212.87	212.08	211.54	212.21	0.67	189.81
給水原価	233.33	223.45	217.63	225.93	8.30	186.88
差 引	△ 20.46	△ 11.37	△ 6.09	△ 13.72	△ 7.63	2.93
料金回収率	91.23	94.91	97.20	93.93	△ 3.27	101.57

◎図2



(注1) 供給単価(水の供給1m<sup>3</sup>当りの収入) = 給水収益 ÷ 有収水量

(注2) 給水原価(水の供給1m<sup>3</sup>当りの費用) = {経常費用 - (受託給水工事費 + 材料売却原価 + 不用品売却原価 + 長期前受金戻入)} ÷ 有収水量

(注3) 料金回収率(%) = 供給単価 ÷ 給水原価 × 100

(注4) 令和3年度類似事業全国平均とは、全国の上水道事業(法適用事業)経営規模別の給水人口5万人以上10万人未満の令和3年度決算に基づく全国平均数値である。

## < 水道施設の利用状況 >

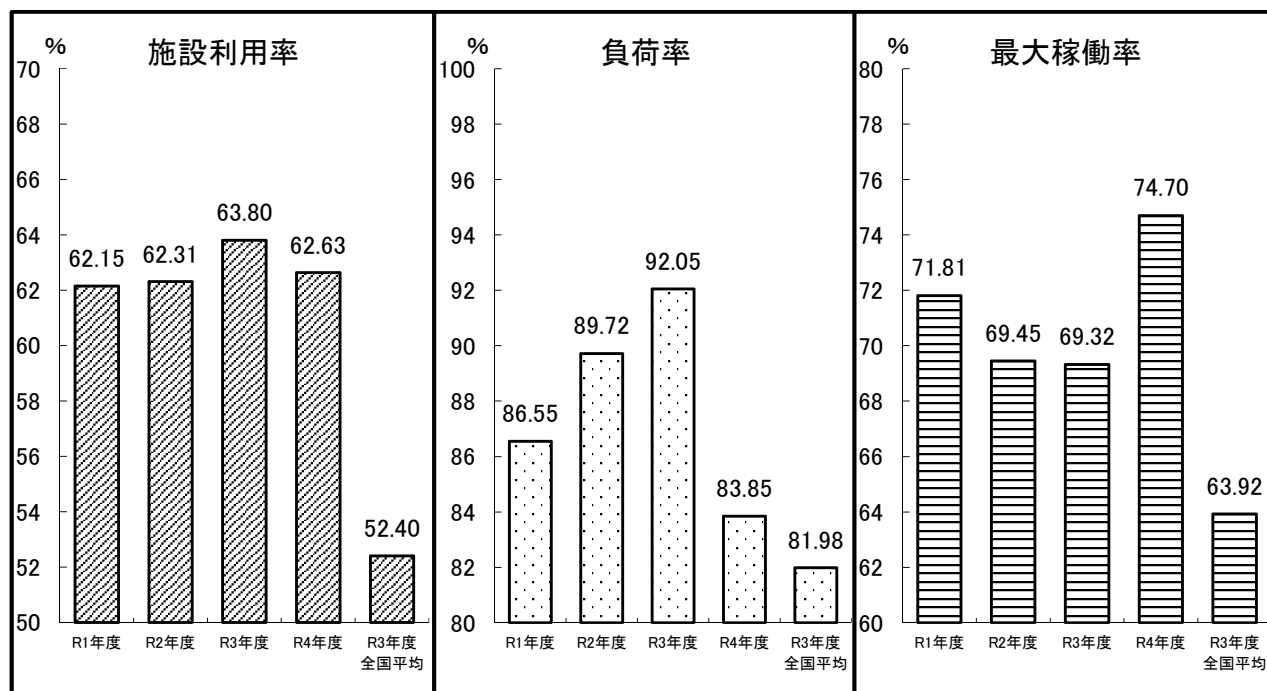
水道施設の利用状況は、次表のとおりである。

◎表11

単位:%

区分	算式	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	令和3年度 類似事業 全国平均
施設利用率	$\frac{1 \text{ 日平均配水量}}{1 \text{ 日配水能力}} \times 100$	62.15	62.31	63.80	62.63	52.40
負荷率	$\frac{1 \text{ 日平均配水量}}{1 \text{ 日最大配水量}} \times 100$	86.55	89.72	92.05	83.85	81.98
最大稼働率	$\frac{1 \text{ 日最大配水量}}{1 \text{ 日配水能力}} \times 100$	71.81	69.45	69.32	74.70	63.92

◎図 3



(注1) 施設利用率とは、一日配水能力に対する一日平均配水量の割合を示すもので、水道施設の経済性を総合的に判断する指標であり、数値が大きいほど効率的であるとされている。なお、「施設利用率＝負荷率×最大稼働率」という関係にある。

(注2) 負荷率とは、一日最大配水量に対する一日平均配水量の割合を示すもので、水道事業の施設効率を判断する指標の一つであり、数値が大きいほど効率的であるとされている。

(注3) 最大稼働率とは、一日配水能力に対する一日最大配水量の割合を示すものである。数値が極端に低い場合は、設備に対する過大投資の懸念があり、逆に、この比率が100%に近い場合には、ピーク時における供給確保のための設備の拡充などについて検討する必要がある。

(注4) 令和3年度類似事業全国平均とは、全国の上水道事業(法適用事業)経営規模別の給水人口5万人以上10万人未満の令和3年度決算に基づく全国平均数値である。



### 3. 財政状態

#### (1) 資産及び負債・資本について

資産及び負債・資本の状況は次のとおりである。

◎表12

区 分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比 較		構成比率 (令和4年度)		
				増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)			
資 産	固定 資産	有形固定資産	21,741,688,142	21,663,577,508	78,110,634	0.4	87.4	
		無形固定資産	1,177,069,651	1,218,727,708	△ 41,658,057	△ 3.4	4.7	
		投 資	0	0	0	-	0.0	
		小 計	22,918,757,793	22,882,305,216	36,452,577	0.2	92.1	
	流動 資産	現 金 預 金	1,565,503,300	1,546,435,675	19,067,625	1.2	6.3	
		未 収 金	389,137,480	252,535,124	136,602,356	54.1	1.6	
		未 貸 倒 引 当 金	△ 443,521	△ 398,652	△ 44,869	11.3	/	
		貯 蔵 品	16,845,596	16,839,181	6,415	0.1	0.1	
		前 払 金	0	54,824,000	△ 54,824,000	皆減	0.0	
		小 計	1,971,042,855	1,870,235,328	100,807,527	5.4	7.9	
	資 産 合 計		24,889,800,648	24,752,540,544	137,260,104	0.6	100.0	
	負 債	固定 負債	企 業 債	9,609,960,235	9,816,637,514	△ 206,677,279	△ 2.1	38.6
			小 計	9,609,960,235	9,816,637,514	△ 206,677,279	△ 2.1	38.6
流動 負債		企 業 債	856,607,279	931,719,606	△ 75,112,327	△ 8.1	3.4	
		未 払 金	468,649,020	225,780,398	242,868,622	107.6	1.9	
		引 当 金	14,188,124	13,395,677	792,447	5.9	0.1	
		その他流動負債	103,857,772	109,172,127	△ 5,314,355	△ 4.9	0.4	
		小 計	1,443,302,195	1,280,067,808	163,234,387	12.8	5.8	
繰 延 収 益		長 期 前 受 金	9,332,940,028	9,159,816,825	173,123,203	1.9	/	
		長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△ 4,594,816,136	△ 4,414,948,431	△ 179,867,705	4.1	/	
		小 計	4,738,123,892	4,744,868,394	△ 6,744,502	△ 0.1	19.0	
負 債 合 計		15,791,386,322	15,841,573,716	△ 50,187,394	△ 0.3	63.4		

区 分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比 較		構成比率 (令和4年度)	
				増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)		
資 本	資 本 金	固 有 資 本 金	1,295,519,034	1,295,519,034	0	0.0	5.2
		出 資 金	3,917,172,354	3,738,832,354	178,340,000	4.8	15.7
		組 入 資 本 金	3,515,593,813	3,452,428,349	63,165,464	1.8	14.1
		小 計	8,728,285,201	8,486,779,737	241,505,464	2.8	35.1
	剰 余 金	資 本 剰 余 金	200,579,846	193,010,846	7,569,000	3.9	0.8
		利 益 剰 余 金 (△ 欠 損 金)	169,549,279	231,176,245	△ 61,626,966	△ 26.7	0.7
		小 計	370,129,125	424,187,091	△ 54,057,966	△ 12.7	1.5
	資 本 合 計		9,098,414,326	8,910,966,828	187,447,498	2.1	36.6
	負 債 ・ 資 本 合 計		24,889,800,648	24,752,540,544	137,260,104	0.6	100.0

#### ア 資産

資産の年度末現在高 24,889,800,648円は、前年度に比較して137,260,104円(0.6%)の増となっている。

固定資産は 22,918,757,793円で、前年度に比較して 36,452,577円(0.2%)の増であるが、これは主に建設仮勘定が増加したことによるものである。

また、流動資産は 1,971,042,855円で、前年度に比較して100,807,527円(5.4%)の増であるが、これは主に未収金が増加したことによるものである。

#### イ 負債

負債の年度末現在高15,791,386,322円は、前年度に比較して50,187,394円(0.3%)の減となっているが、これは主に固定負債の企業債が減少したことによるものである。

#### ウ 資本

資本の年度末現在高 9,098,414,326円は、前年度に比較して 187,447,498円(2.1%)の増となっている。

資本金は 8,728,285,201円で、前年度に比較して 241,505,464円(2.8%)の増となっているが、これは主に出資金が増加したことによるものである。

また、剰余金は 370,129,125円で、前年度に比較して54,057,966円(12.7%)の減となっているが、これは利益剰余金が減少したことによるものである。

## (2) 主要財務比率 について

各比率は、次のとおりである。

◎表13

単位：%

区 分	算 式	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度 類似事業 全国平均
流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	178.51	160.60	146.10	136.56	328.22
当 座 比 率	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	176.06	159.23	140.51	135.40	320.59
現 金 預 金 比 率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	162.06	139.23	120.81	108.47	277.24
自 己 資 本 構 成 比 率	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	51.93	53.64	55.17	55.59	70.35
固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	95.93	97.01	97.49	97.75	90.06

(注1) 流動比率は、1年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較するものである。流動性を確保するためには、流動資産が流動負債の2倍以上あることが望まれるので、理想比率は200%以上である。

(注2) 当座比率(酸性試験比率)は、流動資産のうち現金預金及び容易に現金化しうる未収金などの当座資産と流動負債とを対比させたもので100%以上が理想比率とされている。

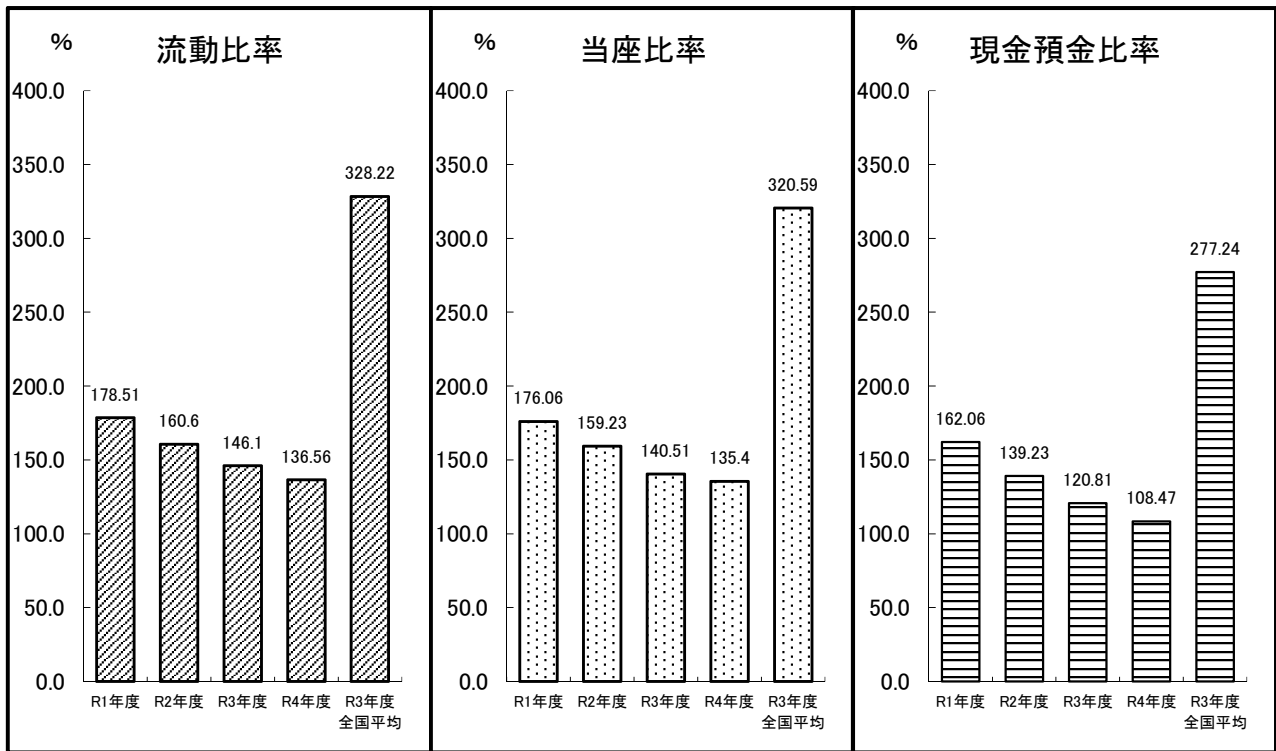
(注3) 現金預金比率は、流動負債に対する現金預金の割合を示す比率で、20%以上が理想値とされている。

(注4) 自己資本構成比率は、総資本(負債・資本合計)に占める自己資本の割合を表すもので、比率が高いほど経営の安全性は大きいものといえる。なお、水道事業は、施設建設のための財源の大部分を借入資本金である企業債によって調達しているため、一般にこの比率が小さい。

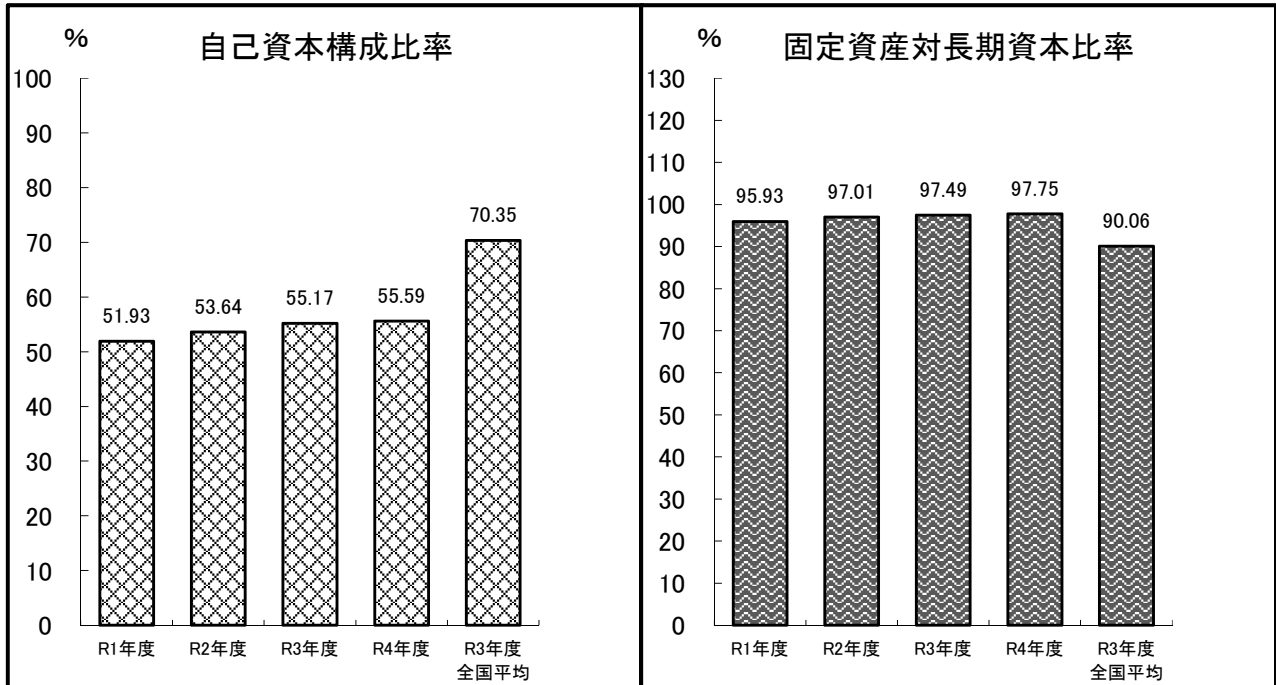
(注5) 固定資産対長期資本比率は、固定資産がどのような財源で構成されているかを判断するために使用される指標であり、数値が小さいほど良好とされている。理想比率は100%以下である。

(注6) 令和3年度類似事業全国平均とは、全国の上水道事業(法適用事業)経営規模別の給水人口5万人以上10万人未満の令和3年度決算に基づく全国平均数値である。

◎図4



◎図5



### (3) 未収金 について

未収金の内訳は次のとおりである。

その他未収金の主な未収額は、国庫補助金 203,897,000円である。

#### < 未収金内訳表 >

◎表14

単位：円、%

区 分		調 定 額			収入額 (D)	不納欠損額 (E)	未収額 (C-D-E)	収入率 (D÷(C-E) ×100)	
		調定額 (A)	調定修正額 (B)	計 (C=A+B)					
営 業 収 益	水道料金	現年度分	1,686,579,783	0	1,686,579,783	1,544,874,731	10,802	141,694,250	91.60
		過年度分	151,898,296	0	151,898,296	144,872,186	301,872	6,724,238	95.56
		計	1,838,478,079	0	1,838,478,079	1,689,746,917	312,674	148,418,488	91.93
	給水工事収益	現年度分	93,500	0	93,500	93,500	0	0	100.00
		過年度分	30,000	0	30,000	30,000	0	0	100.00
		計	123,500	0	123,500	123,500	0	0	100.00
	その他営業収益	現年度分	81,367,549	0	81,367,549	79,526,149	0	1,841,400	97.74
		過年度分	2,529,189	0	2,529,189	2,529,189	0	0	100.00
		計	83,896,738	0	83,896,738	82,055,338	0	1,841,400	97.81
	計	現年度分	1,768,040,832	0	1,768,040,832	1,624,494,380	10,802	143,535,650	91.88
		過年度分	154,457,485	0	154,457,485	147,431,375	301,872	6,724,238	95.64
		計	1,922,498,317	0	1,922,498,317	1,771,925,755	312,674	150,259,888	92.18
	営業外収益	現年度分	68,301,677	0	68,301,677	35,567,709	0	32,733,968	52.07
		過年度分	171,984	0	171,984	171,984	0	0	100.00
		計	68,473,661	0	68,473,661	35,739,693	0	32,733,968	52.19
その他未収金	現年度分	1,053,718,530	0	1,053,718,530	847,554,191	0	206,164,339	80.43	
	過年度分	97,919,000	0	97,919,000	97,919,000	0	0	100.00	
	計	1,151,637,530	0	1,151,637,530	945,473,191	0	206,164,339	82.10	
合 計	現年度分	2,890,061,039	0	2,890,061,039	2,507,616,280	10,802	382,433,957	86.77	
	過年度分	252,548,469	0	252,548,469	245,522,359	301,872	6,724,238	97.33	
	計	3,142,609,508	0	3,142,609,508	2,753,138,639	312,674	389,158,195	87.62	

(注1) 調定額(A)の現年度分は当年度調定額、過年度分は前年度未収繰越額である。

(注2) 調定修正額(B)の過年度分は、過年度調定額の減額によるものである。

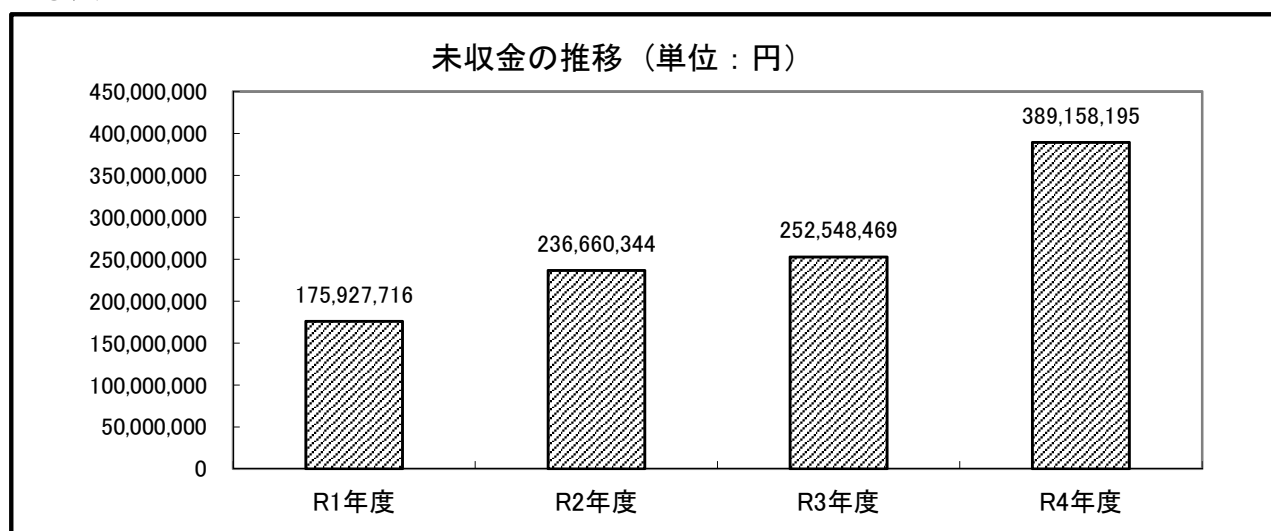
< 未収金の推移 >

◎表15

単位:円、%

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	比較	
					増減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)
未収金	175,927,716	236,660,344	252,548,469	389,158,195	136,609,726	54.1

◎図6



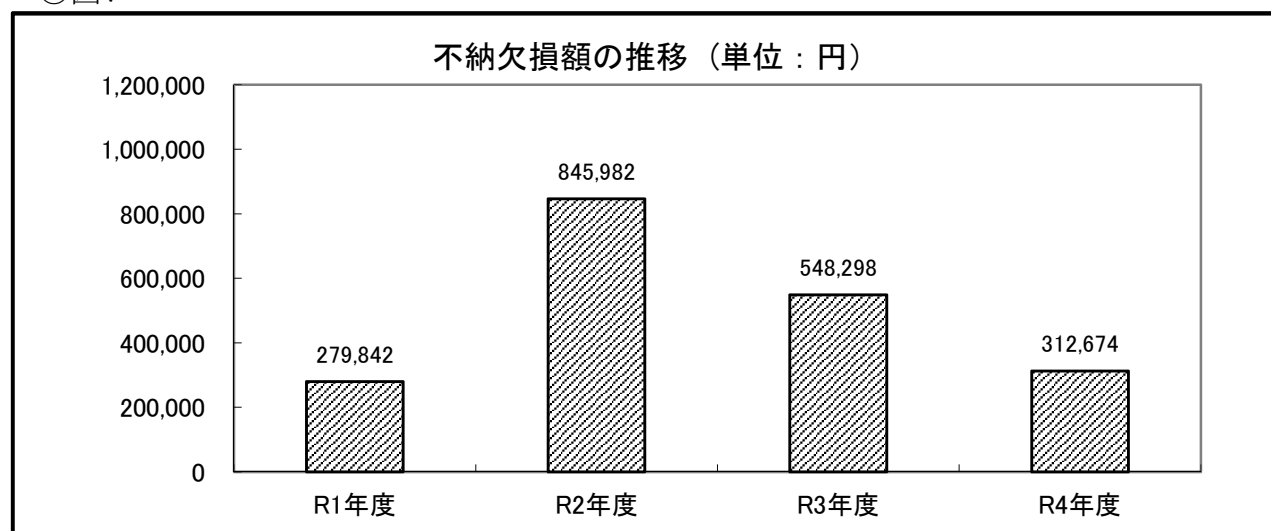
< 水道料金不納欠損額の推移 >

◎表16

単位:円、%

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	比較	
					増減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)
不納欠損額	279,842	845,982	548,298	312,674	△ 235,624	△ 43.0

◎図7



#### (4) 企業債について

企業債年度末残高の状況は次のとおりである。

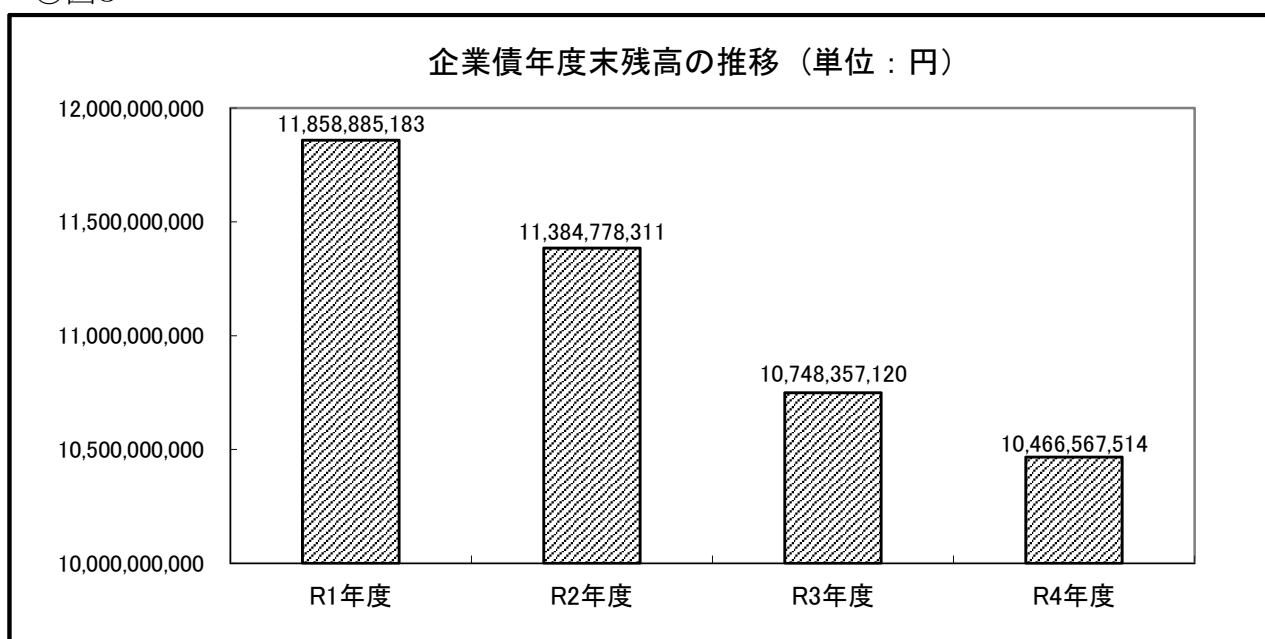
#### < 企業債年度末残高の推移 >

◎表17

単位:円、%

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	比較	
					増減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)
企業債	11,858,885,183	11,384,778,311	10,748,357,120	10,466,567,514	△ 281,789,606	△ 2.6

◎図8



## (5) キャッシュ・フローの状況

本年度のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりである。

◎表18 < 水道事業キャッシュ・フロー計算書 >

単位：円

項目	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較増減 (A-B)
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益(損失)	1,538,498	63,165,464	△ 61,626,966
減価償却費	923,245,528	948,162,407	△ 24,916,879
固定資産除却費	13,024,287	11,793,400	1,230,887
賞与引当金の増減額(△は減少)	620,852	△ 242,097	862,949
法定福利費引当金の増減額(△は減少)	171,595	△ 117,009	288,604
貸倒引当金の増減額(△は減少)	52,239	63,005	△ 10,766
長期前受金戻入額	△ 193,492,708	△ 198,832,930	5,340,222
受取利息及び配当金	△ 176,488	△ 410,781	234,293
支払利息	155,765,078	179,735,752	△ 23,970,674
未収金の増減額(△は増加)	4,214,313	△ 117,311,248	121,525,561
未払金の増減額(△は減少)	16,740,833	10,166,042	6,574,791
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 6,415	△ 604,355	597,940
その他流動負債の増減額(△は減少)	△ 5,314,355	△ 4,629,605	△ 684,750
小計	916,383,257	890,938,045	25,445,212
利息及び配当金の受取額	176,488	410,781	△ 234,293
利息の支払額	△ 155,765,078	△ 179,735,752	23,970,674
未払(未収)消費税等の増減額	△ 74,053,200	24,507,100	△ 98,560,300
計	686,741,467	736,120,174	△ 49,378,707
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 656,301,981	△ 581,482,512	△ 74,819,469
無形固定資産の取得による支出	△ 10,355,446	△ 22,213,250	11,857,804
国庫補助金等による収入	102,433,191	246,452,768	△ 144,019,577
計	△ 564,224,236	△ 357,242,994	△ 206,981,242
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	664,700,000	292,700,000	372,000,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 946,489,606	△ 929,121,191	△ 17,368,415
他会計からの出資による収入	178,340,000	158,820,000	19,520,000
計	△ 103,449,606	△ 477,601,191	374,151,585
4 資金増減額	19,067,625	△ 98,724,011	117,791,636
5 資金期首残高	1,546,435,675	1,645,159,686	△ 98,724,011
6 資金期末残高	1,565,503,300	1,546,435,675	19,067,625

(注) 重要な非資金取引の内容は、受贈による資産の取得 2,060,629円である。

当年度における資金は、業務活動で得た資金 686,741,467円を、投資活動に 564,224,236円、財務活動に 103,449,606円充てた結果、当年度末には 1,565,503,300円となった。



## 4. む す び

### (1) 業務実績

年度末の給水人口は69,536人で、前年度末に比較して1,273人減少し、年度末の給水件数は30,495件で、前年度末に比較して54件減少している。

また、年間配水量9,874,564 $\text{m}^3$ に対し、年間有収水量7,225,202 $\text{m}^3$ で、年間有収率は73.17%となり、前年度に比較して0.93ポイント低下している。

水道施設の利用状況の良否を総合的に表示する施設利用率は、全国平均を上回っているが、前年度63.80%から62.63%に低下している。これは、施設効率を判断する指標である負荷率が前年度と比較して8.20ポイント低下の83.85%になり、最大稼働率が前年度と比較して5.38ポイント上昇の74.70%になったことによるものである。施設利用率、負荷率及び最大稼働率は全国平均を上回っているが、施設の経済性のため、更なる率の上昇が達成されるよう望むものである。

なお、本年度の供給単価は、212.21円、給水原価は、225.93円となり、給水原価が供給単価を上回り、1 $\text{m}^3$ 給水するごとの利益額は前年度より7.63円減少し13.72円の減となっている。料金回収率は、前年度に比較して3.27ポイント低下し93.93%になっている。

### (2) 経営成績

総収益は1,837,649千円(前年度比較57,011千円減)となっており、これは給水収益が減少したことによるものである。

一方、総費用は1,836,110千円(前年度比較4,616千円増)となっており、これは主に原水及び浄水費が増加したことによるものである。

この結果、当年度純利益が1,538千円(前年度比較61,627千円減)となり、黒字決算になっている。

### (3) 財政状態

資産では、24,889,801千円(前年度比較137,260千円増)となっており、これは主に未収金が増加したことによるものである。

一方、負債は、15,791,386千円(前年度比較50,187千円減)となっており、これは主に固定負債の企業債が減少したことによるものである。

また、資本は、9,098,414千円(前年度比較187,447千円増)となっており、これは主に出資金が増加したことによるものである。

主要財務比率については、企業の支払能力を判断するために使用される財務指標である流動比率、当座比率、現金預金比率の3比率が、前年度に比較していずれも低下し、それぞれ136.56%、135.40%、108.47%になっている。

また、水道事業の財務の長期健全性の良否を表示する自己資本構成比率は、前年度に比較して0.42ポイント上昇の55.59%となり、この比率を補完する固定資産対長期資本比率は0.26ポイント上昇の97.75%になっている。

水道料金の未収金の縮減については、引き続き努力され公平性の確保を図られたい。

#### (4) まとめ

令和4年度横手市水道事業会計決算審査の概要は以上のとおりである。

当年度の主な建設事業として、市内各地の安定給水を図るため老朽設備の更新、配水管の新設及び布設替工事を実施した。老朽管更新事業では横手、平鹿、十文字、大雄地域において配水管布設替工事を実施し、水道管路緊急改善事業では横手及び雄物川地域の配水管布設替工事を実施した。また、雄物川地域の桑ノ木地区において配水管の布設工事を実施し、未普及地域の解消が図られている。今後も山内地域の黒沢地区で行われている水道広域化事業等を含め計画的に遂行されたい。

経営状況については、有収水量の減少により給水収益が前年度より大きく減少となり、また一般会計からの補助金が減少したことなどにより、収益全体で前年度より5,701万円の減少となった。一方、費用では支払利息や減価償却費、修繕費などが減少となったものの、燃料費や物価高騰等の影響により動力費、薬品費、委託料などが増加したことにより、費用全体として前年度より462万円増加し、令和4年度は154万円の黒字決算とした。

給水人口の減少等に伴い給水収益の継続的な減少や施設等の老朽化に伴う更新費用の増大が危惧されるため、今後の水道事業計画及び経営戦略において、水道料金改定の時期、改定率、料金体系等について検討されたい。また、有収率が低い地域を重点に調査と漏水対策を講じるとともに、計画的な老朽管更新及び雄物川地域の浄水場の統合事業をはじめ各水道施設の適切な整備と維持管理に取り組まされたい。今後も物価上昇によるコスト増が懸念されるため、より一層の経営の効率化・健全化を図り費用の抑制に努められ、持続可能な事業が展開されることを望むものである。

# 資 料

損益計算書の推移

貸借対照表の推移

(令和元～令和4年度)

損 益 計 算 書 の 推 移

単位:円

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
営業 収益	給 水 収 益	1,587,741,741	1,558,523,157	1,576,866,177	1,533,257,517
	受 託 工 事 収 益	73,000	156,000	59,000	85,000
	そ の 他 営 業 収 益	67,371,102	62,685,414	75,049,963	75,490,732
	計	1,655,185,843	1,621,364,571	1,651,975,140	1,608,833,249
営 業 費 用	原水及び浄水費	287,419,726	263,336,185	259,235,494	291,582,800
	配水及び給水費	243,697,986	189,960,231	197,718,249	220,601,901
	受 託 工 事 費	5,511,232	5,480,857	10,374,717	10,210,310
	総 係 費	225,526,094	222,249,597	222,480,204	218,757,116
	減 価 償 却 費	926,726,807	934,221,346	948,162,407	923,245,528
	資 産 減 耗 費	44,916,477	26,781,871	11,793,400	13,024,287
	そ の 他 営 業 費 用	179,300	99,700	175,100	139,300
	計	1,733,977,622	1,642,129,787	1,649,939,571	1,677,561,242
営 業 損 益		△ 78,791,779	△ 20,765,216	2,035,569	△ 68,727,993
営業 外 収 益	受取利息及び配当金	631,302	519,656	410,781	176,488
	他 会 計 補 助 金	51,999,000	96,241,000	39,209,000	31,040,000
	長 期 前 受 金 戻 入	217,603,688	200,075,987	198,832,930	193,492,708
	雑 収 益	4,331,901	4,093,583	4,231,374	4,106,363
	計	274,565,891	300,930,226	242,684,085	228,815,559
営業 外 費 用	支払利息及び企業債 取 扱 諸 費	227,511,533	203,882,413	179,735,752	155,765,078
	雑 支 出	1,973,358	1,636,009	1,804,300	2,783,990
	計	229,484,891	205,518,422	181,540,052	158,549,068
営 業 外 損 益		45,081,000	95,411,804	61,144,033	70,266,491
経 常 損 益		△ 33,710,779	74,646,588	63,179,602	1,538,498
特 別 利 益		0	1,420	352	0
特 別 損 失		2,973,418	2,236	14,490	0
特 別 損 益		△ 2,973,418	△ 816	△ 14,138	0
当 年 度 純 利 益 (△ 当 年 度 純 損 失)		△ 36,684,197	74,645,772	63,165,464	1,538,498
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金 (△ 前 年 度 繰 越 欠 損 金)		0	0	0	0
そ の 他 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額		0	0	0	0
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金 (△ 当 年 度 未 処 理 欠 損 金)		△ 36,684,197	74,645,772	63,165,464	1,538,498

貸借対照表の推移

単位:円

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
資 産	固定資産	有形固定資産	21,853,747,213	21,958,712,747	21,663,577,508	21,741,688,142	
		無形固定資産	1,292,872,460	1,246,916,559	1,218,727,708	1,177,069,651	
		投 資	0	0	0	0	
		小 計	23,146,619,673	23,205,629,306	22,882,305,216	22,918,757,793	
	流動資産	現金預金	2,029,351,892	1,645,159,686	1,546,435,675	1,565,503,300	
		未 収 金	175,851,441	236,657,990	252,535,124	389,137,480	
		未 収 引 当 金	△ 440,494	△ 346,638	△ 398,652	△ 443,521	
		貯 蔵 品	15,903,301	16,234,826	16,839,181	16,845,596	
		前 払 金	14,780,000	0	54,824,000	0	
		小 計	2,235,446,140	1,897,705,864	1,870,235,328	1,971,042,855	
	資 産 合 計	25,382,065,813	25,103,335,170	24,752,540,544	24,889,800,648		
	負 債	固定負債	企 業 債	10,948,478,311	10,455,657,120	9,816,637,514	9,609,960,235
			小 計	10,948,478,311	10,455,657,120	9,816,637,514	9,609,960,235
流動負債		企 業 債	910,406,872	929,121,191	931,719,606	856,607,279	
		未 払 金	219,876,593	124,936,645	225,780,398	468,649,020	
		引 当 金	14,247,669	13,754,783	13,395,677	14,188,124	
		その他流動負債	107,727,197	113,801,732	109,172,127	103,857,772	
		小 計	1,252,258,331	1,181,614,351	1,280,067,808	1,443,302,195	
繰延収益		長期前受金	8,774,239,452	9,007,031,679	9,159,816,825	9,332,940,028	
		長期前受金 収益化累計額	△ 4,053,944,873	△ 4,229,949,344	△ 4,414,948,431	△ 4,594,816,136	
		小 計	4,720,294,579	4,777,082,335	4,744,868,394	4,738,123,892	
負 債 合 計		16,921,031,221	16,414,353,806	15,841,573,716	15,791,386,322		
資 本		資本金	固有資本金	1,295,519,034	1,295,519,034	1,295,519,034	1,295,519,034
			出 資 金	3,426,711,354	3,580,012,354	3,738,832,354	3,917,172,354
	組入資本金		3,377,782,577	3,377,782,577	3,452,428,349	3,515,593,813	
	小 計		8,100,012,965	8,253,313,965	8,486,779,737	8,728,285,201	
	剰余金	資本剰余金	193,010,846	193,010,846	193,010,846	200,579,846	
		利益剰余金 (△ 欠損金)	168,010,781	242,656,553	231,176,245	169,549,279	
		小 計	361,021,627	435,667,399	424,187,091	370,129,125	
	資 本 合 計	8,461,034,592	8,688,981,364	8,910,966,828	9,098,414,326		
負 債 ・ 資 本 合 計	25,382,065,813	25,103,335,170	24,752,540,544	24,889,800,648			

# 横手市下水道事業会計

## 1. 予算執行状況

### (1) 収支決算額について

収益的収支	収益的収入	2,102,924,405 円
	収益的支出	1,956,674,278 円
	差 引 額	146,250,127 円

収益的収入から収益的支出を差し引いた額は146,250,127円であり、この額から消費税関係分を控除した額105,550,600円が当年度純利益である。

資本的収支	資本的収入	1,373,915,245 円
	資本的支出	2,301,487,439 円
	差 引 額	△ 927,572,194 円

資本的収入が資本的支出に不足する額927,572,194円は、過年度分損益勘定留保資金600,593,799円、繰越工事資金14,420円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額40,557,357円及び減債積立金71,606,618円で補てんされている。また、なお不足する額214,800,000円（未払相当分）は、令和4年度同意企業債の未発行分をもって、翌年度に措置されることになっている。

### (2) 収益的収入及び支出について

#### < 収 入 >

収益的収入は、予算現額2,100,659,000円に対し、決算額は2,102,924,405円で収入率は100.1%となっている。

その内訳は、次のとおりである。

◎表 1

単位：円、%

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増 減 (B-A)	収入率 (B÷A×100)
第1款 下水道事業収益	2,100,659,000	2,102,924,405	2,265,405	100.1
営 業 収 益	790,709,000	793,228,365	2,519,365	100.3
営 業 外 収 益	1,309,948,000	1,309,695,647	△ 252,353	99.9
特 別 利 益	2,000	393	△ 1,607	19.7

事業収益の決算額2,102,924,405円は、予算現額に対し100.1%の収入率となっている。  
決算額の主なものは、営業外収益で1,309,695,647円である。

### < 支 出 >

収益的支出は、予算現額2,022,623,000円に対し、決算額は1,956,674,278円で執行率は96.7%となっている。

その内訳は、次のとおりである。

◎表2

単位：円、%

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	不用額 (A-B)	執行率 (B÷A×100)
第1款 下水道事業費用	2,022,623,000	1,956,674,278	65,948,722	96.7
営業費用	1,827,684,000	1,773,714,374	53,969,626	97.0
営業外費用	184,239,000	182,959,904	1,279,096	99.3
特別損失	700,000	0	700,000	0.0
予備費	10,000,000	0	10,000,000	0.0

#### ア 事業費用

事業費用の決算額1,956,674,278円は、予算現額に対し96.7%の執行率となっている。  
決算額の主なものは、営業費用1,773,714,374円である。

#### イ 予備費

◎表3

単位：円、%

区分	議決予算額	充用額	不用額	充用率
第1款 下水道事業費用	10,000,000	0	10,000,000	0
計	10,000,000	0	10,000,000	0

### (3) 資本的収入及び支出について

#### < 収 入 >

資本的収入は、予算現額2,383,294,400円に対し、決算額は1,373,915,245円で収入率は57.6%となっている。

その内訳は、次のとおりである。

◎表4

単位:円、%

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増 減 (B-A)	収入率 (B÷A×100)
第1款 資本的収入	2,383,294,400	1,373,915,245	△ 1,009,379,155	57.6
企 業 債	1,424,800,000	690,900,000	△ 733,900,000	48.5
出 資 金	384,518,000	384,108,000	△ 410,000	99.9
国庫補助金等	560,619,400	283,428,300	△ 277,191,100	50.6
受益者負担金等	13,357,000	15,478,945	2,121,945	115.9

(注1) 下水道事業の予算現額には、地方公営企業法第26条の規定による前年度からの繰越額が企業債の予算現額に285,100,000円、国庫補助金等の予算現額に157,830,400円含まれている。

## ア 下水道事業

資本的収入の決算額1,373,915,245円は、予算現額に対し57.6%の収入率となっている。内訳は企業債690,900,000円、出資金384,108,000円、国庫補助金等283,428,300円、受益者負担金等15,478,945円である。

## &lt; 支 出 &gt;

資本的支出は、予算現額3,097,047,130円に対し、決算額は2,301,487,439円で執行率は74.3%となっている。

その内訳は、次のとおりである。

◎表5

単位:円、%

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	地方公営企業 法第26条の規 定による翌年 度繰越額(C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B÷A×100)
第1款 資本的支出	3,097,047,130	2,301,487,439	767,608,760	27,950,931	74.3
建設改良費	1,538,335,130	748,466,595	767,608,760	22,259,775	48.7
企業債償還金	1,553,024,000	1,553,020,844	0	3,156	99.9
予 備 費	5,688,000	0	0	5,688,000	0.0

(注1) 下水道事業の建設改良費の予算現額には、地方公営企業法第26条の規定による前年度からの繰越額443,047,130円が含まれている。



資本的支出の決算額2,301,487,439円は、予算現額に対し74.3%の執行率となっている。なお、予備費の当初予算額は10,000,000円で、雄物川地区及び十文字地区マンホールポンプ更新工事のため建設改良費へ、4,312,000円の予備費が充用された。

建設改良費の決算額748,466,595円の主なものは、次のとおりである。

◎ 建設工事

横手相野々処理区接続管路築造工事(第1工区)	54,744,800 円
横手三本柳地区管渠築造工事(第1工区)	39,638,500 円
大森浄化センター建築工事(繰越)	193,804,000 円
大森十日町処理区圧送管新設工事	54,639,200 円

また、企業債償還金の決算額1,553,020,844円は、公共下水道事業で平成4年度以降借入れした企業債の償還金として財政融資資金307,924,842円、簡保資金265,142,123円、地方公共団体金融機構454,488,405円、縁故債268,119,433円及び集落排水事業の企業債償還金で平成4年度以降借入れした企業債の償還金として財政融資資金121,822,169円、地方公共団体金融機構93,975,872円、縁故債41,548,000円である。

(4) 予算に定められた限度額 などについて

当年度予算に定められた限度額などは、いずれも議決された予算に従って適正に執行されている。

その内訳は、次のとおりである。

◎表6

単位:円

区 分		議決予算額	執行額	付 記
第6条	企業債 (借入限度額)	1,139,700,000	598,100,000	
第7条	一時借入金 (借入限度額)	1,000,000,000	0	
第9条	流用禁止経費	125,211,000	121,077,834	職員給与費
第10条	他会計からの補助金 受入額	891,371,000	890,570,000	
第11条	たな卸資産 (購入限度額)	4,628,000	1,563,870	量水器購入費

(注1) 第6条企業債の執行額には、地方公営企業法第26条の規定による前年度からの繰越額に係る財源充当額92,800,000円は含まれていない。

ア 予定支出の各項の経費の金額の流用(第8条関係)

予定支出の各項の経費の金額を流用することのできる経費(営業費用、営業外費用との間)の流用はなかった。

## 2. 経営成績

### (1) 全体

本年度の経営成績は、総収益が2,011,843,234円、総費用が1,906,292,634円で105,550,600円の当年度純利益となっている。

なお、前年度に比較して、総収益は1,358,302円減少、総費用は14,306,034円減少し、当年度純利益は12,947,732円増加している。

◎表7 < 事業損益の前年度比較（全体） > 単位：円、%

区 分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比 較	
				増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)
営業 収益	下水道使用料	710,525,182	728,618,080	△ 18,092,898	△ 2.5
	他会計負担金	11,149,000	12,334,000	△ 1,185,000	△ 9.6
	その他営業収益	563,487	663,318	△ 99,831	△ 15.1
	計	722,237,669	741,615,398	△ 19,377,729	△ 2.6
営業 費用	管 渠 費	78,144,309	70,253,633	7,890,676	11.2
	処 理 場 費	109,836,723	100,765,513	9,071,210	9.0
	流域下水道維持管理費	335,044,565	327,971,590	7,072,975	2.2
	業 務 費	41,686,112	43,109,629	△ 1,423,517	△ 3.3
	総 係 費	113,305,229	115,264,672	△ 1,959,443	△ 1.7
	減 価 償 却 費	1,035,890,187	1,046,408,461	△ 10,518,274	△ 1.0
	資 産 減 耗 費	4,410,294	1,525,019	2,885,275	189.2
	計	1,718,317,419	1,705,298,517	13,018,902	0.8
営 業 損 益		△ 996,079,750	△ 963,683,119	△ 32,396,631	-
営業 外 収益	受取利息及び配当金	210,218	192,686	17,532	9.1
	他会計補助金	890,570,000	864,684,000	25,886,000	3.0
	長期前受金戻入	398,795,574	406,679,140	△ 7,883,566	△ 1.9
	雑 収 益	29,380	30,312	△ 932	△ 3.1
	計	1,289,605,172	1,271,586,138	18,019,034	1.4
営業 外 費用	支払利息及び企業債取扱諸費	181,892,434	210,645,927	△ 28,753,493	△ 13.7
	雑 支 出	6,082,781	4,654,224	1,428,557	30.7
	計	187,975,215	215,300,151	△ 27,324,936	△ 12.7
営 業 外 損 益		1,101,629,957	1,056,285,987	45,343,970	-
経 常 損 益		105,550,207	92,602,868	12,947,339	-
特 別 利 益		393	0	393	皆増
特 別 損 失		0	0	0	-
特 別 損 益		393	0	393	-
当 年 度 純 利 益 (△ 当 年 度 純 損 失)		105,550,600	92,602,868	12,947,732	14.0
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金 (△ 前 年 度 繰 越 欠 損 金)		0	0	0	-
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金 (△ 当 年 度 未 処 理 欠 損 金)		105,550,600	92,602,868	12,947,732	14.0

## (2) 公共下水道事業

本年度の経営成績は、総収益が1,621,413,513円、総費用が1,536,932,899円で、84,480,614円の当年度純利益となっている。

なお、前年度に比較して、総収益は3,983,265円減少、総費用は16,857,261円減少し、当年度純利益は12,873,996円増加している。

◎表8 < 事業損益の前年度比較（公共下水道事業） > 単位:円、%

区 分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比 較	
				増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)
営業 収益	下水道使用料	628,642,938	644,845,287	△ 16,202,349	△ 2.5
	他会計負担金	11,149,000	12,334,000	△ 1,185,000	△ 9.6
	その他営業収益	563,487	653,501	△ 90,014	△ 13.8
	計	640,355,425	657,832,788	△ 17,477,363	△ 2.7
営業 費用	管 渠 費	67,388,322	59,493,941	7,894,381	13.3
	処 理 場 費	14,493,952	12,802,881	1,691,071	13.2
	流域下水道維持管理費	335,044,565	327,971,590	7,072,975	2.2
	業 務 費	36,704,733	37,470,619	△ 765,886	△ 2.0
	総 係 費	88,180,402	90,923,900	△ 2,743,498	△ 3.0
	減 価 償 却 費	836,606,886	845,388,882	△ 8,781,996	△ 1.0
	資 産 減 耗 費	4,410,294	1,525,019	2,885,275	189.2
	計	1,382,829,154	1,375,576,832	7,252,322	0.5
営 業 損 益		△ 742,473,729	△ 717,744,044	△ 24,729,685	-
営業 外 収益	受取利息及び配当金	210,218	192,686	17,532	9.1
	他会計補助金	687,488,000	668,273,000	19,215,000	2.9
	長期前受金戻入	293,338,472	299,072,792	△ 5,734,320	△ 1.9
	雑 収 益	21,005	25,512	△ 4,507	△ 17.7
	計	981,057,695	967,563,990	13,493,705	1.4
営業 外 費用	支払利息及び企業債取扱諸費	153,129,962	177,765,955	△ 24,635,993	△ 13.9
	雑 支 出	973,783	447,373	526,410	117.7
	計	154,103,745	178,213,328	△ 24,109,583	△ 13.5
営 業 外 損 益		826,953,950	789,350,662	37,603,288	-
経 常 損 益		84,480,221	71,606,618	12,873,603	-
特 別 利 益		393	0	393	皆増
特 別 損 失		0	0	0	-
特 別 損 益		393	0	393	-
当 年 度 純 利 益 (△ 当 年 度 純 損 失)		84,480,614	71,606,618	12,873,996	18.0
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金 (△ 前 年 度 繰 越 欠 損 金)		0	0	0	-
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金 (△ 当 年 度 未 処 理 欠 損 金)		84,480,614	71,606,618	12,873,996	18.0

## ア 営業収益について

営業収益の決算額640,355,425円は、前年度に比較して17,477,363円（2.7%）の減となっているが、これは主に下水道使用料の減少によるものである。

項目別に見ると、下水道使用料が16,202,349円（2.5%）、他会計負担金が1,185,000円（9.6%）、その他営業収益が90,014円（13.8%）それぞれ減となっている。

## イ 営業費用について

営業費用の決算額1,382,829,154円は、前年度に比較して7,252,322円（0.5%）の増となっているが、これは主に管渠費の増加によるものである。

項目別に見ると、管渠費が7,894,381円（13.3%）、処理場費が1,691,071円（13.2%）、流域下水道維持管理費が7,072,975円（2.2%）、資産減耗費が2,885,275円（189.2%）それぞれ増となっている。しかし、業務費が765,886円（2.0%）、総係費が2,743,498円（3.0%）、減価償却費が8,781,996円（1.0%）それぞれ減となっている。

この結果、営業損益は742,473,729円の損失となっており、前年度に比較して損失が24,729,685円増加している。

## ウ 営業外収益について

営業外収益の決算額981,057,695円は、前年度に比較して13,493,705円（1.4%）の増となっているが、これは主に他会計補助金の増加によるものである。

項目別に見ると、受取利息及び配当金が17,532円（9.1%）、他会計補助金が19,215,000円（2.9%）それぞれ増となっている。しかし、長期前受金戻入が5,734,320円（1.9%）、雑収益が4,507円（17.7%）それぞれ減となっている。

## エ 営業外費用について

営業外費用の決算額154,103,745円は、前年度に比較して24,109,583円（13.5%）の減となっているが、これは主に支払利息の減少によるものである。

項目別に見ると、支払利息が24,635,993円（13.9%）の減となっているが、雑支出が526,410円（117.7%）の増となっている。

この結果、営業外損益は826,953,950円の利益となっており、前年度に比較して利益が37,603,288円増加している。

また、経常損益では、84,480,221円の利益となっており、前年度に比較して利益が12,873,603円増加している。

### (3) 集落排水事業

本年度の経営成績は、総収益が390,429,721円、総費用が369,359,735円で、21,069,986円の当年度純利益となっている。

なお、前年度に比較して、総収益は2,624,963円増加、総費用は2,551,227円増加し、当年度純利益は73,736円増加している。

◎表9 < 事業損益の前年度比較（集落排水事業） > 単位:円、%

区 分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比 較	
				増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)
営業 収益	集落排水施設使用料	81,882,244	83,772,793	△ 1,890,549	△ 2.3
	他 会 計 負 担 金	0	0	0	-
	そ の 他 営 業 収 益	0	9,817	△ 9,817	皆減
	計	81,882,244	83,782,610	△ 1,900,366	△ 2.3
営業 費 用	管 渠 費	10,755,987	10,759,692	△ 3,705	△ 0.1
	処 理 場 費	95,342,771	87,962,632	7,380,139	8.4
	流域下水道維持管理費	0	0	0	-
	業 務 費	4,981,379	5,639,010	△ 657,631	△ 11.7
	総 係 費	25,124,827	24,340,772	784,055	3.2
	減 価 償 却 費	199,283,301	201,019,579	△ 1,736,278	△ 0.9
	資 産 減 耗 費	0	0	0	-
	計	335,488,265	329,721,685	5,766,580	1.7
営 業 損 益		△ 253,606,021	△ 245,939,075	△ 7,666,946	-
営業 外 収益	受取利息及び配当金	0	0	0	-
	他 会 計 補 助 金	203,082,000	196,411,000	6,671,000	3.4
	長 期 前 受 金 戻 入	105,457,102	107,606,348	△ 2,149,246	△ 2.0
	雑 収 益	8,375	4,800	3,575	74.5
	計	308,547,477	304,022,148	4,525,329	1.5
営業 外 費用	支払利息及び企業債取扱諸費	28,762,472	32,879,972	△ 4,117,500	△ 12.5
	雑 支 出	5,108,998	4,206,851	902,147	21.4
	計	33,871,470	37,086,823	△ 3,215,353	△ 8.7
営 業 外 損 益		274,676,007	266,935,325	7,740,682	-
経 常 損 益		21,069,986	20,996,250	73,736	-
特 別 利 益		0	0	0	-
特 別 損 失		0	0	0	-
特 別 損 益		0	0	0	-
当 年 度 純 利 益 (△ 当 年 度 純 損 失)		21,069,986	20,996,250	73,736	0.4
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金 (△ 前 年 度 繰 越 欠 損 金)		0	0	0	-
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金 (△ 当 年 度 未 処 理 欠 損 金)		21,069,986	20,996,250	73,736	0.4

## ア 営業収益について

営業収益の決算額81,882,244円は、前年度に比較して1,900,366円（2.3%）の減となっているが、これは主に集落排水施設使用料の減少によるものである。

項目別に見ると、集落排水施設使用料が1,890,549円（2.3%）、その他営業収益が9,817円（100%）それぞれ減となっている。

## イ 営業費用について

営業費用の決算額335,488,265円は、前年度に比較して5,766,580円（1.7%）の増となっているが、これは主に処理場費の増加によるものである。

項目別に見ると、処理場費が7,380,139円（8.4%）、総係費が784,055円（3.2%）それぞれ増となっている。しかし、管渠費が3,705円（0.1%）、業務費が657,631円（11.7%）減価償却費が1,736,278円（0.9%）それぞれ減となっている。

この結果、営業損益は253,606,021円の損失となっており、前年度に比較して損失が7,666,946円増加している。

## ウ 営業外収益について

営業外収益の決算額308,547,477円は、前年度に比較して4,525,329円（1.5%）の増となっているが、これは主に他会計補助金の増加によるものである。

項目別に見ると、他会計補助金が6,671,000円（3.4%）、雑収益が3,575円（74.5%）それぞれ増となっており、長期前受金戻入が2,149,246円（2.0%）減となっている。

## エ 営業外費用について

営業外費用の決算額33,871,470円は、前年度に比較して3,215,353円（8.7%）の減となっているが、これは主に支払利息の減少によるものである。

項目別に見ると、雑支出が902,147円（21.4%）の増となっており、支払利息が4,117,500円（12.5%）の減となっている。

この結果、営業外損益は274,676,007円の利益となっており、前年度に比較して利益が7,740,682円増加している。また、経常損益では、21,069,986円の利益となっており、前年度に比較して利益が73,736円増加している。

## <業務量>

年度末水洗化人口などの状況は、次表のとおりである。

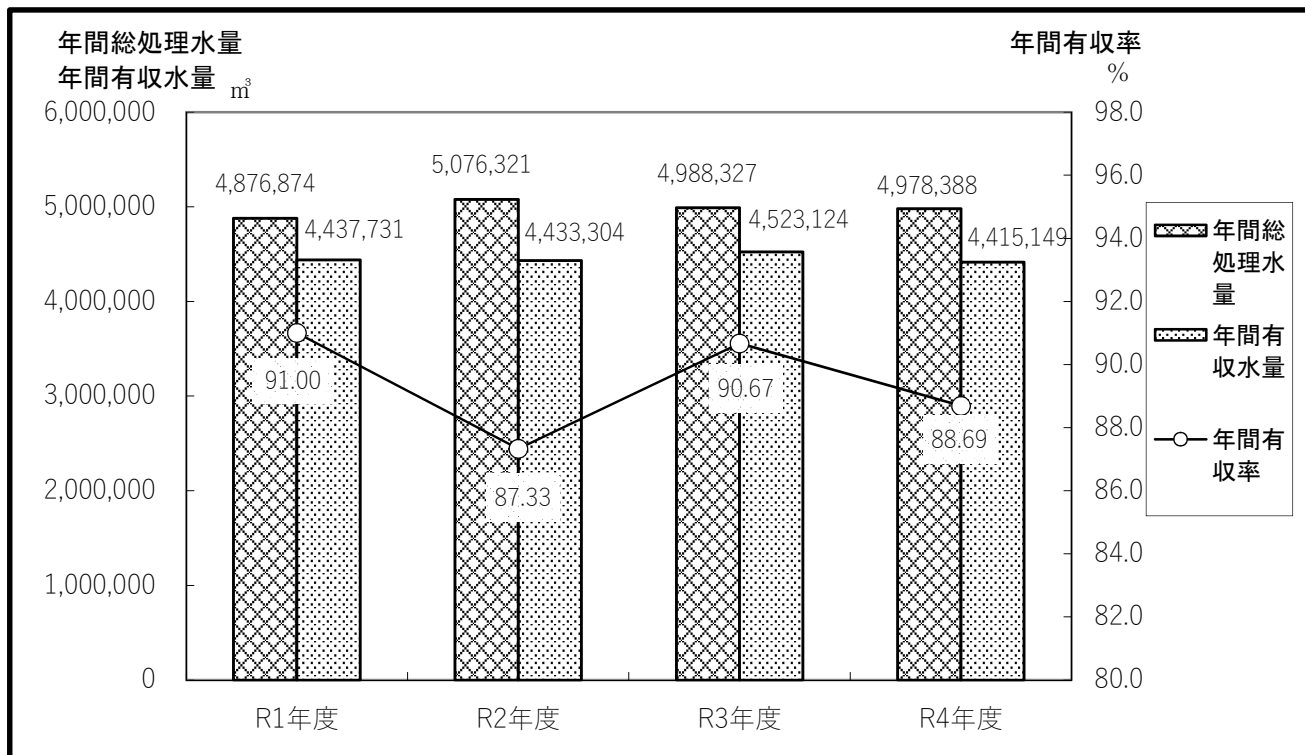
◎表10

単位：人、m<sup>3</sup>、%

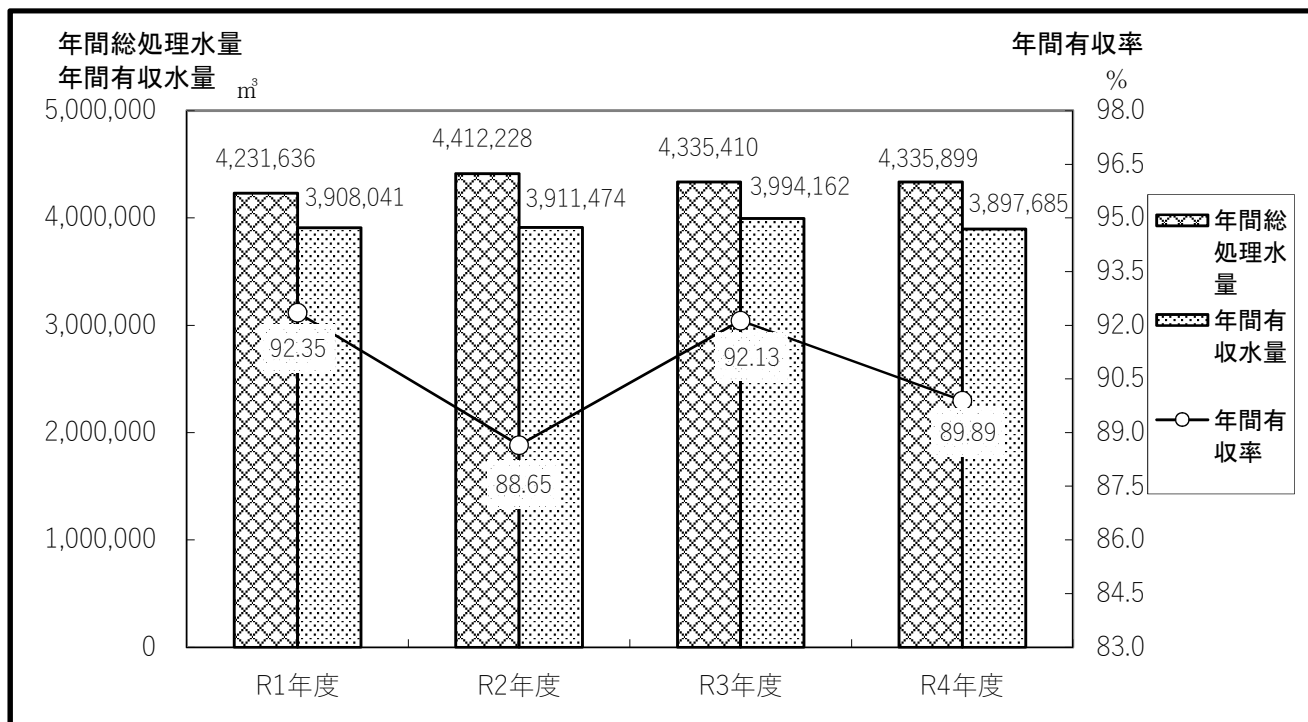
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	比 較	
					増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)
年度末水洗化人口	38,755	38,939	38,896	38,667	△ 229	△ 0.59
公共下水道事業	32,885	33,163	33,264	33,157	△ 107	△ 0.32
集落排水事業	5,870	5,776	5,632	5,510	△ 122	△ 2.17
年間総処理水量	4,876,874	5,076,321	4,988,327	4,978,388	△ 9,939	△ 0.20
公共下水道事業	4,231,636	4,412,228	4,335,410	4,335,899	489	0.01
集落排水事業	645,238	664,093	652,917	642,489	△ 10,428	△ 1.60
一日平均処理水量	13,325	13,908	13,667	13,639	△ 28	△ 0.20
公共下水道事業	11,562	12,088	11,878	11,879	1	0.01
集落排水事業	1,763	1,819	1,788	1,760	△ 28	△ 1.57
年間有収水量	4,437,731	4,433,304	4,523,124	4,415,149	△ 107,975	△ 2.39
公共下水道事業	3,908,041	3,911,474	3,994,162	3,897,685	△ 96,477	△ 2.42
集落排水事業	529,690	521,830	528,962	517,464	△ 11,498	△ 2.17
一日平均有収水量	12,125	12,146	12,392	12,096	△ 296	△ 2.39
公共下水道事業	10,678	10,716	10,943	10,679	△ 264	△ 2.41
集落排水事業	1,447	1,430	1,450	1,417	△ 33	△ 2.28
年間有収率	91.00	87.33	90.67	88.69	△ 1.98	△ 2.18
公共下水道事業	92.35	88.65	92.13	89.89	△ 2.24	△ 2.43
集落排水事業	82.09	78.58	81.02	80.54	△ 0.48	△ 0.59
水洗化率 (水洗化人口/ 処理区域内人口)	75.12	76.14	76.86	77.66	0.80	1.04
公共下水道事業	74.28	75.40	76.21	76.99	0.78	1.02
集落排水事業	80.16	80.69	80.93	81.95	1.02	1.26

- (注1) 令和2年度の一日平均処理水量の下水道事業全体の数値は、内訳の計と合致しない。  
(注2) 令和3年度の一日平均処理水量の下水道事業全体の数値は、内訳の計と合致しない。  
(注3) 令和3年度の一日平均有収水量の下水道事業全体の数値は、内訳の計と合致しない。

◎図1 <年間総処理水量などの推移(全体)>

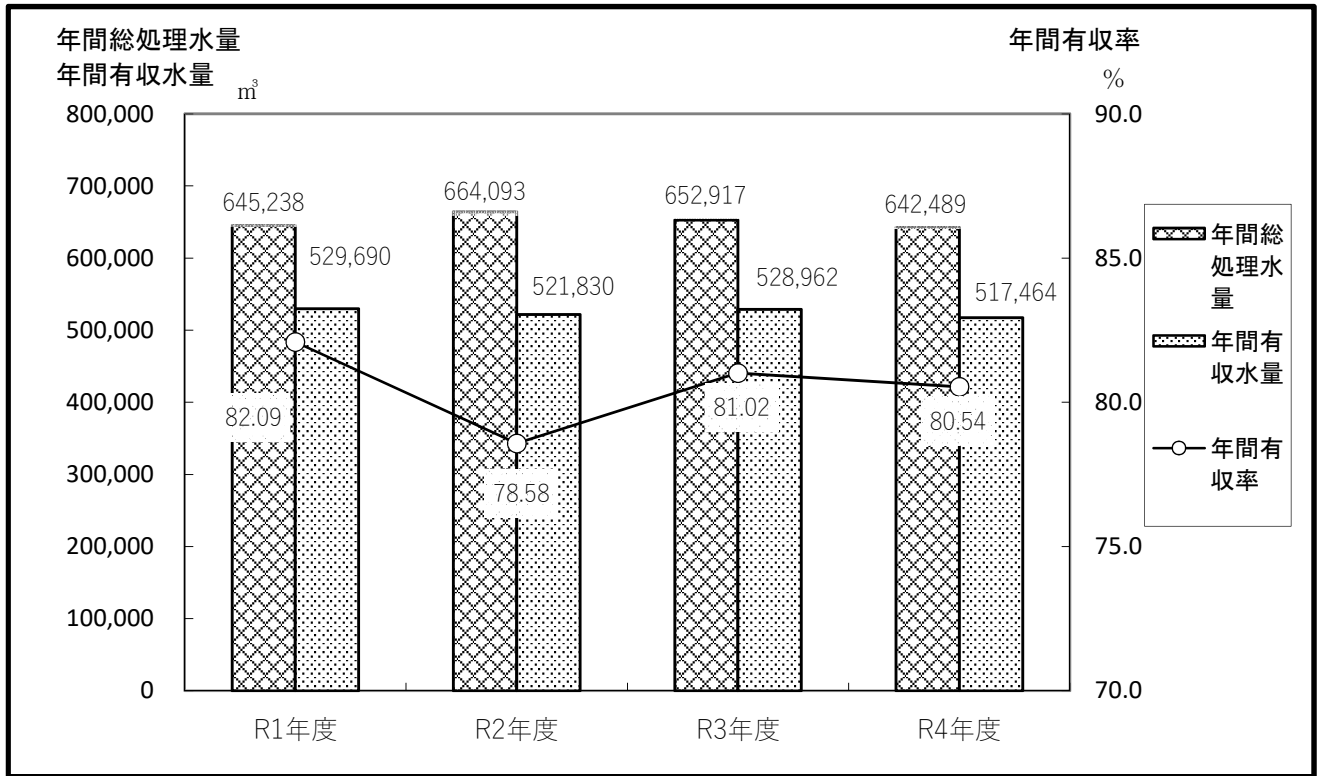


◎図2 <年間総処理水量などの推移(公共下水道事業)>





◎図3 <年間総処理水量などの推移(集落排水事業)>



< 使用料単価と汚水処理原価の比較(有収水量1m<sup>3</sup>当たり)(公共下水道事業) >

使用料単価は161.29円となっており、汚水処理原価は161.29円で、前年度に比較して使用料単価は0.16円減少、汚水処理原価は0.38円減少した。

また、経費回収率は100.0%で、0.1ポイント上昇した。

◎表 1 1

単位:円、%

区 分	算式	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	増 減 (A-B)	令和3年度 類似団体 全国平均
使用料単価 (有収水量1m <sup>3</sup> 当たりの 収入)	使用料収入÷年間有収水量	162.33	161.36	161.45	161.29	△ 0.16	175.25
汚水処理原価 (有収水量1m <sup>3</sup> 当たり汚 水処理に要する費用)	汚水処理費÷年間有収水量	162.51	162.11	161.67	161.29	△ 0.38	189.58
経費回収率	使用料収入÷汚水処理×100	99.9	99.5	99.9	100.0	0.1	92.4

(注1) 有収水量とは、使用料収入の対象となる水量である。

(注2) 汚水処理原価とは、経常費用総額(雨水処理費+汚水処理費)のうち、汚水処理に係る費用のみを年間  
有収水量で除したものである。

< 使用料単価と汚水処理原価の比較(有収水量1m<sup>3</sup>当たり)(農業集落排水事業) >

使用料単価は158.25円となっており、汚水処理原価は268.73円で、前年度に比較して使用料単価は0.12円減少、汚水処理原価は21.58円増加した。

また、経費回収率は58.9%で、5.2ポイント低下した。

◎表 1 2

単位:円、%

区 分	算式	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	増 減 (A-B)	令和3年度 類似団体 全国平均
使用料単価 (有収水量1m <sup>3</sup> 当たりの 収入)	使用料収入÷年間有収水量	158.67	158.32	158.37	158.25	△ 0.12	158.12
汚水処理原価 (有収水量1m <sup>3</sup> 当たり汚 水処理に要する費用)	汚水処理費÷年間有収水量	263.38	261.59	247.15	268.73	21.58	249.26
経費回収率	使用料収入÷汚水処理×100	60.3	60.5	64.1	58.9	△ 5.2	63.40

< 使用料単価と汚水処理原価の比較(有収水量1m<sup>3</sup>当たり)(林業集落排水事業) >

使用料単価は152.59円となっており、汚水処理原価は690.36円で、前年度に比較して使用料単価は0.07円増加、汚水処理原価は0.14円増加した。

また、経費回収率は22.1%で、前年度と同様となった。

◎表 1 3

単位:円、%

区 分	算式	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	増 減 (A-B)	令和3年度 類似団体 全国平均
使用料単価 (有収水量1m <sup>3</sup> 当たりの 収入)	使用料収入÷年間有収水量 収入)	152.69	153.55	152.52	152.59	0.07	190.77
汚水処理原価 (有収水量1m <sup>3</sup> 当たり汚 水処理に要する費用)	汚水処理費÷年間有収水量	653.05	656.92	690.22	690.36	0.14	632.01
経費回収率	使用料収入÷汚水処理×100	23.4	23.4	22.1	22.1	0.0	30.2

< 使用料単価と汚水処理原価の比較(有収水量1m<sup>3</sup>当たり)(小規模集合排水処理事業) >

使用料単価は169.32円となっており、汚水処理原価は1,250.87円で、前年度に比較して使用料単価は5.23円減少、汚水処理原価は139.87円増加した。

また、経費回収率は13.5%で、2.2ポイント低下した。

◎表 1 4

単位:円、%

区 分	算式	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	増 減 (A-B)	令和3年度 類似団体 全国平均
使用料単価 (有収水量1m <sup>3</sup> 当たりの 収入)	使用料収入÷年間有収水量 収入)	170.82	176.89	174.55	169.32	△ 5.23	181.56
汚水処理原価 (有収水量1m <sup>3</sup> 当たり汚 水処理に要する費用)	汚水処理費÷年間有収水量	928.63	1,099.79	1,111.00	1,250.87	139.87	436.28
経費回収率	使用料収入÷汚水処理×100	18.4	16.1	15.7	13.5	△ 2.2	41.6

### 3. 財政状態

#### (1) 資産及び負債・資本について

下水道事業全体の資産及び負債・資本の状況は次のとおりである。

#### < 全 体 >

◎表15

単位:円、%

区 分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比 較		構成比率 (令和4年度)	
				増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)		
資 産	固定資産	有形固定資産	30,025,598,101	30,294,739,425	△ 269,141,324	△ 0.9	87.0
		無形固定資産	2,963,768,836	3,022,983,209	△ 59,214,373	△ 2.0	8.6
		投 資	3,000,000	3,000,000	0	0.0	0.1
		小 計	32,992,366,937	33,320,722,634	△ 328,355,697	△ 1.0	95.7
	流動資産	現 金 預 金	914,797,566	1,206,748,324	△ 291,950,758	△ 24.2	2.6
		未 収 金	375,315,119	371,119,418	4,195,701	1.1	1.1
		未貸倒引当金	△ 549,332	△ 615,459	66,127	△ 10.7	
		貯 蔵 品	192,410	290,305	△ 97,895	△ 33.7	0.1
		前 払 金	199,628,000	4,600,000	195,028,000	4,239.7	0.5
		小 計	1,489,383,763	1,582,142,588	△ 92,758,825	△ 5.9	4.3
	資 産 合 計		34,481,750,700	34,902,865,222	△ 421,114,522	△ 1.2	100.0
負 債	固定負債	企 業 債	12,657,482,182	13,480,321,515	△ 822,839,333	△ 6.1	36.7
		小 計	12,657,482,182	13,480,321,515	△ 822,839,333	△ 6.1	36.7
	流動負債	未 払 金	335,344,817	288,975,820	46,368,997	16.0	0.9
		企 業 債	1,513,739,333	1,553,020,844	△ 39,281,511	△ 2.5	4.3
		引 当 金	10,487,748	9,693,562	794,186	8.2	0.1
		その他流動負債	423,858	429,341	△ 5,483	△ 1.3	0.1
		小 計	1,859,995,756	1,852,119,567	7,876,189	0.4	5.4
	繰延収益	長期前受金	18,461,812,183	18,176,638,363	285,173,820	1.6	
		長期前受金額 収益化累計	△ 6,431,327,819	△ 6,050,344,021	△ 380,983,798	6.3	
		小 計	12,030,484,364	12,126,294,342	△ 95,809,978	△ 0.8	34.9
負 債 合 計		26,547,962,302	27,458,735,424	△ 910,773,122	△ 3.3	77.0	

区 分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比 較		構成比率 (令和4年度)	
				増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)		
資 本	資 本 金	固 有 資 本 金	2,441,693,188	2,441,693,188	0	0.0	7.0
		出 資 金	4,757,185,000	4,373,077,000	384,108,000	8.8	13.8
		組 入 資 本 金	431,762,815	360,156,197	71,606,618	19.9	1.3
		小 計	7,630,641,003	7,174,926,385	455,714,618	6.4	22.1
	剰 余 金	資 本 剰 余 金	54,225,361	54,225,361	0	0.0	0.2
		利 益 剰 余 金 (△ 欠 損 金)	248,922,034	214,978,052	33,943,982	15.8	0.7
		小 計	303,147,395	269,203,413	33,943,982	12.6	0.9
	資 本 合 計		7,933,788,398	7,444,129,798	489,658,600	6.6	23.0
	負 債 ・ 資 本 合 計		34,481,750,700	34,902,865,222	△ 421,114,522	△ 1.2	100.0

公共下水道事業単独の資産及び負債・資本の状況は次のとおりである。

< 公共下水道事業 >

◎表16

単位:円、%

区 分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比 較		構成比率 (令和4年度)		
				増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)			
資 産	固定資産	有形固定資産	23,977,162,889	24,393,323,947	△ 416,161,058	△ 1.7	85.0	
		無形固定資産	2,962,004,836	3,021,219,209	△ 59,214,373	△ 2.0	10.5	
		投 資	3,000,000	3,000,000	0	0.0	0.1	
		小 計	26,942,167,725	27,417,543,156	△ 475,375,431	△ 1.7	95.6	
	流動資産	現 金 預 金	1,087,098,778	1,010,542,173	76,556,605	7.6	3.8	
		未 収 金	156,532,722	157,628,034	△ 1,095,312	△ 0.7	0.5	
		未 収 金 貸 倒 引 当 金	△ 543,537	△ 610,056	66,519	△ 10.9		
		貯 蔵 品	142,520	223,385	△ 80,865	△ 36.2	0.1	
		前 払 金	0	0	0	0.0	0.0	
		小 計	1,243,230,483	1,167,783,536	75,446,947	6.5	4.4	
	資 産 合 計		28,185,398,208	28,585,326,692	△ 399,928,484	△ 1.4	100.0	
	負 債	固定負債	企 業 債	10,584,803,285	11,277,399,798	△ 692,596,513	△ 6.1	37.5
			小 計	10,584,803,285	11,277,399,798	△ 692,596,513	△ 6.1	37.5
流動負債		未 払 金	110,135,567	32,321,493	77,814,074	240.8	0.4	
		企 業 債	1,258,596,513	1,295,674,803	△ 37,078,290	△ 2.9	4.4	
		引 当 金	8,380,204	7,672,025	708,179	9.2	0.1	
		その他流動負債	362,498	345,321	17,177	5.0	0.1	
		小 計	1,377,474,782	1,336,013,642	41,461,140	3.1	5.0	
繰延収益		長 期 前 受 金	14,831,484,660	14,719,251,689	112,232,971	0.8		
		長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△ 5,869,001,371	△ 5,593,474,675	△ 275,526,696	4.9		
		小 計	8,962,483,289	9,125,777,014	△ 163,293,725	△ 1.8	31.8	
負 債 合 計		20,924,761,356	21,739,190,454	△ 814,429,098	△ 3.7	74.3		

区 分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比 較		構成比率 (令和4年度)	
				増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)		
資 本	資 本 金	固 有 資 本 金	2,123,494,782	2,123,494,782	0	0.0	7.5
		出 資 金	4,489,654,000	4,159,634,000	330,020,000	7.9	15.9
		組 入 資 本 金	405,601,378	333,994,760	71,606,618	21.4	1.4
		小 計	7,018,750,160	6,617,123,542	401,626,618	6.1	24.8
	剰 余 金	資 本 剰 余 金	50,950,109	50,950,109	0	0.0	0.2
		利 益 剰 余 金 (△ 欠 損 金)	190,936,583	178,062,587	12,873,996	7.2	0.7
		小 計	241,886,692	229,012,696	12,873,996	5.6	0.9
	資 本 合 計		7,260,636,852	6,846,136,238	414,500,614	6.1	25.7
	負 債 ・ 資 本 合 計		28,185,398,208	28,585,326,692	△ 399,928,484	△ 1.4	100.0

#### ア 資産

資産の年度末現在高28,185,398,208円は、前年度に比較して399,928,484円(1.4%)の減となっているが、これは主に有形固定資産が減少したことによるものである。

#### イ 負債

負債の年度末現在高20,924,761,356円は、前年度に比較して814,429,098円(3.7%)の減となっているが、これは主に固定負債の企業債及び流動負債の企業債の減少によるものである。

#### ウ 資本

資本の年度末現在高7,260,636,852円は、前年度に比較して414,500,614円(6.1%)の増となっている。

資本金は7,018,750,160円で、前年度に比較して401,626,618円(6.1%)の増となっているが、これは出資金及び組入資本金の増加によるものである。

また、剰余金は241,886,692円で、前年度に比較して12,873,996円(5.6%)の増となっているが、これは利益剰余金の増加によるものである。

集落排水事業単独の資産及び負債・資本の状況は次のとおりである。

＜集落排水事業＞

◎表17

単位:円、%

区 分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比 較		構成比率 (令和4年度)		
				増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)			
資 産	固定資産	有形固定資産	6,048,435,212	5,901,415,478	147,019,734	2.5	96.0	
		無形固定資産	1,764,000	1,764,000	0	0.0	0.1	
		投 資	0	0	0	0.0	0.0	
		小 計	6,050,199,212	5,903,179,478	147,019,734	2.5	96.1	
	流動資産	現 金 預 金	△ 172,301,212	196,206,151	△ 368,507,363	△ 187.8	△ 2.7	
		未 収 金	218,782,397	213,491,384	5,291,013	2.5	3.4	
		未 収 金 貸 倒 引 当 金	△ 5,795	△ 5,403	△ 392	7.3		
		貯 蔵 品	49,890	66,920	△ 17,030	△ 25.4	0.1	
		前 払 金	199,628,000	4,600,000	195,028,000	4,239.7	3.1	
		小 計	246,153,280	414,359,052	△ 168,205,772	△ 40.6	3.9	
	資 産 合 計		6,296,352,492	6,317,538,530	△ 21,186,038	△ 0.3	100.0	
	負 債	固定負債	企 業 債	2,072,678,897	2,202,921,717	△ 130,242,820	△ 5.9	32.9
			小 計	2,072,678,897	2,202,921,717	△ 130,242,820	△ 5.9	32.9
流動負債		未 払 金	225,209,250	256,654,327	△ 31,445,077	△ 12.3	3.5	
		企 業 債	255,142,820	257,346,041	△ 2,203,221	△ 0.9	4.0	
		引 当 金	2,107,544	2,021,537	86,007	4.3	0.1	
		その他流動負債	61,360	84,020	△ 22,660	△ 27.0	0.1	
		小 計	482,520,974	516,105,925	△ 33,584,951	△ 6.5	7.7	
繰延収益		長 期 前 受 金	3,630,327,523	3,457,386,674	172,940,849	5.0		
		長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△ 562,326,448	△ 456,869,346	△ 105,457,102	23.1		
		小 計	3,068,001,075	3,000,517,328	67,483,747	2.2	48.7	
負 債 合 計		5,623,200,946	5,719,544,970	△ 96,344,024	△ 1.7	89.3		



区 分		令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比 較		構成比率 (令和4年度)	
				増 減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)		
資 本	資 本 金	固 有 資 本 金	318,198,406	318,198,406	0	0.0	5.1
		出 資 金	267,531,000	213,443,000	54,088,000	25.3	4.2
		組 入 資 本 金	26,161,437	26,161,437	0	0.0	0.4
		小 計	611,890,843	557,802,843	54,088,000	9.7	9.7
	剰 余 金	資 本 剰 余 金	3,275,252	3,275,252	0	0.0	0.1
		利 益 剰 余 金 (△ 欠 損 金)	57,985,451	36,915,465	21,069,986	57.1	0.9
		小 計	61,260,703	40,190,717	21,069,986	52.4	1.0
	資 本 合 計		673,151,546	597,993,560	75,157,986	12.6	10.7
	負 債 ・ 資 本 合 計		6,296,352,492	6,317,538,530	△ 21,186,038	△ 0.3	100.0

#### ア 資産

資産の年度末現在高6,296,352,492円は、前年度に比較して21,186,038円（0.3%）の減となっているが、これは主に現金預金の減少によるものである。

#### イ 負債

負債の年度末現在高5,623,200,946円は、前年度に比較して96,344,024円（1.7%）の減となっているが、これは主に固定負債の企業債及び流動負債の未払金の減少によるものである。

#### ウ 資本

資本の年度末現在高673,151,546円は、前年度に比較して75,157,986円（12.6%）の増となっている。

資本金は611,890,843円で、前年度に比較して54,088,000円（9.7%）の増となっているが、これは出資金の増加によるものである。

また、剰余金は61,260,703円で、前年度に比較して21,069,986円（52.4%）の増となっているが、これは利益剰余金の増加によるものである。

## (2) 主要財務比率 について

各比率は、次のとおりである。

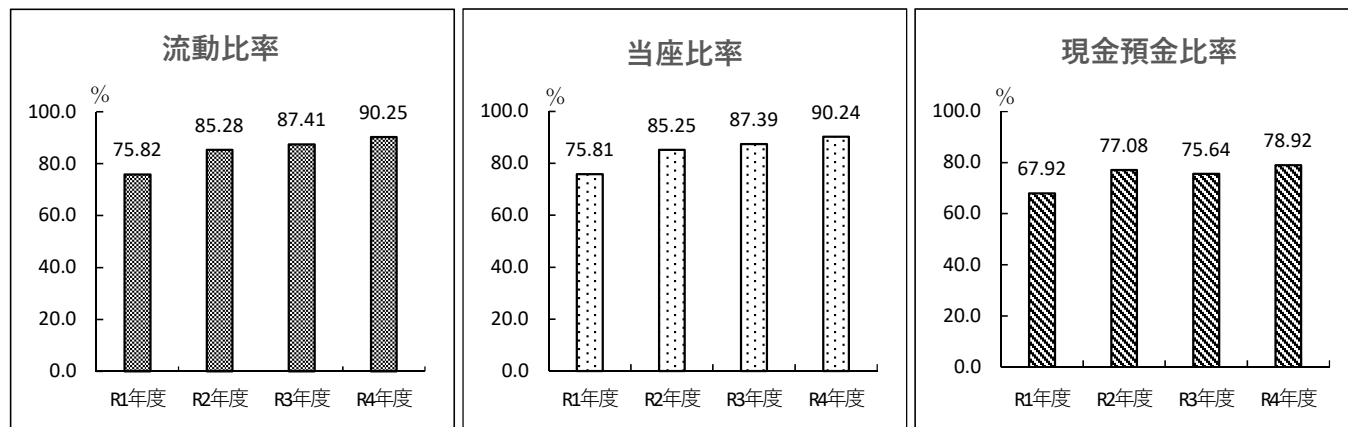
### <公共下水道事業>

◎表18

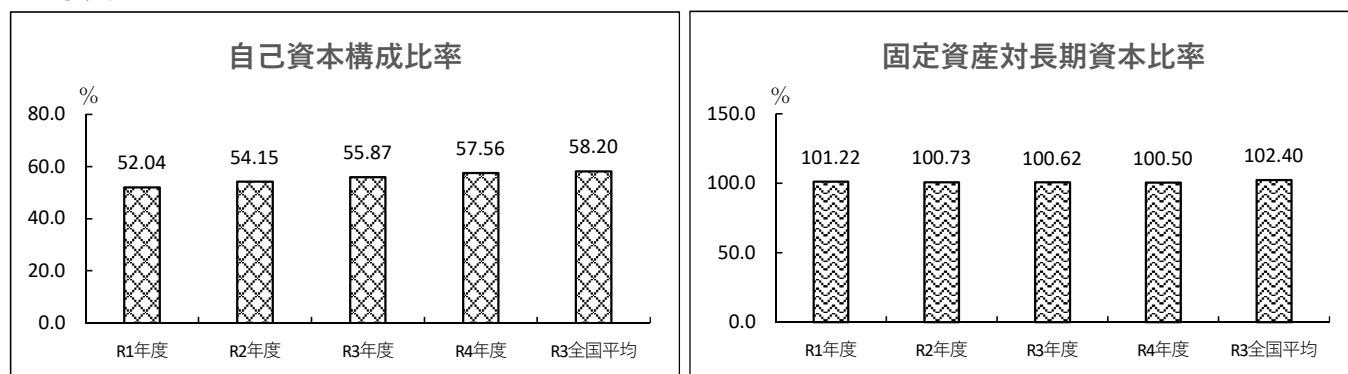
単位：%

区 分	算 式	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度 類似団 体全 国平 均
流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	75.82	85.28	87.41	90.25	-
当 座 比 率	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	75.81	85.25	87.39	90.24	-
現 金 預 金 比 率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	67.92	77.08	75.64	78.92	-
自 己 資 本 構 成 比 率	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$	52.04	54.15	55.87	57.56	58.20
固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	101.22	100.73	100.62	100.50	102.40

◎図4



◎図5



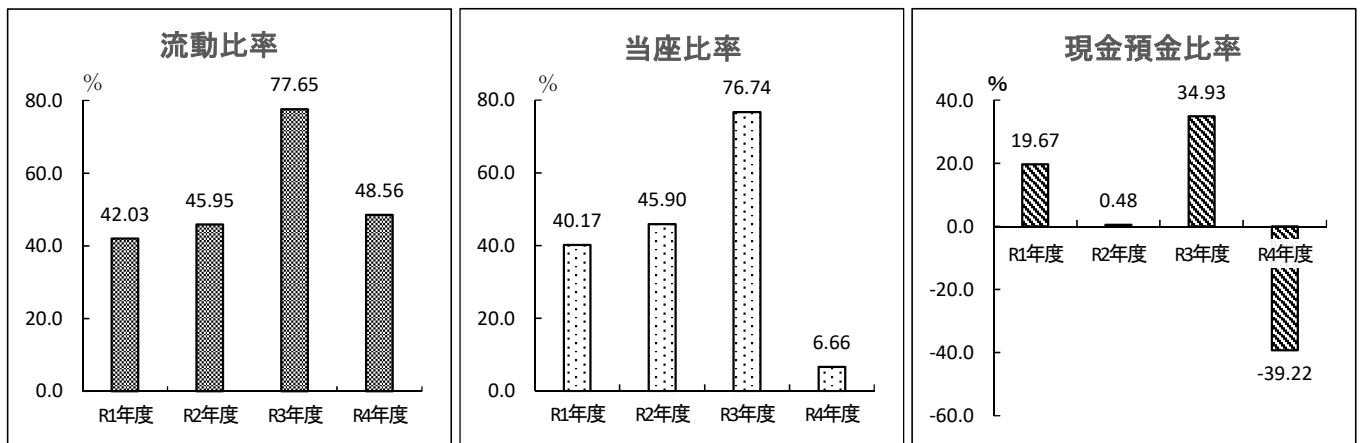
<農業集落排水事業>

◎表19

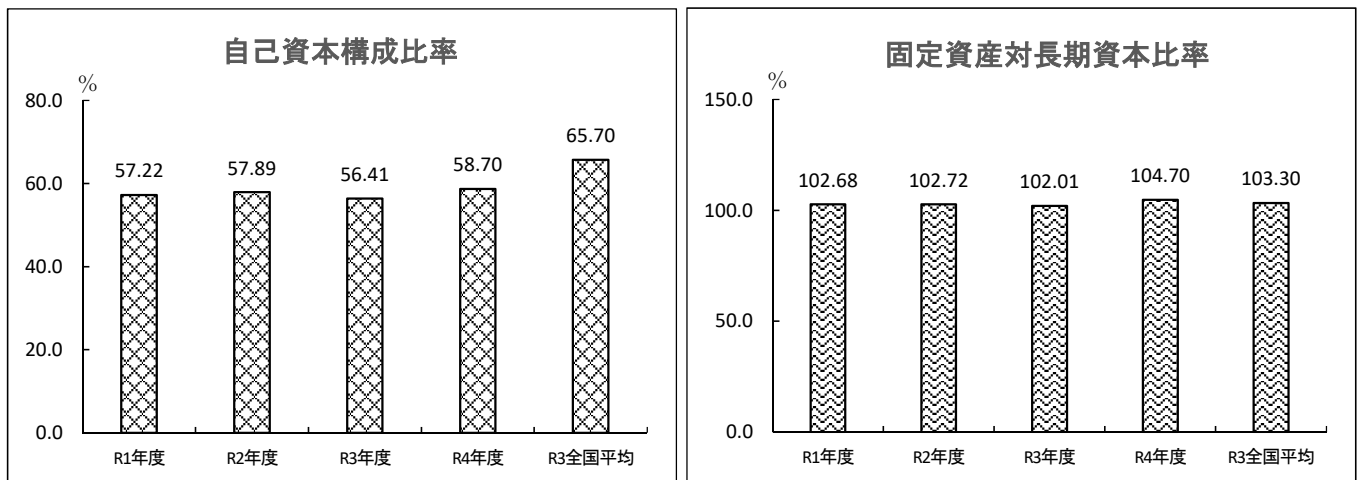
単位:%

区分	算式	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度 類似団体 全国平均
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	42.03	45.95	77.65	48.56	-
当座比率	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	40.17	45.90	76.74	6.66	-
現金預金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	19.67	0.48	34.93	△ 39.22	-
自己資本比率	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$	57.22	57.89	56.41	58.70	65.70
固定資産対長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	102.68	102.72	102.01	104.70	103.30

◎図6



◎図7



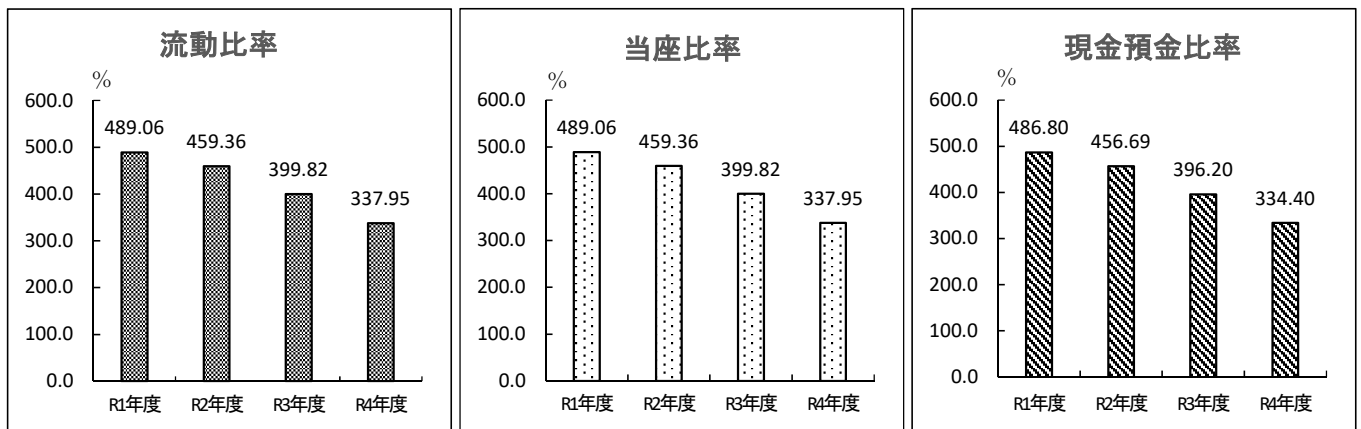
<林業集落排水事業>

◎表20

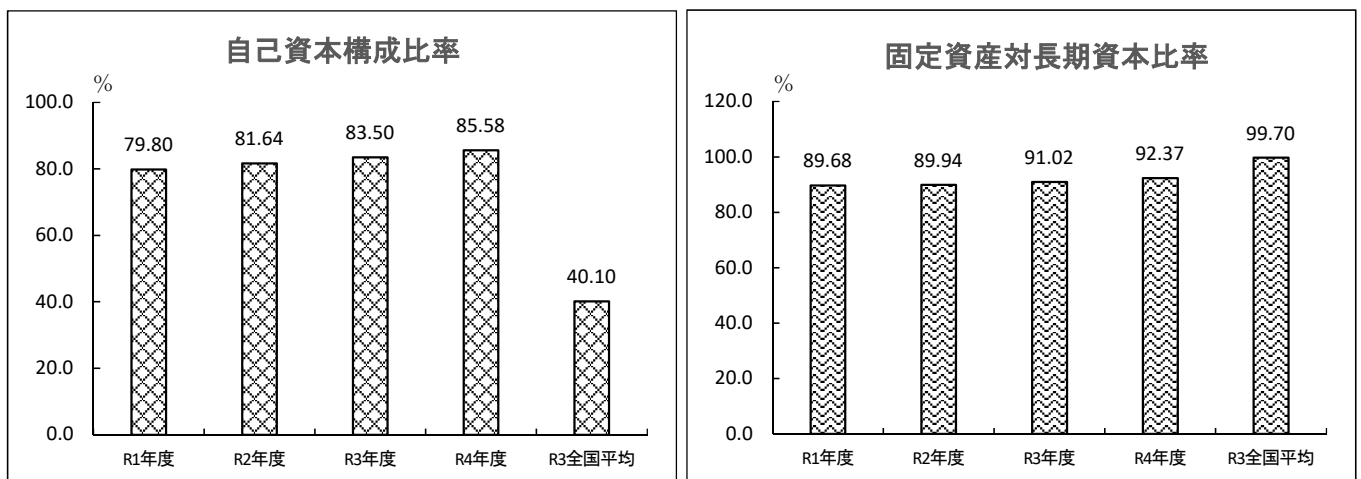
単位:%

区分	算式	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度 類似団体 全国平均
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	489.06	459.36	399.82	337.95	-
当座比率	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	489.06	459.36	399.82	337.95	-
現金預金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	486.80	456.69	396.20	334.40	-
自己資本比率	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$	79.80	81.64	83.50	85.58	40.10
固定資産対長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	89.68	89.94	91.02	92.37	99.70

◎図8



◎図9



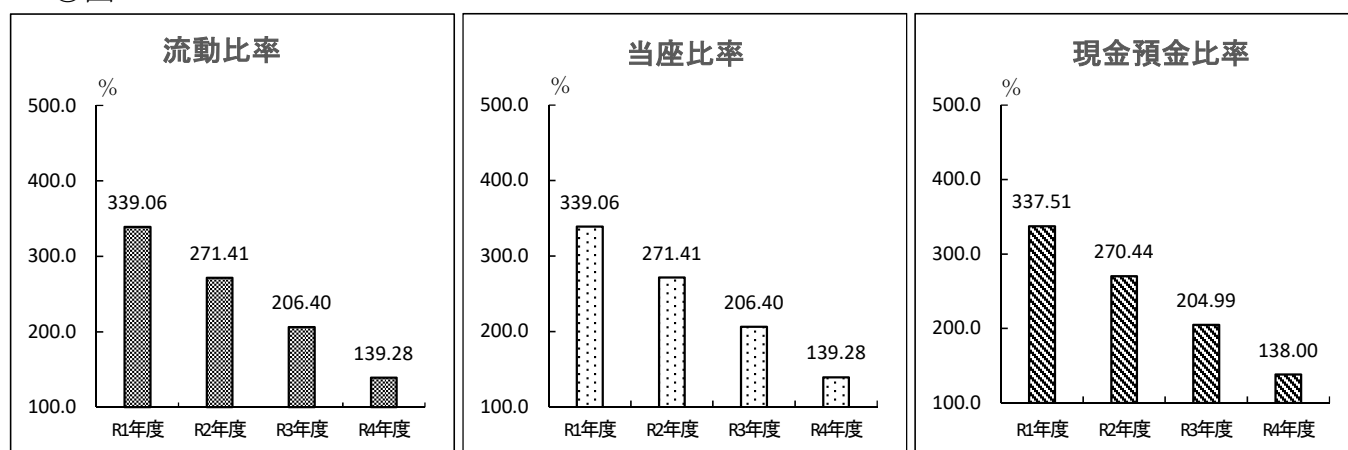
<小規模集合排水処理事業>

◎表21

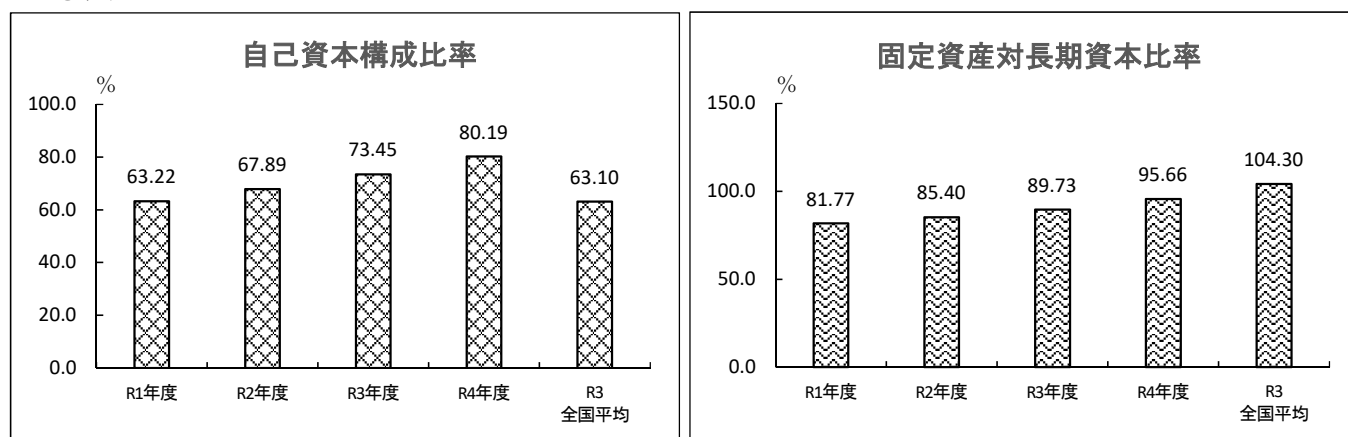
単位: %

区分	算式	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度 類似団体 全国平均
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	339.06	271.41	206.40	139.28	-
当座比率	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	339.06	271.41	206.40	139.28	-
現金預金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	337.51	270.44	204.99	138.00	-
自己資本比率	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$	63.22	67.89	73.45	80.19	63.10
固定資産対長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	81.77	85.40	89.73	95.66	104.30

◎図10



◎図11



- (注1) 流動比率は、1年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較するものである。流動性を確保するためには、流動資産が流動負債の2倍以上あることが望まれるので、理想比率は200%以上である。
- (注2) 当座比率（酸性試験比率）は、流動資産のうち現金預金及び容易に現金化しうる未収金などの当座資産と流動負債とを対比させたもので100%以上が理想比率とされている。
- (注3) 現金預金比率は、流動負債に対する現金預金の割合を示す比率で、20%以上が理想値とされている。
- (注4) 自己資本構成比率は、総資本（負債・資本合計）に占める自己資本の割合を表すもので、比率が高いほど経営の安全性は大きいものといえる。
- (注5) 固定資産対長期資本比率は、固定資産がどのような財源で構成されているかを判断するために使用される指標であり、数値が小さいほど良好とされている。理想比率は100%以下である。

### (3) 未収金 について

未収金の内訳は次のとおりである。

#### < 公共下水道事業 >

その他未収金の未収額は、受益者負担金、分担金及び通信運搬費返還金2,706,750円である。

◎表22

< 未収金内訳表 >

単位:円、%

区 分		調 定 額			収入額 (D)	不納欠損額 (E)	未収額 (C-D-E)	収入率 (D÷(C-E) ×100)	
		調定額 (A)	調定修正額 (B)	計 (C=A+B)					
営 業 収 益	下水道使用料	現年度分	691,453,213	0	691,453,213	548,125,719	6,486	143,321,008	79.3
		過年度分	151,194,923	0	151,194,923	145,447,530	98,333	5,649,060	96.3
		計	842,648,136	0	842,648,136	693,573,249	104,819	148,970,068	82.3
	他会計負担金	現年度分	11,149,000	0	11,149,000	11,149,000	0	0	100.0
		過年度分	0	0	0	0	0	0	-
		計	11,149,000	0	11,149,000	11,149,000	0	0	100.0
	その他営業収益	現年度分	563,487	0	563,487	563,487	0	0	100.0
		過年度分	0	0	0	0	0	0	-
		計	563,487	0	563,487	563,487	0	0	100.0
	計	現年度分	703,165,700	0	703,165,700	559,838,206	6,486	143,321,008	79.6
		過年度分	151,194,923	0	151,194,923	145,447,530	98,333	5,649,060	96.3
		計	854,360,623	0	854,360,623	705,285,736	104,819	148,970,068	82.6
営業外収益	現年度分	692,575,127	0	692,575,127	687,719,223	0	4,855,904	99.3	
	過年度分	4,506,662	0	4,506,662	4,506,662	0	0	100.0	
	計	697,081,789	0	697,081,789	692,225,885	0	4,855,904	99.3	
その他未収金	現年度分	1,012,404,177	0	1,012,404,177	1,010,964,675	0	1,439,502	99.9	
	過年度分	1,926,449	0	1,926,449	537,200	122,001	1,267,248	29.8	
	計	1,014,330,626	0	1,014,330,626	1,011,501,875	122,001	2,706,750	99.7	
合 計	現年度分	2,408,145,004	0	2,408,145,004	2,258,522,104	6,486	149,616,414	93.8	
	過年度分	157,628,034	0	157,628,034	150,491,392	220,334	6,916,308	95.6	
	計	2,565,773,038	0	2,565,773,038	2,409,013,496	226,820	156,532,722	93.9	

(注1) 調定額(A)の現年度分は当年度調定額、過年度分は前年度未収繰越額である。

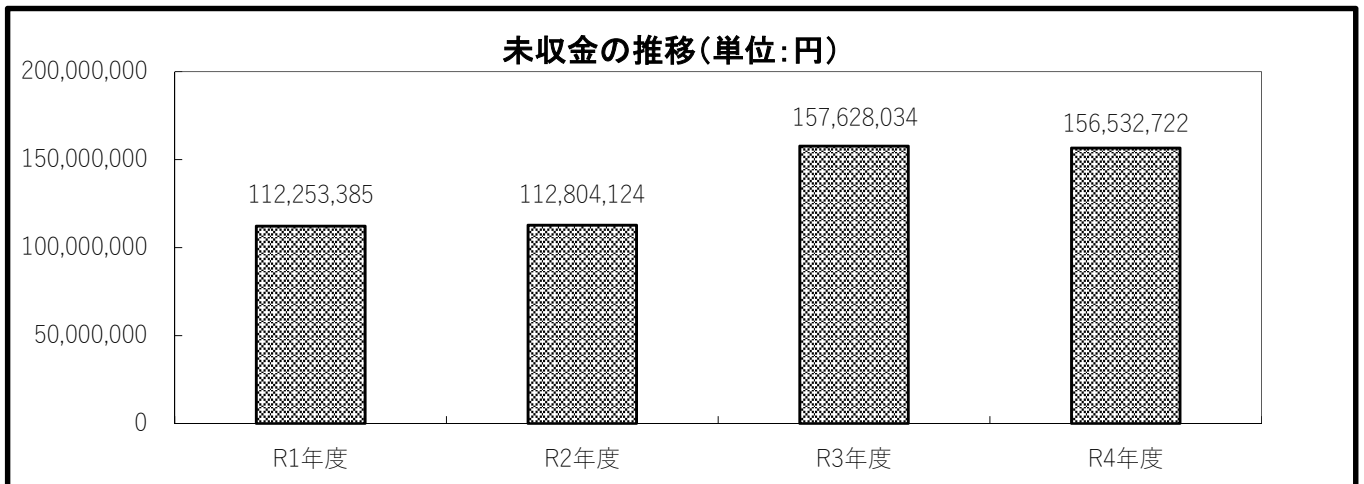
< 未収金の推移 >

◎表23

単位:円、%

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	比較	
					増減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)
未収金	112,253,385	112,804,124	157,628,034	156,532,722	△ 1,095,312	△ 0.7

◎図12



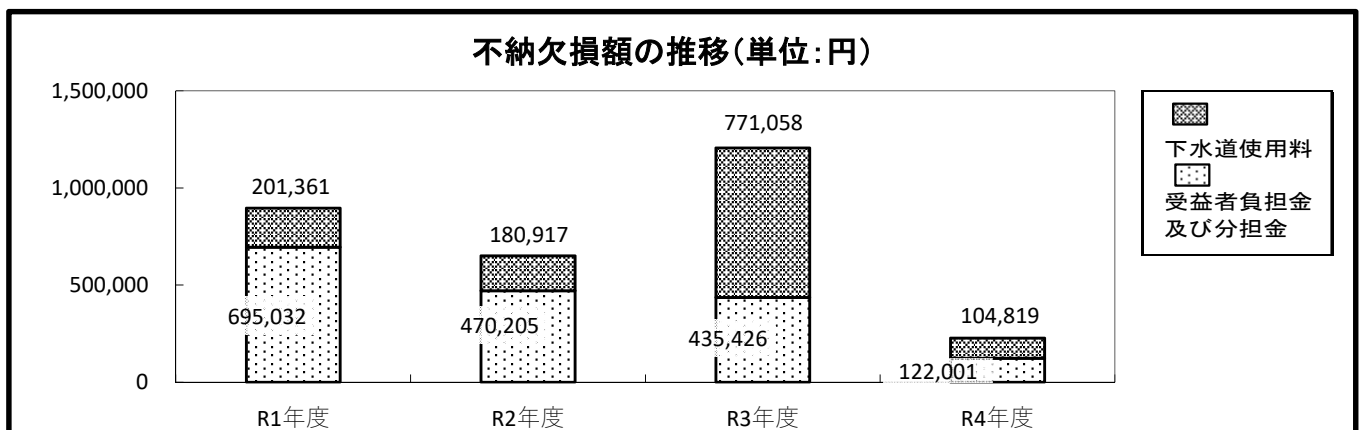
< 不納欠損額の推移 >

◎表24

単位:円、%

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	比較	
					増減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)
下水道使用料	201,361	180,917	771,058	104,819	△ 666,239	△ 86.4
受益者負担金 及び分担金	695,032	470,205	435,426	122,001	△ 313,425	△ 72.0

◎図13





< 集落排水事業 >

その他未収金の未収額は、国庫補助金182,491,000円である。

◎表25

< 未収金内訳表 >

単位:円、%

区 分		調 定 額			収入額 (D)	不納欠損額 (E)	未収額 (C-D-E)	収入率 (D÷(C-E) ×100)	
		調定額 (A)	調定修正額 (B)	計 (C=A+B)					
営 業 収 益	施設 使用料	現年度分	90,062,665	0	90,062,665	69,588,251	0	20,474,414	77.3
		過年度分	21,592,806	0	21,592,806	21,007,351	3,043	582,412	97.3
		計	111,655,471	0	111,655,471	90,595,602	3,043	21,056,826	81.1
	他会計 負担金	現年度分	0	0	0	0	0	0	-
		過年度分	0	0	0	0	0	0	-
		計	0	0	0	0	0	0	-
	その他 営業 収益	現年度分	0	0	0	0	0	0	-
		過年度分	0	0	0	0	0	0	-
		計	0	0	0	0	0	0	-
	計	現年度分	90,062,665	0	90,062,665	69,588,251	0	20,474,414	77.3
		過年度分	21,592,806	0	21,592,806	21,007,351	3,043	582,412	97.3
		計	111,655,471	0	111,655,471	90,595,602	3,043	21,056,826	81.1
営業 外 収益	現年度分	218,324,946	0	218,324,946	203,090,375	0	15,234,571	93.0	
	過年度分	16,229,778	0	16,229,778	16,229,778	0	0	100.0	
	計	234,554,724	0	234,554,724	219,320,153	0	15,234,571	93.5	
その他 未 収 金	現年度分	361,511,400	0	361,511,400	179,020,400	0	182,491,000	49.5	
	過年度分	175,668,800	0	175,668,800	175,604,000	64,800	0	100.0	
	計	537,180,200	0	537,180,200	354,624,400	64,800	182,491,000	66.0	
合 計	現年度分	669,899,011	0	669,899,011	451,699,026	0	218,199,985	67.4	
	過年度分	213,491,384	0	213,491,384	212,841,129	67,843	582,412	99.7	
	計	883,390,395	0	883,390,395	664,540,155	67,843	218,782,397	75.2	

(注) 調定額(A)の現年度分は当年度調定額、過年度分は前年度未収繰越額である。

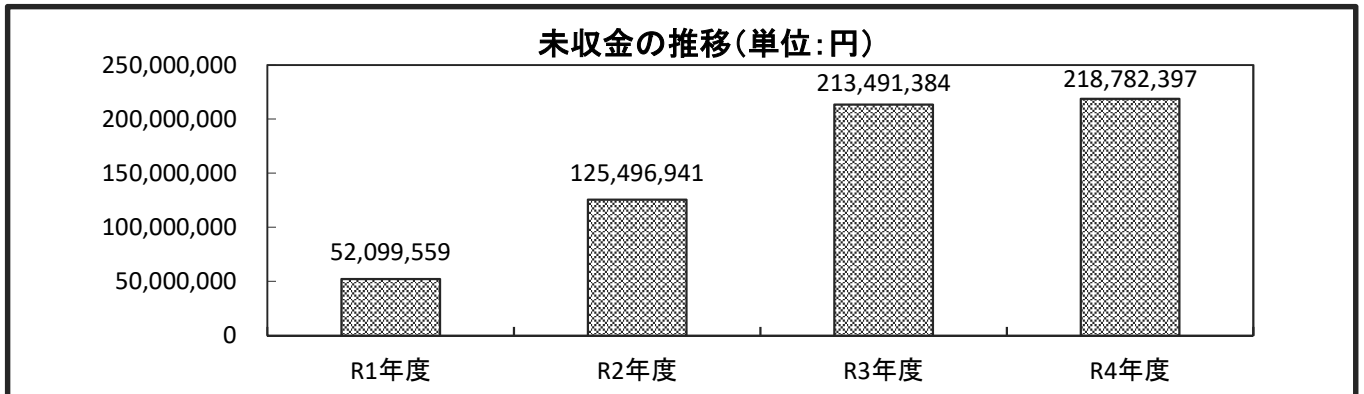
< 未収金の推移 >

◎表26

単位:円、%

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	比較	
					増減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)
未収金	52,099,559	125,496,941	213,491,384	218,782,397	5,291,013	2.5

◎図14



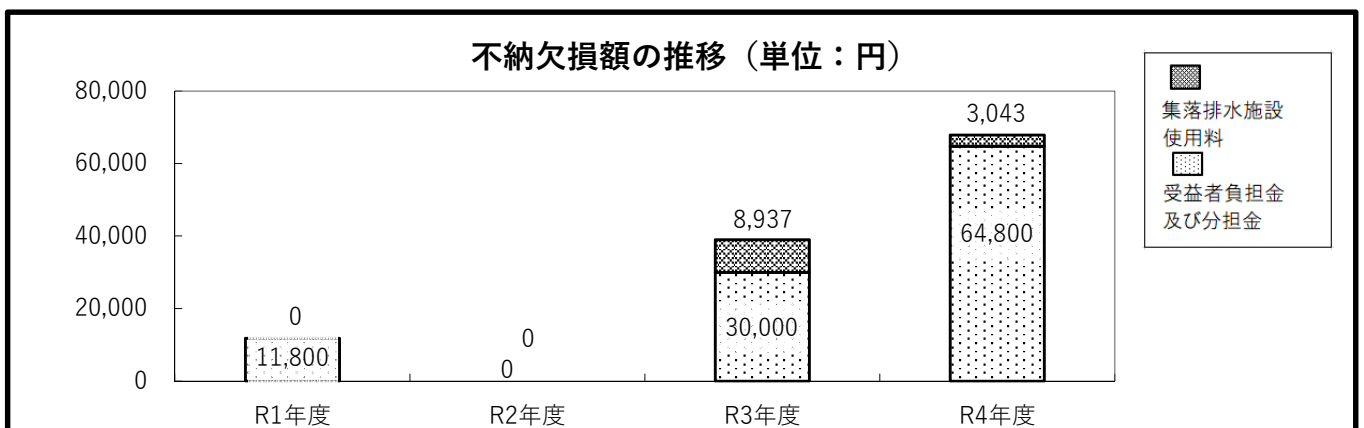
< 不納欠損額の推移 >

◎表27

単位:円、%

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	比較	
					増減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)
集落排水施設 使用料	0	0	8,937	3,043	△ 5,894	△ 66.0
受益者負担金 及び分担金	11,800	0	30,000	64,800	34,800	116.0

◎図15



(4) 企業債について

企業債年度末残高の状況は次のとおりである。

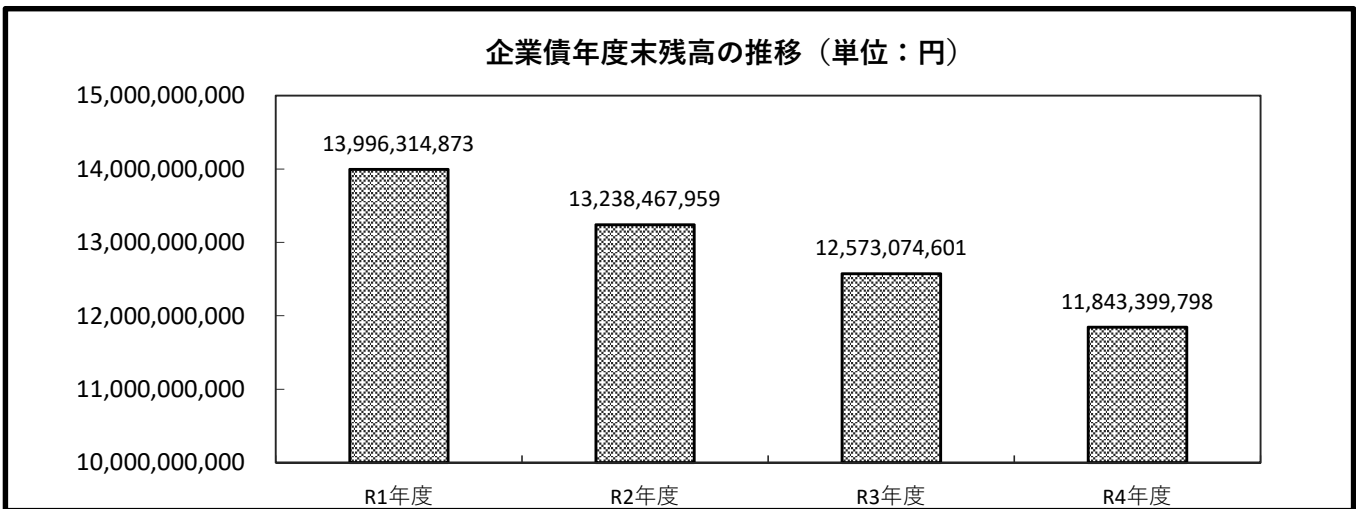
< 公共下水道事業 >

◎表28 < 企業債年度末残高の推移 >

単位:円、%

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	比較	
					増減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)
企業債	13,996,314,873	13,238,467,959	12,573,074,601	11,843,399,798	△ 729,674,803	△ 5.8

◎図16



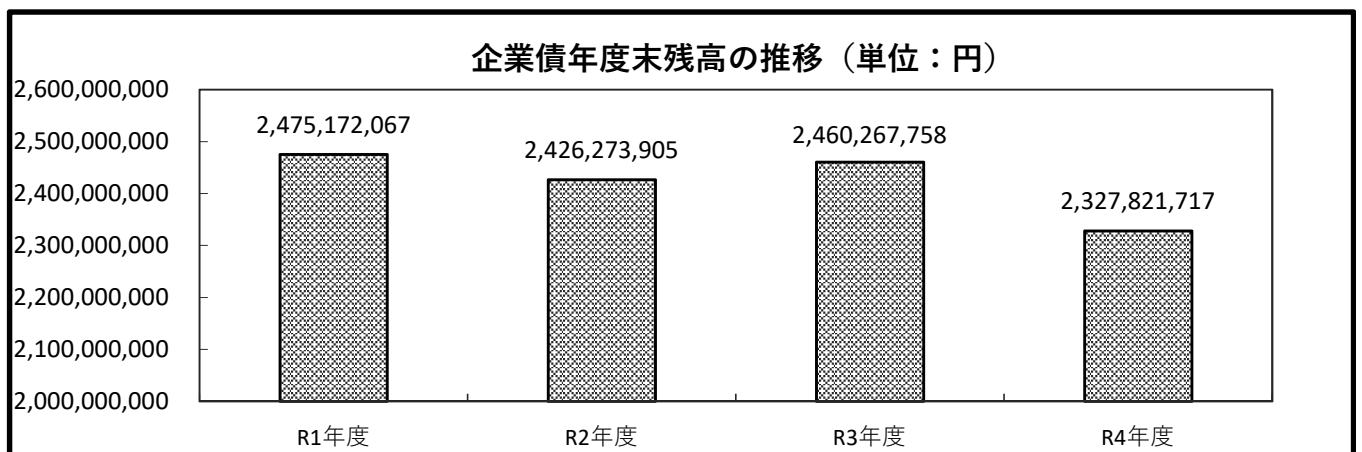
< 集落排水事業 >

◎表29 < 企業債年度末残高の推移 >

単位:円、%

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (B)	令和4年度 (A)	比較	
					増減 (C=A-B)	率 (C÷B×100)
企業債	2,475,172,067	2,426,273,905	2,460,267,758	2,327,821,717	△ 132,446,041	△ 5.4

◎図17



## (5) キャッシュ・フローの状況

本年度のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりである。

### < キャッシュ・フロー計算書(下水道事業) >

◎表30

単位：円

項目	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較増減 (A-B)
<b>1 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
当年度純利益	105,550,600	92,602,868	12,947,732
減価償却費	1,035,890,187	1,046,408,461	△ 10,518,274
固定資産除却費	4,410,294	1,522,379	2,887,915
賞与引当金の増減額(△は減少)	677,216	△ 158,021	835,237
法定福利費引当金の増減額(△は減少)	116,970	△ 26,579	143,549
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 66,127	△ 101,617	35,490
長期前受金戻入額	△ 398,795,574	△ 406,679,140	7,883,566
受取利息及び配当金	△ 210,218	△ 192,686	△ 17,532
支払利息	181,892,434	210,645,927	△ 28,753,493
未収金の増減額(△は増加)	2,760,835	△ 47,490,712	50,251,547
未払金の増減額(△は減少)	△ 2,200,203	1,187,216	△ 3,387,419
たな卸資産の増減額(△は増加)	97,895	172,440	△ 74,545
その他流動負債の増減額(△は減少)	△ 5,483	△ 659,929	654,446
小計	930,118,826	897,230,607	32,888,219
利息及び配当金の受取額	210,218	192,686	17,532
利息の支払額	△ 181,892,434	△ 210,645,927	28,753,493
未払(未収)消費税等の増減額	645,965	△ 13,788,048	14,434,013
計	749,082,575	672,989,318	76,093,257
<b>2 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△ 802,888,550	△ 482,678,514	△ 320,210,036
無形固定資産の取得による支出	△ 51,436,683	△ 71,806,892	20,370,209
国庫補助金等による収入	291,304,744	251,768,840	39,535,904
計	△ 563,020,489	△ 302,716,566	△ 260,303,923
<b>3 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	690,900,000	942,300,000	△ 251,400,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,553,020,844	△ 1,573,699,505	20,678,661
他会計からの出資による収入	384,108,000	388,201,000	△ 4,093,000
計	△ 478,012,844	△ 243,198,505	△ 234,814,339
<b>4 資金増減額</b>	<b>△ 291,950,758</b>	<b>127,074,247</b>	<b>△ 419,025,005</b>
<b>5 資金期首残高</b>	<b>1,206,748,324</b>	<b>1,079,674,077</b>	<b>127,074,247</b>
<b>6 資金期末残高</b>	<b>914,797,566</b>	<b>1,206,748,324</b>	<b>△ 291,950,758</b>

(注) 重要な非資金取引の内容は、受贈による資産の取得31,220,000円である。

当年度における資金は、業務活動で得た資金749,082,575円と財務活動で得た資金1,075,008,000円を固定資産の取得等の投資活動に563,020,489円、企業債の償還等の財務活動に1,553,020,844円を充てた結果、当年度末には914,797,566円となった。

< キャッシュ・フロー計算書(公共下水道事業) >

◎表31

単位：円

項目	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較増減 (A-B)
<b>1 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
当年度純利益	84,480,614	71,606,618	12,873,996
減価償却費	836,606,886	845,388,882	△ 8,781,996
固定資産除却費	4,410,294	1,522,379	2,887,915
賞与引当金の増減額(△は減少)	603,167	△ 136,432	739,599
法定福利費引当金の増減額(△は減少)	105,012	△ 23,426	128,438
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 66,519	△ 102,686	36,167
長期前受金戻入額	△ 293,338,472	△ 299,072,792	5,734,320
受取利息及び配当金	△ 210,218	△ 192,686	△ 17,532
支払利息	153,129,962	177,765,955	△ 24,635,993
未収金の増減額(△は増加)	2,224,855	△ 41,013,381	43,238,236
未払金の増減額(△は減少)	△ 2,923,726	670,649	△ 3,594,375
たな卸資産の増減額(△は増加)	80,865	105,550	△ 24,685
その他流動負債の増減額(△は減少)	17,177	△ 667,179	684,356
小計	785,119,897	755,851,451	29,268,446
利息及び配当金の受取額	210,218	192,686	17,532
利息の支払額	△ 153,129,962	△ 177,765,955	24,635,993
未払(未収)消費税等の増減額	△ 349,242	△ 4,506,662	4,157,420
計	631,850,911	573,771,520	58,079,391
<b>2 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△ 219,806,364	△ 346,166,777	126,360,413
無形固定資産の取得による支出	△ 51,436,683	△ 71,806,892	20,370,209
国庫補助金等による収入	115,603,544	148,368,166	△ 32,764,622
計	△ 155,639,503	△ 269,605,503	113,966,000
<b>3 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	566,000,000	658,200,000	△ 92,200,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,295,674,803	△ 1,323,593,358	27,918,555
他会計からの出資による収入	330,020,000	314,461,000	15,559,000
計	△ 399,654,803	△ 350,932,358	△ 48,722,445
<b>4 資金増減額</b>	<b>76,556,605</b>	<b>△ 46,766,341</b>	<b>123,322,946</b>
<b>5 資金期首残高</b>	<b>1,010,542,173</b>	<b>1,057,308,514</b>	<b>△ 46,766,341</b>
<b>6 資金期末残高</b>	<b>1,087,098,778</b>	<b>1,010,542,173</b>	<b>76,556,605</b>

(注) 重要な非資金取引の内容は、受贈による資産の取得24,220,000円である。

< キャッシュ・フロー計算書(集落排水事業) >

◎表32

単位：円

項目	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較増減 (A-B)
<b>1 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
当年度純利益	21,069,986	20,996,250	73,736
減価償却費	199,283,301	201,019,579	△ 1,736,278
固定資産除却費	0	0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	74,049	△ 21,589	95,638
法定福利費引当金の増減額(△は減少)	11,958	△ 3,153	15,111
貸倒引当金の増減額(△は減少)	392	1,069	△ 677
長期前受金戻入額	△ 105,457,102	△ 107,606,348	2,149,246
受取利息及び配当金	0	0	0
支払利息	28,762,472	32,879,972	△ 4,117,500
未収金の増減額(△は増加)	535,980	△ 6,477,331	7,013,311
未払金の増減額(△は減少)	723,523	516,567	206,956
たな卸資産の増減額(△は増加)	17,030	66,890	△ 49,860
その他流動負債の増減額(△は減少)	△ 22,660	7,250	△ 29,910
小計	144,998,929	141,379,156	3,619,773
利息及び配当金の受取額	0	0	0
利息の支払額	△ 28,762,472	△ 32,879,972	4,117,500
未払(未収)消費税等の増減額	995,207	△ 9,281,386	10,276,593
計	117,231,664	99,217,798	18,013,866
<b>2 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△ 583,082,186	△ 136,511,737	△ 446,570,449
無形固定資産の取得による支出	0	0	0
国庫補助金等による収入	175,701,200	103,400,674	72,300,526
計	△ 407,380,986	△ 33,111,063	△ 374,269,923
<b>3 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	124,900,000	284,100,000	△ 159,200,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 257,346,041	△ 250,106,147	△ 7,239,894
他会計からの出資による収入	54,088,000	73,740,000	△ 19,652,000
計	△ 78,358,041	107,733,853	△ 186,091,894
<b>4 資金増減額</b>	<b>△ 368,507,363</b>	<b>173,840,588</b>	<b>△ 542,347,951</b>
<b>5 資金期首残高</b>	<b>196,206,151</b>	<b>22,365,563</b>	<b>173,840,588</b>
<b>6 資金期末残高</b>	<b>△ 172,301,212</b>	<b>196,206,151</b>	<b>△ 368,507,363</b>

(注) 重要な非資金取引の内容は、受贈による資産の取得7,000,000円である。

## 4. む す び

### (1) 業務実績

下水道事業全体の年度末の水洗化人口は38,667人で前年度に比較して229人減少し、水洗化率は77.66%で前年度に比較して0.80ポイント上昇している。

また、年間総処理水量4,978,388 $\text{m}^3$ に対し、年間有収水量4,415,149 $\text{m}^3$ で、年間有収率は88.69%となり、前年度に比較して1.98ポイント低下している。

事業別は、次のとおりである。

#### ア 公共下水道事業

水洗化人口は33,157人で、前年度に比較して107人減少し、水洗化率は76.99%で前年度に比較して0.78ポイント上昇している。

また、年間総処理水量4,335,899 $\text{m}^3$ に対し、年間有収水量3,897,685 $\text{m}^3$ で、年間有収率は89.89%となり、前年度に比較して2.24ポイント低下している。

なお、有収水量1 $\text{m}^3$ 当たりの汚水処理原価は161.29円となっており、使用料単価161.29円と同額になっている。

#### イ 集落排水事業(農業集落排水事業)

水洗化人口は5,452人で、前年度に比較して120人減少し、水洗化率は81.79%で前年度に比較して1.02ポイント上昇している。

また、年間総処理水量633,404 $\text{m}^3$ に対し、年間有収水量513,874 $\text{m}^3$ で、年間有収率は81.13%となり、前年度に比較して0.29ポイント低下している。

なお、有収水量1 $\text{m}^3$ 当たりの汚水処理原価は268.73円となっており、使用料単価158.25円を110.48円上回っている。

#### ウ 集落排水事業(林業集落排水事業)

水洗化人口は46人で、前年度に比較して1人減少し、水洗化率は100.00%を維持している。

また、年間総処理水量8,078 $\text{m}^3$ に対し、年間有収水量2,729 $\text{m}^3$ で、年間有収率は33.78%となり、前年度に比較して7.64ポイント低下している。

なお、有収水量1 $\text{m}^3$ 当たりの汚水処理原価は690.36円となっており、使用料単価152.59円を537.77円上回っている。

#### エ 集落排水事業(小規模集合排水処理事業)

水洗化人口は12人で、前年度に比較して1人減少し、水洗化率は100.00%を維持している。

また、年間総処理水量1,007m<sup>3</sup>に対し、年間有収水量861m<sup>3</sup>で、年間有収率は85.50%となり、前年度に比較して0.04ポイント低下している。

なお、有収水量1m<sup>3</sup>当たりの汚水処理原価は1,250.87円となっており、使用料単価169.32円を1,081.55円上回っている。

## (2) 経営成績

下水道事業では、総収益2,011,843千円、総費用1,906,292千円で、105,551千円が当年度純利益となり、黒字決算となっている。

内訳は、次のとおりである。

### ア 公共下水道事業

総収益は1,621,414千円（前年度比較3,983千円減）となっており、これは主に下水道使用料が減少したことによるものである。

一方、総費用は1,536,933千円（前年度比較16,857千円減）となっており、これは主に支払利息が減少したことによるものである。

この結果、84,481千円（前年度比較12,874千円増）が当年度純利益となり、黒字決算となっている。

### イ 集落排水事業

総収益は390,430千円（前年度比較2,625千円増）となっており、これは主に他会計補助金が増加したことによるものである。

一方、総費用は369,360千円（前年度比較2,551千円増）となっており、これは主に処理場費の増加によるものである。

この結果、21,070千円（前年度比較74千円増）が当年度純利益となり、黒字決算となっている。

## (3) 財政状態

下水道事業の資産は34,481,751千円、負債は26,547,962千円、資本は、7,933,788千円となっている。

内訳は、次のとおりである。

### ア 公共下水道事業

資産は、28,185,398千円（前年度比較399,928千円減）となっている。主な要因は、固定資産が減少したことによるものである。

一方、負債は、20,924,761千円（前年度比較814,429千円減）となっている。主



な要因は、固定負債の企業債及び流動負債の企業債が減少したことによるものである。

資本は、7,260,637千円（前年度比較414,501千円増）となっている。主な要因は、出資金が増加したことによるものである。

主要財務比率については、企業の支払能力を判断するために使用される財務指標である流動比率、当座比率、現金預金比率の3比率が、前年度と比較して上昇し、それぞれ90.25%、90.24%、78.92%になっている。

また、下水道事業の財務の長期健全性の良否を表示する自己資本構成比率は、前年度に比較して1.69ポイント上昇の57.56%となり、この比率を補完する固定資産対長期資本比率は0.12ポイント低下の100.50%になっている。

下水道使用料等の未収金の縮減については、引き続き努力され、公平性の確保を図られたい。

## イ 集落排水事業

資産は、6,296,352千円（前年度比較21,186千円減）となっている。主な要因は、現金預金が増加したことによるものである。

一方、負債は、5,623,201千円（前年度比較96,344千円減）となっている。主な要因は、固定負債の企業債及び流動負債の未払金が増加したことによるものである。

資本は、673,152千円（前年度比較75,158千円増）となっている。主な要因は、出資金が増加したことによるものである。

主要財務比率については、企業の支払能力を判断するために使用される財務指標である流動比率、当座比率、現金預金比率の3比率が前年度と比較して低下し、農業集落排水事業が48.56%、6.66%、△39.22%、林業集落排水事業が337.95%、337.95%、334.40%、小規模集合排水処理事業が139.28%、139.28%、138.00%になっている。

また、下水道事業の財務の長期健全性の良否を表示する自己資本構成比率は、前年度に比較して、農業集落排水事業が2.29ポイント上昇の58.70%、林業集落排水事業が2.08ポイント上昇の85.58%、小規模集合排水処理事業が6.74ポイント上昇の80.19%となっている。この比率を補完する固定資産対長期資本比率は、前年度に比較して、農業集落排水事業が2.69ポイント上昇の104.70%、林業集落排水事業が1.35ポイント上昇の92.37%、小規模集合排水処理事業が5.93ポイント上昇の95.66%になっている。

集落排水事業においても、集落排水施設使用料等の未収金の縮減については、引き続き努力され、公平性の確保を図られたい。

#### (4)まとめ

令和4年度横手市下水道事業会計決算審査の概要は以上のとおりである。

当年度の経営状況について、公共下水道事業は下水道使用料や長期前受金戻入の減少により総収益が減少したものの、総費用でも減価償却費や支払利息が減少したことにより8,448万円の純利益となっている。集落排水事業は、総収益・費用ともに増加し2,107万円の純利益となり、下水道事業会計として1億555万円の黒字を確保した。

建設事業では、施設等の維持管理費用の抑制のため、相野々処理区を流域関連公共下水道に接続するための管路築造工事を行い、集落排水事業は大森、十日町、本郷地区の3処理場統合のための大森浄化センター建築工事のほか、管布設及び公共枿更新工事を昨年度に続き行っている。

存続する処理場や管渠施設については「横手市下水道事業経営戦略」の着実な実行により、施設等の維持管理に関する費用の平準化のため、国の支援制度を活用するなど長寿命化対策を図り、施設管理の最適化に取り組まれない。

今後においても、供用開始後の早期接続に向けた戸別訪問活動や独自の広報誌、ホームページを通じた事業区域外の合併処理浄化槽の普及を含んだ水洗化事業助成についてPR活動を強化し、水洗化と接続率の向上により快適な生活環境が保たれるよう、持続的な下水道サービスの提供を望むものである。

# 資 料

損益計算書の推移

貸借対照表の推移

< 下水道事業 >

(令和元～令和4年度)

< 公共下水道事業 >

(令和元～令和4年度)

< 集落排水事業 >

(令和元～令和4年度)

## 下水道事業 損益計算書の推移

単位:円

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
営業 収益	下水道使用料	718,438,950	713,778,175	728,618,080	710,525,182
	他会計負担金	15,779,000	14,160,000	12,334,000	11,149,000
	その他営業収益	300,349	576,918	663,318	563,487
	計	734,518,299	728,515,093	741,615,398	722,237,669
営業 費用	管 渠 費	73,711,488	66,819,890	70,253,633	78,144,309
	処 理 場 費	104,801,126	102,493,890	100,765,513	109,836,723
	流域下水道維持管理費	281,828,143	335,350,239	327,971,590	335,044,565
	業 務 費	32,142,537	33,024,803	43,109,629	41,686,112
	総 係 費	118,869,113	113,233,606	115,264,672	113,305,229
	減 価 償 却 費	1,066,369,432	1,053,865,633	1,046,408,461	1,035,890,187
	資 産 減 耗 費	3,374,443	12,080,671	1,525,019	4,410,294
	計	1,681,096,282	1,716,868,732	1,705,298,517	1,718,317,419
営 業 損 益		△ 946,577,983	△ 988,353,639	△ 963,683,119	△ 996,079,750
営業 外 収益	受取利息及び配当金	246,785	245,754	192,686	210,218
	他会計補助金	908,223,000	873,272,000	864,684,000	890,570,000
	長期前受金戻入	390,671,595	388,644,931	406,679,140	398,795,574
	雑 収 益	8,197,380	2,173,887	30,312	29,380
	計	1,307,338,760	1,264,336,572	1,271,586,138	1,289,605,172
営業 外 費用	支払利息及び企業債 取 扱 諸 費	273,846,685	240,659,681	210,645,927	181,892,434
	雑 支 出	3,935,432	3,719,201	4,654,224	6,082,781
	計	277,782,117	244,378,882	215,300,151	187,975,215
営 業 外 損 益		1,029,556,643	1,019,957,690	1,056,285,987	1,101,629,957
経 常 損 益		82,978,660	31,604,051	92,602,868	105,550,207
特 別 利 益		181,420	49,181	0	393
特 別 損 失		1,843,839	2,994	0	0
特 別 損 益		△ 1,662,419	46,187	0	393
当 年 度 純 利 益 (△当年度純損失)		81,316,241	31,650,238	92,602,868	105,550,600
前年度繰越利益剰余金 (△前年度繰越欠損金)		0	0	0	0
その他未処分利益 剰余金変動額		0	0	0	0
当年度未処分利益剰余金 (△当年度未処理欠損金)		81,316,241	31,650,238	92,602,868	105,550,600

下水道事業 貸借対照表の推移

単位:円

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
資 産	固定資産	有形固定資産	30,844,848,387	30,508,633,069	30,294,739,425	30,025,598,101	
		無形固定資産	3,152,212,791	3,060,141,036	3,022,983,209	2,963,768,836	
		投 資	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	
		小 計	34,000,061,178	33,571,774,105	33,320,722,634	32,992,366,937	
	流動資産	現金預金	1,031,380,714	1,079,674,077	1,206,748,324	914,797,566	
		未 収 金	164,352,944	238,301,065	371,119,418	375,315,119	
		未貸倒引当金	△ 1,060,207	△ 717,076	△ 615,459	△ 549,332	
		貯 蔵 品	378,240	462,745	290,305	192,410	
		前 払 金	4,554,000	0	4,600,000	199,628,000	
		小 計	1,199,605,691	1,317,720,811	1,582,142,588	1,489,383,763	
	資 産 合 計	35,199,666,869	34,889,494,916	34,902,865,222	34,481,750,700		
	負 債	固定負債	企 業 債	14,879,341,864	14,091,042,359	13,480,321,515	12,657,482,182
			小 計	14,879,341,864	14,091,042,359	13,480,321,515	12,657,482,182
流動負債		未 払 金	67,023,515	68,740,704	288,975,820	335,344,817	
		企 業 債	1,592,145,076	1,573,699,505	1,553,020,844	1,513,739,333	
		引 当 金	10,303,322	9,878,162	9,693,562	10,487,748	
		その他流動負債	417,925	1,089,270	429,341	423,858	
		小 計	1,669,889,838	1,653,407,641	1,852,119,567	1,859,995,756	
繰延収益		長期前受金	17,514,157,219	17,833,623,815	18,176,638,363	18,461,812,183	
		長期前受金 収益化累計額	△ 5,298,681,444	△ 5,651,904,829	△ 6,050,344,021	△ 6,431,327,819	
		小 計	12,215,475,775	12,181,718,986	12,126,294,342	12,030,484,364	
負 債 合 計		28,764,707,477	27,926,168,986	27,458,735,424	26,547,962,302		
資 本		資本金	固有資本金	2,441,693,188	2,441,693,188	2,441,693,188	2,441,693,188
			出 資 金	3,492,387,000	3,984,876,000	4,373,077,000	4,757,185,000
	組入資本金		263,108,933	335,372,989	360,156,197	431,762,815	
	小 計		6,197,189,121	6,761,942,177	7,174,926,385	7,630,641,003	
	剰余金	資本剰余金	49,998,061	54,225,361	54,225,361	54,225,361	
		利益剰余金 (△ 欠損金)	187,772,210	147,158,392	214,978,052	248,922,034	
		小 計	237,770,271	201,383,753	269,203,413	303,147,395	
	資 本 合 計	6,434,959,392	6,963,325,930	7,444,129,798	7,933,788,398		
負 債 ・ 資 本 合 計	35,199,666,869	34,889,494,916	34,902,865,222	34,481,750,700			

公共下水道事業 損益計算書の推移

単位:円

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
営業収益	下水道使用料	634,392,820	631,155,431	644,845,287	628,642,938
	他会計負担金	15,779,000	14,160,000	12,334,000	11,149,000
	その他営業収益	295,949	576,018	653,501	563,487
	計	650,467,769	645,891,449	657,832,788	640,355,425
営業費用	管渠費	56,067,955	56,672,622	59,493,941	67,388,322
	処 理 場 費	14,039,943	12,567,597	12,802,881	14,493,952
	流域下水道維持管理費	281,828,143	335,350,239	327,971,590	335,044,565
	業 務 費	27,889,551	28,598,875	37,470,619	36,704,733
	総 係 費	93,228,248	88,495,335	90,923,900	88,180,402
	減価償却費	844,803,902	849,166,098	845,388,882	836,606,886
	資産減耗費	3,374,443	5,922,270	1,525,019	4,410,294
	計	1,321,232,185	1,376,773,036	1,375,576,832	1,382,829,154
営業損益		△ 670,764,416	△ 730,881,587	△ 717,744,044	△ 742,473,729
営業外収益	受取利息及び配当金	246,785	232,878	192,686	210,218
	他会計補助金	704,007,000	680,503,000	668,273,000	687,488,000
	長期前受金戻入	273,444,808	276,958,063	299,072,792	293,338,472
	雑 収 益	146,771	2,143,587	25,512	21,005
	計	977,845,364	959,837,528	967,563,990	981,057,695
営業外費用	支払利息及び企業債 取 扱 諸 費	232,228,753	203,548,144	177,765,955	153,129,962
	雑 支 出	808,514	621,631	447,373	973,783
	計	233,037,267	204,169,775	178,213,328	154,103,745
営業外損益		744,808,097	755,667,753	789,350,662	826,953,950
経 常 損 益		74,043,681	24,786,166	71,606,618	84,480,221
特 別 利 益		61,497	36	0	393
特 別 損 失		1,841,122	2,994	0	0
特 別 損 益		△ 1,779,625	△ 2,958	0	393
当 年 度 純 利 益 (△ 当 年 度 純 損 失)		72,264,056	24,783,208	71,606,618	84,480,614
前年度繰越利益剰余金 (△ 前年度繰越欠損金)		0	0	0	0
その他未処分利益 剰 余 金 変 動 額		0	0	0	0
当年度未処分利益剰余金 (△ 当年度未処理欠損金)		72,264,056	24,783,208	71,606,618	84,480,614

公共下水道事業 貸借対照表の推移

単位:円

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
資 産	固定資産	有形固定資産	25,085,655,524	24,749,756,872	24,393,323,947	23,977,162,889	
		無形固定資産	3,150,448,791	3,058,377,036	3,021,219,209	2,962,004,836	
		投 資	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	
		小 計	28,239,104,315	27,811,133,908	27,417,543,156	26,942,167,725	
	流動資産	現 金 預 金	958,448,415	1,057,308,514	1,010,542,173	1,087,098,778	
		未 収 金	112,253,385	112,804,124	157,628,034	156,532,722	
		未 収 引 当 金	△ 1,006,728	△ 712,742	△ 610,056	△ 543,537	
		貯 蔵 品	208,510	328,935	223,385	142,520	
		前 払 金	0	0	0	0	
		小 計	1,069,903,582	1,169,728,831	1,167,783,536	1,243,230,483	
	資 産 合 計	29,309,007,897	28,980,862,739	28,585,326,692	28,185,398,208		
	負 債	固定負債	企 業 債	12,646,367,959	11,914,874,601	11,277,399,798	10,584,803,285
			小 計	12,646,367,959	11,914,874,601	11,277,399,798	10,584,803,285
流動負債		未 払 金	52,534,581	39,241,944	32,321,493	110,135,567	
		企 業 債	1,349,946,914	1,323,593,358	1,295,674,803	1,258,596,513	
		引 当 金	8,220,026	7,831,883	7,672,025	8,380,204	
		その他流動負債	350,555	1,012,500	345,321	362,498	
		小 計	1,411,052,076	1,371,679,685	1,336,013,642	1,377,474,782	
繰延収益		長期前受金	14,309,337,720	14,536,881,664	14,719,251,689	14,831,484,660	
		長期前受金 収益化累計額	△ 5,050,058,970	△ 5,302,641,831	△ 5,593,474,675	△ 5,869,001,371	
		小 計	9,259,278,750	9,234,239,833	9,125,777,014	8,962,483,289	
負 債 合 計		23,316,698,785	22,520,794,119	21,739,190,454	20,924,761,356		
資 本		資本金	固 有 資 本 金	2,123,494,782	2,123,494,782	2,123,494,782	2,123,494,782
			出 資 金	3,406,424,000	3,845,173,000	4,159,634,000	4,489,654,000
	組 入 資 本 金		236,947,496	309,211,552	333,994,760	405,601,378	
	小 計		5,766,866,278	6,277,879,334	6,617,123,542	7,018,750,160	
	剰余金	資 本 剰 余 金	46,722,809	50,950,109	50,950,109	50,950,109	
		利 益 剰 余 金 ( △ 欠 損 金 )	178,720,025	131,239,177	178,062,587	190,936,583	
		小 計	225,442,834	182,189,286	229,012,696	241,886,692	
	資 本 合 計	5,992,309,112	6,460,068,620	6,846,136,238	7,260,636,852		
	負 債 ・ 資 本 合 計	29,309,007,897	28,980,862,739	28,585,326,692	28,185,398,208		

集落排水事業 損益計算書の推移

単位:円

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
営業収益	集落排水施設使用料	84,046,130	82,622,744	83,772,793	81,882,244
	他会計負担金	0	0	0	0
	その他営業収益	4,400	900	9,817	0
	計	84,050,530	82,623,644	83,782,610	81,882,244
営業費用	管 渠 費	17,643,533	10,147,268	10,759,692	10,755,987
	処 理 場 費	90,761,183	89,926,293	87,962,632	95,342,771
	流域下水道維持管理費	0	0	0	0
	業 務 費	4,252,986	4,425,928	5,639,010	4,981,379
	総 係 費	25,640,865	24,738,271	24,340,772	25,124,827
	減 価 償 却 費	221,565,530	204,699,535	201,019,579	199,283,301
	資 産 減 耗 費	0	6,158,401	0	0
	計	359,864,097	340,095,696	329,721,685	335,488,265
営 業 損 益	△ 275,813,567	△ 257,472,052	△ 245,939,075	△ 253,606,021	
営業外収益	受取利息及び配当金	0	12,876	0	0
	他会計補助金	204,216,000	192,769,000	196,411,000	203,082,000
	長期前受金戻入	117,226,787	111,686,868	107,606,348	105,457,102
	雑 収 益	8,050,609	30,300	4,800	8,375
	計	329,493,396	304,499,044	304,022,148	308,547,477
営業外費用	支払利息及び企業債 取 扱 諸 費	41,617,932	37,111,537	32,879,972	28,762,472
	雑 支 出	3,126,918	3,097,570	4,206,851	5,108,998
	計	44,744,850	40,209,107	37,086,823	33,871,470
営 業 外 損 益	284,748,546	264,289,937	266,935,325	274,676,007	
経 常 損 益	8,934,979	6,817,885	20,996,250	21,069,986	
特 別 利 益	119,923	49,145	0	0	
特 別 損 失	2,717	0	0	0	
特 別 損 益	117,206	49,145	0	0	
当 年 度 純 利 益 (△当年度純損失)	9,052,185	6,867,030	20,996,250	21,069,986	
前年度繰越利益剰余金 (△前年度繰越欠損金)	0	0	0	0	
その他未処分利益 剰余金変動額	0	0	0	0	
当年度未処分利益剰余金 (△当年度未処理欠損金)	9,052,185	6,867,030	20,996,250	21,069,986	



集落排水事業 貸借対照表の推移

単位:円

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
資 産	固定資産	有形固定資産	5,759,192,863	5,758,876,197	5,901,415,478	6,048,435,212	
		無形固定資産	1,764,000	1,764,000	1,764,000	1,764,000	
		投 資	0	0	0	0	
		小 計	5,760,956,863	5,760,640,197	5,903,179,478	6,050,199,212	
	流動資産	現 金 預 金	72,932,299	22,365,563	196,206,151	△ 172,301,212	
		未 収 金	52,099,559	125,496,941	213,491,384	218,782,397	
		未貸倒引当金	△ 53,479	△ 4,334	△ 5,403	△ 5,795	
		貯 蔵 品	169,730	133,810	66,920	49,890	
		前 払 金	4,554,000	0	4,600,000	199,628,000	
		小 計	129,702,109	147,991,980	414,359,052	246,153,280	
	資 産 合 計	5,890,658,972	5,908,632,177	6,317,538,530	6,296,352,492		
	負 債	固定負債	企 業 債	2,232,973,905	2,176,167,758	2,202,921,717	2,072,678,897
			小 計	2,232,973,905	2,176,167,758	2,202,921,717	2,072,678,897
流動負債		未 払 金	14,488,934	29,498,760	256,654,327	225,209,250	
		企 業 債	242,198,162	250,106,147	257,346,041	255,142,820	
		引 当 金	2,083,296	2,046,279	2,021,537	2,107,544	
		その他流動負債	67,370	76,770	84,020	61,360	
		小 計	258,837,762	281,727,956	516,105,925	482,520,974	
繰延収益		長期前受金	3,204,819,499	3,296,742,151	3,457,386,674	3,630,327,523	
		長期前受金 収益化累計額	△ 248,622,474	△ 349,262,998	△ 456,869,346	△ 562,326,448	
		小 計	2,956,197,025	2,947,479,153	3,000,517,328	3,068,001,075	
負 債 合 計		5,448,008,692	5,405,374,867	5,719,544,970	5,623,200,946		
資 本		資本金	固 有 資 本 金	318,198,406	318,198,406	318,198,406	318,198,406
			出 資 金	85,963,000	139,703,000	213,443,000	267,531,000
	組 入 資 本 金		26,161,437	26,161,437	26,161,437	26,161,437	
	小 計		430,322,843	484,062,843	557,802,843	611,890,843	
	剰余金	資 本 剰 余 金	3,275,252	3,275,252	3,275,252	3,275,252	
		利 益 剰 余 金 ( △ 欠 損 金 )	9,052,185	15,919,215	36,915,465	57,985,451	
		小 計	12,327,437	19,194,467	40,190,717	61,260,703	
	資 本 合 計	442,650,280	503,257,310	597,993,560	673,151,546		
	負 債 ・ 資 本 合 計	5,890,658,972	5,908,632,177	6,317,538,530	6,296,352,492		